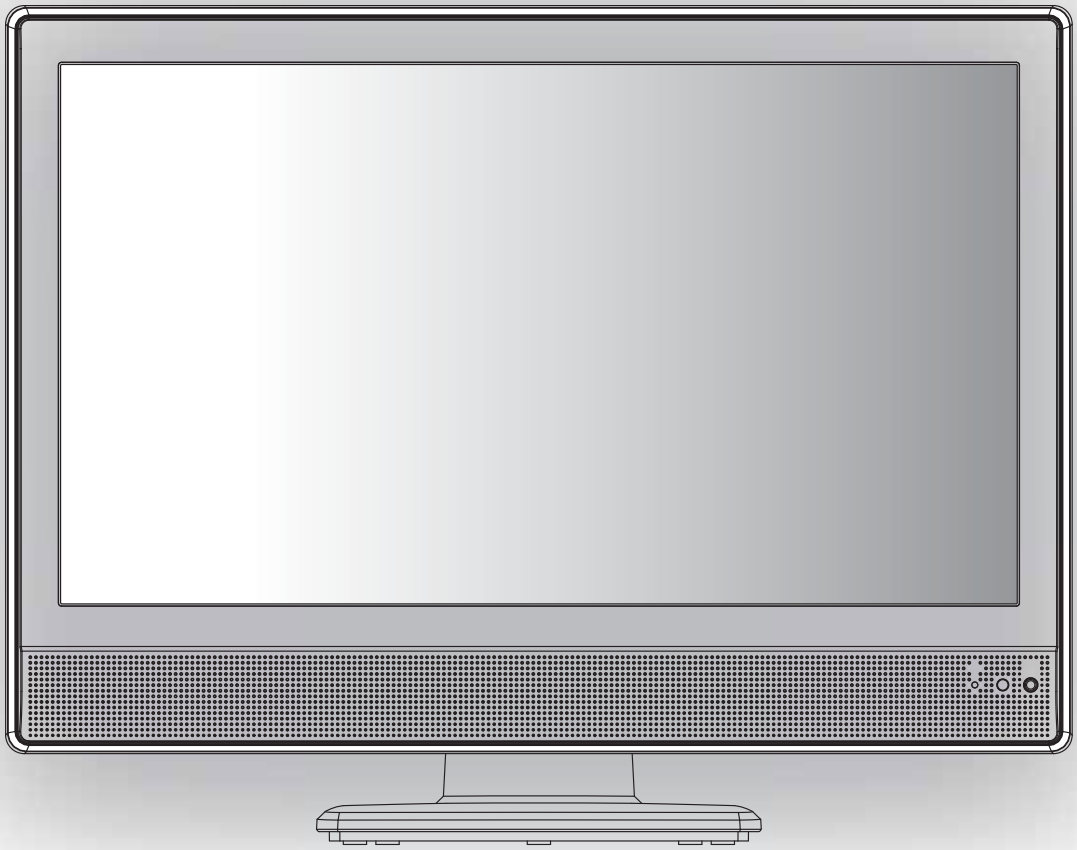
# 取扱説明書

液晶カラーテレビ

## 型名：IZ-1930E
## IZ-1930
## IZ-1630



このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
本製品を正しくお使いいただくために、この取扱説明書を必ずお読みください。

- ご使用前に、「安全上のご注意」(4ページ) を必ずお読みいただき、安全にお使いください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、販売店からお受け取りください。
- 製造番号は、品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号が一致しているか、お確かめください。

保証書別添付

# もくじ

## はじめに


安全上のご注意 4
使用上のご注意 9
付属品 10
本製品の特長 10
各部のなまえ 11


## 準備編


**リモコンの準備 13**
**設置する 13**
B-CASカードを入れる 14
**接続する 15**
地上アナログ/デジタルVHF/UHFアンテナの接続 15
BS・110度CSアンテナの接続 16
ビデオやDVDプレーヤーなどの接続 17
ヘッドホンなどの接続 18
パソコンの接続 18
ケーブルを束ねる 19
電源を入れる 19
メニュー項目の一覧 20
デジタル放送設定メニュー一覧 21
**設定する 22**
地上アナログ放送の設定をする 22
自動チャンネル設定 22
手動チャンネル設定 22
チャンネル・スキップ設定 22
地域番号一覧表 23~28
地上デジタル放送の設定をする 29
初期設定 29
地上デジタルチャンネルの設定 29
BS・110度CSアンテナの電源設定を確認する 30
**その他の設定する 31**
HDMI機器制御の設定 31
OSD透過設定 31
OSDサイズ設定 31


## 操作編


**テレビを見る 32**
ふだんの使いかた 32
画面サイズを切換える 33
お好みの映像・音声に調整する 34
映像を調整する 34
映像モード 34
映像調整 34
コントラスト 34
明るさ 34
カラー 34
色あい 34
画質 34
色温度設定 35
ダイナミックコントラスト 35
映像をすっきり見る〈NR〉 35
フィルム映像を忠実に再現する 〈フィルムモード〉 35
音声を調整する 36
音声を切換える 〈二重音声放送〉 36
音声を切換える 〈強制モノラル設定〉 36
お好みの音声に調整する 〈「高音」「低音」「バランス」〉 36
お好みの音声に設定する 〈「サラウンド」〉 36
HDMIの音声を切換える 〈HDMI音声切換〉 36
指定した時間に電源を切る 〈スリープタイマー設定〉 37
見ている画面を静止させる 37
省エネ機能を使う 38
オフタイマーを設定する 38
バックライトを調節する 38
ダウンロード機能を設定する 38
設定を初期化する 39
**デジタル放送の機能設定 39**
放送・番組の選択手順 39
番組の詳しい情報を見る（番組説明） 40
説明を表示する／説明を見る 40
番組表を表示する 41
字幕を表示する 42

# もくじ


| | |
|---|---|
| 音声を切換える | 42 |
| デジタル放送の受信状況を確認する | 43 |
| デジタル放送の番組を探す | 44 |
| **デジタル放送のお知らせや情報を見る** | **45** |
| 放送局からのメールや内部メールを読む | 45 |
| 110度CSデジタル放送から送られてくるお知らせを読む | 45 |
| **本機の詳細設定をする** | **46** |
| 受信チャンネルのスキャン | 46 |
| 文字スーパーを設定する | 47 |
| ダウンロードを設定する | 47 |
| デジタル放送のリモコンの詳細設定をする | 48 |
| 個人利用と制限を設定する | 49～50 |
| デジタルの初期化 | 51 |
| 設定を工場出荷状態に戻す（設定情報の初期化） | 51 |
| ICカード情報を確認する | 52 |
| **他の機器をつないで使う** | **52** |
| 端子のなまえとはたらき | 53 |
| 入力を切換える | 54 |
| 入力機器に名前をつける | 55 |
| 表示スキップする放送／入力を設定する | 55 |
| ビデオ／DVDを再生する | 55 |
| HDMI機器を再生する | 56 |
| スピーカー／ヘッドホンの音量を調整する | 56 |
| パソコンの画面を表示する | 56 |
| パソコンの画面を調整する | 57 |
| デジタル放送について | 58 |


## 必要なとき


| | |
|---|---|
| 故障かな?と思ったら | 59～60 |
| メッセージ表示一覧 | 61 |
| お手入れについて | 62 |
| 保証とアフターサービス | 62 |
| おもな仕様 | 63 |
| 寸法図 | 64 |
| 用語の解説 | 65 |
| さくいん | 66 |
| フリーソフトウェアに関するライセンス情報 | 67 |

## 安全上のご注意

本製品をご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書では、お客様ならびに他の人への危害、物的損害を未然に防ぐための内容を説明しています。
次の表示の 区分と図記号の内容をご理解のうえ、本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

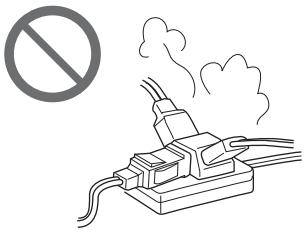
| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 死亡または重傷を負うおそれのある内容です。 |
| ⚠注意 | 障害または損害のおそれのある内容です。 |
| ⚠ | 気をつける必要がある「注意」内容です。 |
| ⃠ | してはいけない「禁止」内容です。 |
| ❗ | しなければならない「指示」内容です。 |

## ⚠警告

**■異常・故障が発生した場合には、すぐに使用をやめてください。**

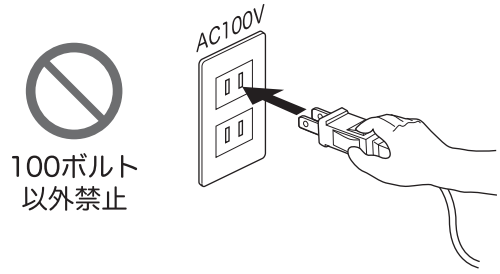
故障・発煙・臭いが発生した場合は、すぐに電源プラグを抜いてください。
内部に異物・水などの液体が入ったり、本体の落下・破損等があった場合は、すぐに電源プラグを抜いてください。

**■電源コードはタコ足配線をしないでください。**



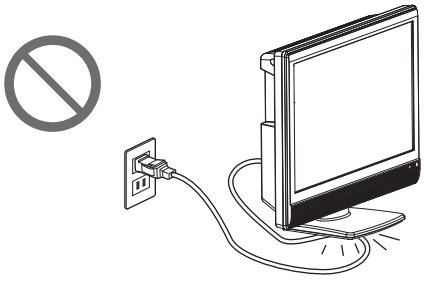
発熱等により、故障・火災の原因になります。

**■交流100V以外の電圧で使用しないでください。**




火災・感電の原因となります。

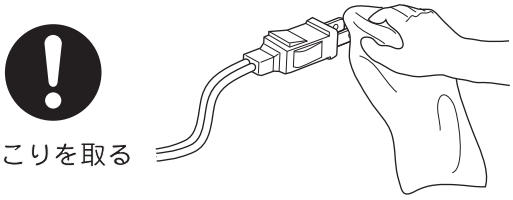
**■電源コードの上に重いものを載せたり、テレビの下敷きにしないでください。**



火災・感電の原因となります。

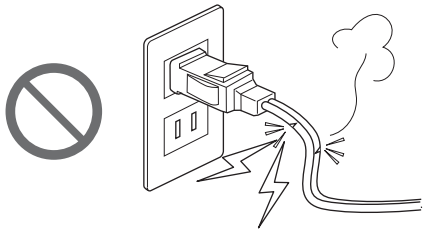
# ⚠警告

### ■ 電源プラグにほこりがたまらないよう定期的に清掃してください。



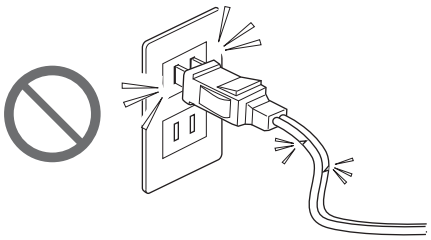

火災･感電の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

### ■ 電源コードを破損しないようにしてください。



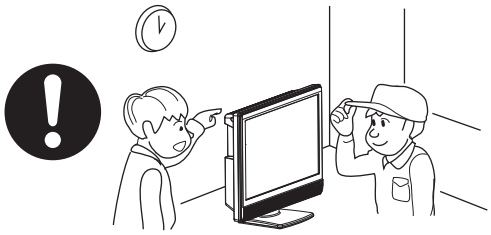
加工したり、傷つけないでください。また、強い力をあたえないようにしてください。
破損により、火災･感電の原因になります。

### ■ 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。



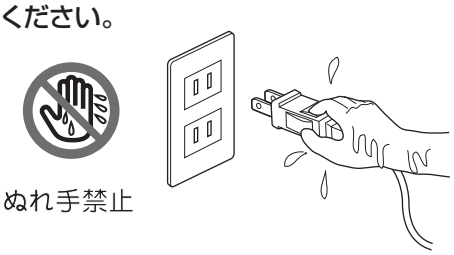
差込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因になります。
※ 傷ついたプラグ･緩んだコンセントは使用しないでください。

### ■ 壁掛け工事は、工事専門業者にご依頼ください。



工事が不完全の場合、落下などにより、事故の原因になります。

### ■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

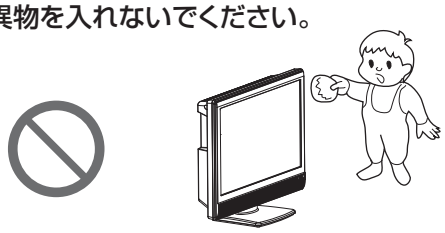



感電の原因となります。

### ■ 本機の裏ふた、カバー等をはずしたり、改造しないでください。

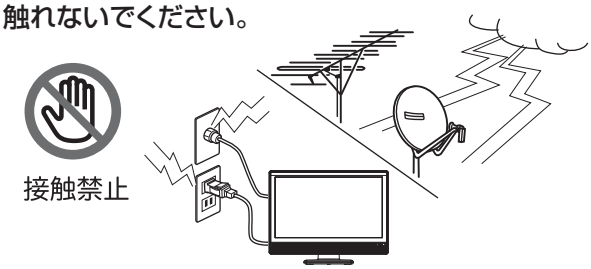
内部には電圧の高い部分があり、火災･感電の原因となります。
※ 内部の点検･修理は販売店にご依頼ください。

### ■ 異物を入れないでください。



裏ふたの通風孔（すきま）などから異物を入れないでください。火災･感電の原因となります。
※ 特にお子様にはご注意ください。

### ■ 雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れないでください。



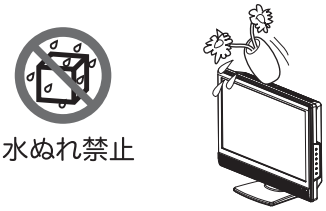

感電の原因となります。

# ⚠警告

■ 本機をぬらしたりしないでください。

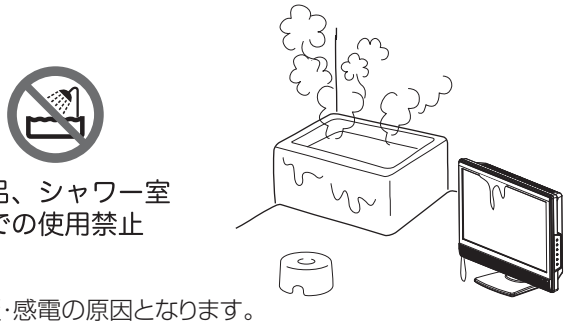
火災･感電の原因となります。

■ 本機の上や近くに花びん等の水（液体）の入った容器をおかないでください。



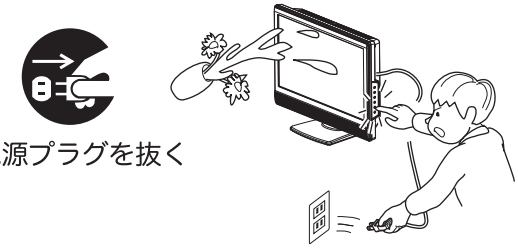

水などの液体がこぼれるなどして中に入ると、火災･感電等の原因となります。

■ 風呂場やシャワー室では使用しないでください。



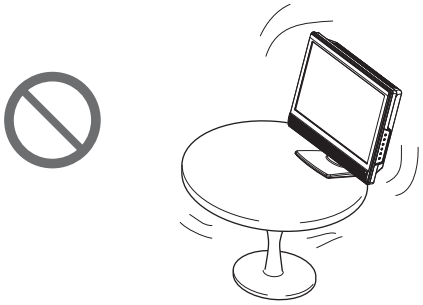

火災･感電の原因となります。

■ 本機内に水や異物が入った時は、すぐ本機の電源を切り、電源プラグを抜いてください。




そのまま使用すると火災･感電の原因となります。販売店へご連絡ください。

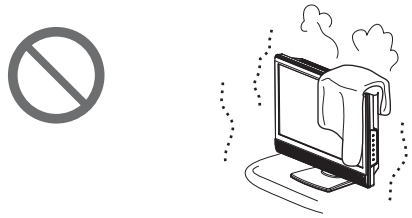
■ 不安定な場所に置かないでください。



落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

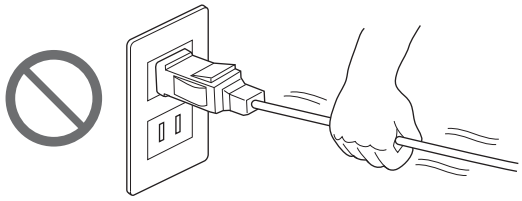
# ⚠注意

■ 風通しの悪いところや密閉された箱などに入れないでください。また、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけないでください。



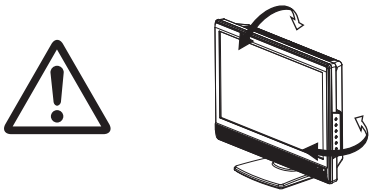
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。



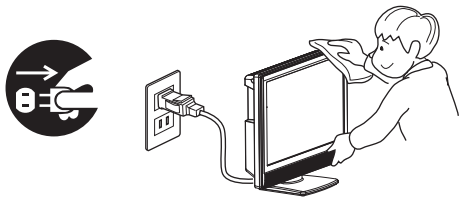
電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ スタンドの角度を調整するときは、手・指はさみに注意してください。



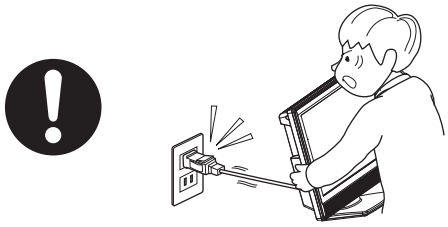
テレビ本体とスタンドの隙間に手・指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

■ お手入れの時や長時間ご使用にならないときは、電源プラグを抜いてください。



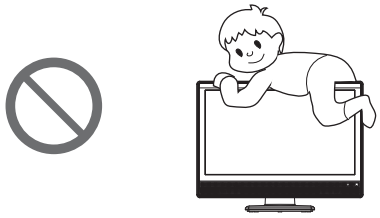
電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

■ 本機を移動させるときは、接続線を全て外し、慎重に運んでください。



接続線を外さないで移動させると、接続線が傷つき火災・感電の原因となる恐れがあります。

■ 本機の上に物を置いたり、乗ったり、ぶらさがったり、物を立てかけないでください。

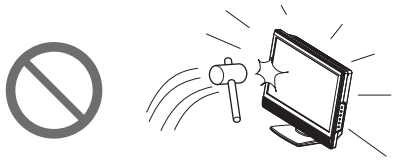


落下、転倒などで、けがの原因となることがあります。
※ 特に、小さなお子様にはご注意ください。

■ 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところには置かないでください。

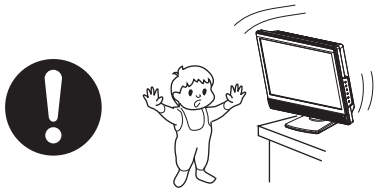
調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

■ 液晶パネルに強い力や衝撃を加えないでください。



液晶パネルが割れたり、故障の原因となることがあります。

■ 転倒防止策のため、テレビを固定してください。

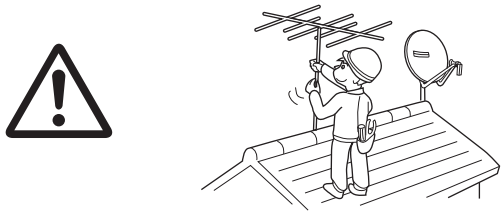


地震などにより、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。
（⇒［準備編］12ページ）

# ⚠注意

## アンテナについて

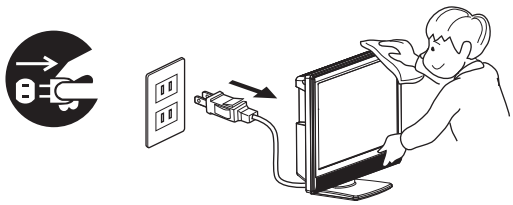
■ アンテナ工事は、技術と経験を必要とするので販売店に相談してください。



送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた場合、感電の原因となります。

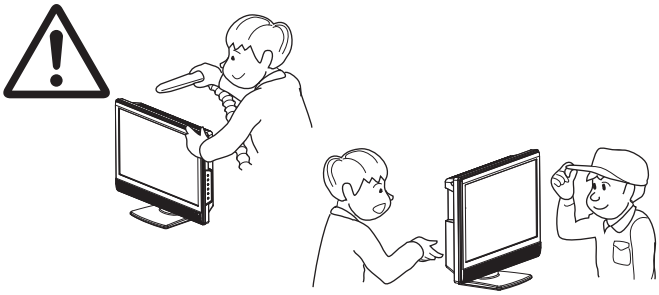
## お手入れについて

■ お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



感電の原因となることがあります。

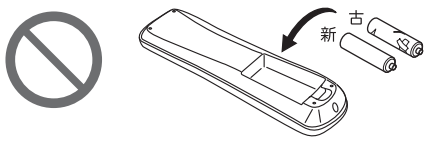
■ 定期的に通風孔に付着したホコリやゴミを取り除いてください。
内部の清掃は販売店に依頼してください。



内部や通風孔にほこりが長期間たまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。なお、内部の清掃費用は販売店にご相談ください。

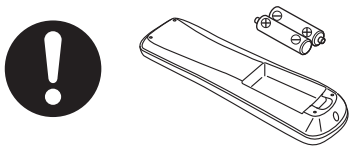
## リモコンについて

■ 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください。




破裂や液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■ 電池はプラスとマイナスの向きに注意し、表示どおりに入れてください。



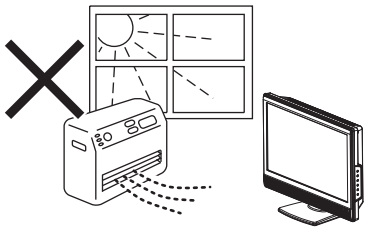
破裂や液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する 原因となることがあります。

# 使用上のご注意

## リモコンについて

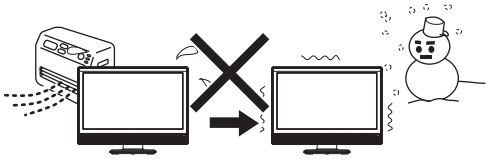
**■ 直射日光を避け、熱器具から離してください。**

・テレビ本体の変形や故障の原因となります。



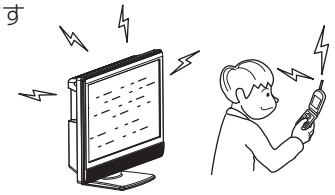
**■ 急激な温度差のある場所、低温になる場所は避けてください。**

・画面の表示品位が低下したり、テレビ本体の変形や故障の原因となります。



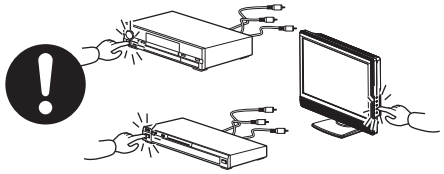
**■ 機器同士のかんしょうを避けてください。**

・電磁波妨害などによる映像の乱れ、雑音などをさけます



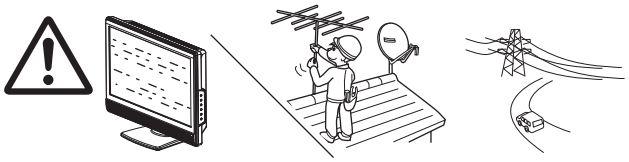
**■ 接続は電源を切ってから行ってください。**

・テレビや接続する機器の保護のため、電源を切ってください。接続は各機器の説明書に従ってください。



**■ アンテナは定期的な点検を行ってください。**

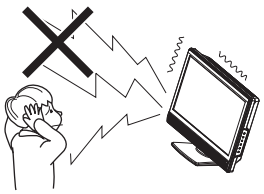
・風雨にさらされたり、ばい煙の多い所、潮風にさらされる所では痛みやすくなります。映りが悪くなったら、販売店へご相談ください。



## ご使用になるとき

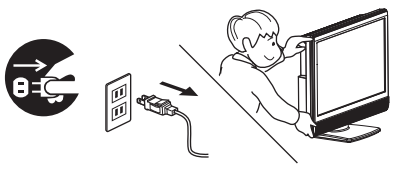
**■ 適量な音量でご利用ください。**

・隣り近所に配慮してください。特に夜間は、窓を閉めたり、ヘッドホンの使用をおすすめします。



**■ 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

・安全のため電源プラグをコンセントから抜いておいてください。



**■ B-CASカードは必要なときのみ抜き差ししてください。**

・必要以外で抜き差しすると故障の原因となります。
・折り曲げたり、変形させたり、重いものを置いたり、踏みつけたり、分解、加工しないでください。
・IC(集積回路)部には手を触れないでください。
・差し込む方向に注意してください。

## 液晶パネルについて

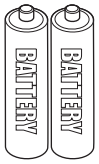
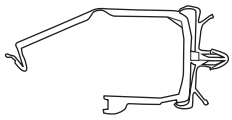
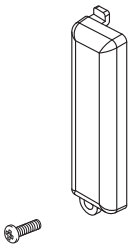
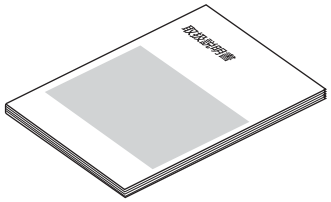
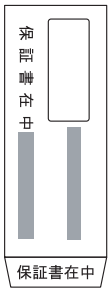
**■ 画面に点（赤、青または緑）があるのは、液晶パネル特有の現象であり、故障ではありません。**

・液晶パネルは非常に精密な技術で製造されておりますが、画素抜けや点の常時点灯するものがありますので、ご了承ください。

# 付属品

## ●付属品を確認する

はじめに、付属品がすべて揃っているかを確認します。

| | | | |
|---|---|---|---|
| □ リモコン(×1)<br> | □ 単3乾電池(×2)<br>  | □ ケーブルクランプ(×1)<br>  | |
| □ B-CASカード(×1)<br>(取扱説明書付き)<br> | □ B-CASカードカバー<br>□ カバー止めねじ(×1)<br>  | □ 取扱説明書<br>  | □ 保証書<br>  <br>保証書は梱包箱に貼り付けた袋に添付されています。 |

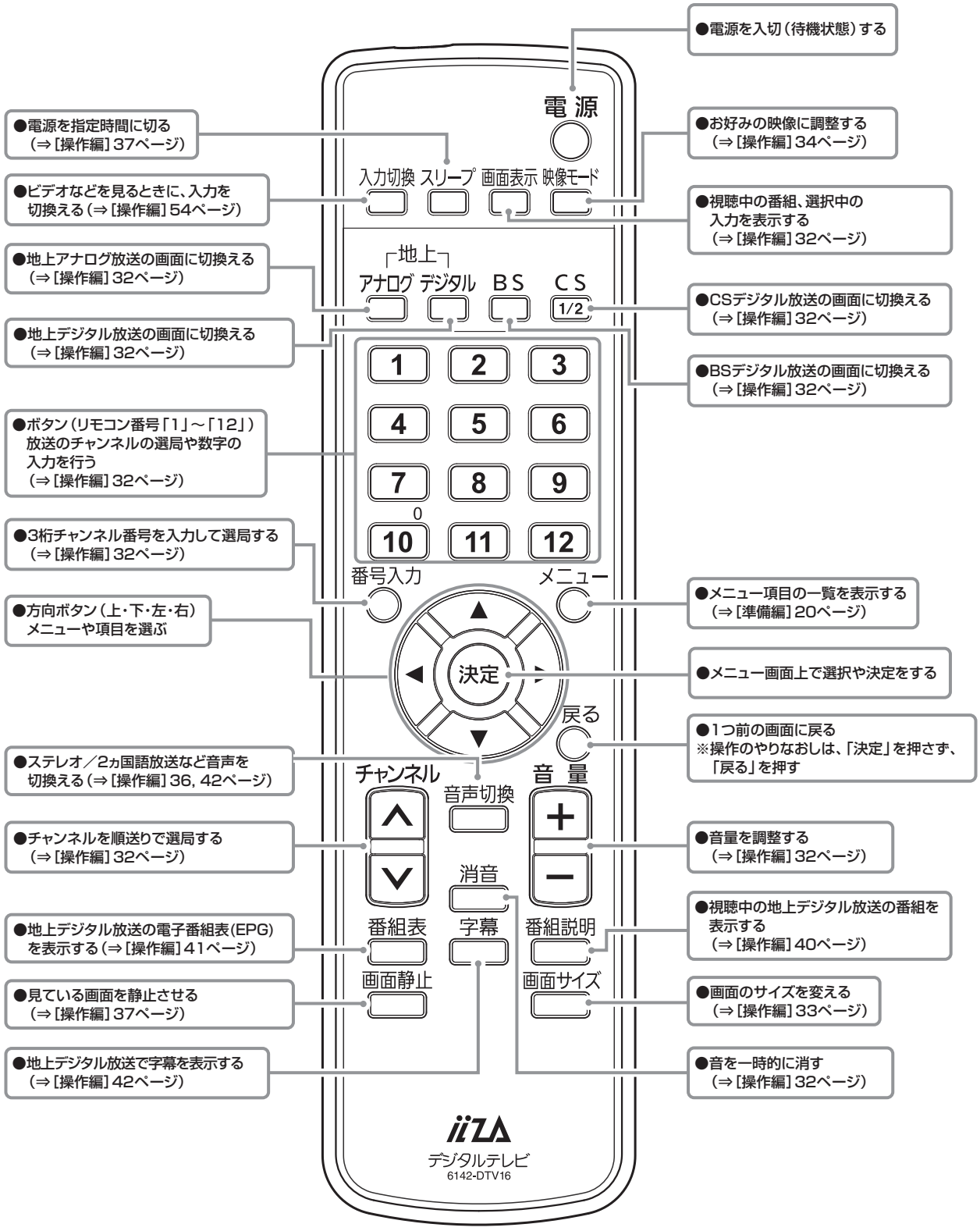
**⚠ご注意**　・B-CASカードは開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前にかならず契約約款をよく お読みください。

# 本製品の特長

本機は、寝室、書斎、キッチン、子供部屋など、リビングに比べると小さな空間に最適な液晶テレビです。
個室テレビの2台目として設置し、地上アナログ放送、CATV、地上デジタル放送、BSデジタル放送、CSデジタル放送の視聴を、高音質、高画質でお楽しみいただけます。
また、商業施設や店舗空間でのキャンペーンや実演デモンストレーションなどにもご活用いただけます。
尚、本機はデジタル放送におけるデータ放送・双方向（通信）サービスに対応しておりません。

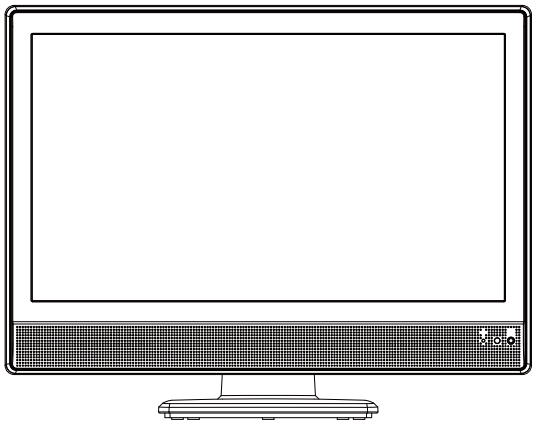
# 各部のなまえ

## リモコン

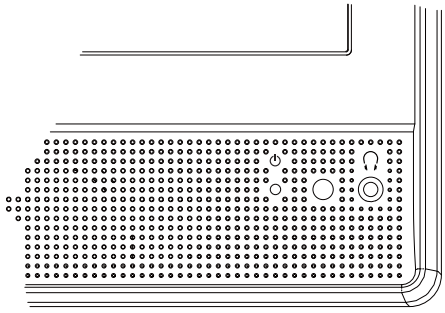

●電源を入切（待機状態）する
電源
●電源を指定時間に切る
（⇒［操作編］37ページ）
入力切換 スリープ 画面表示 映像モード
●お好みの映像に調整する
（⇒［操作編］34ページ）
●ビデオなどを見るときに、入力を
切換える（⇒［操作編］54ページ）
●視聴中の番組、選択中の
入力を表示する
（⇒［操作編］32ページ）
●地上アナログ放送の画面に切換える
（⇒［操作編］32ページ）
地上
アナログ デジタル BS CS
1/2
●CSデジタル放送の画面に切換える
（⇒［操作編］32ページ）
●地上デジタル放送の画面に切換える
（⇒［操作編］32ページ）
●BSデジタル放送の画面に切換える
（⇒［操作編］32ページ）
1 2 3
4 5 6
7 8 9
0
10 11 12
●ボタン（リモコン番号「1」～「12」）
放送のチャンネルの選局や数字の
入力を行う
（⇒［操作編］32ページ）
●3桁チャンネル番号を入力して選局する
（⇒［操作編］32ページ）
番号入力
メニュー
●メニュー項目の一覧を表示する
（⇒［準備編］20ページ）
●方向ボタン（上・下・左・右）
メニューや項目を選ぶ
決定
●メニュー画面上で選択や決定をする
戻る
●1つ前の画面に戻る
※操作のやりなおしは、「決定」を押さず、
「戻る」を押す
●ステレオ／2ヵ国語放送など音声を
切換える（⇒［操作編］36, 42ページ）
チャンネル
音声切換
音 量
●チャンネルを順送りで選局する
（⇒［操作編］32ページ）
●音量を調整する
（⇒［操作編］32ページ）
消音
●地上デジタル放送の電子番組表(EPG)
を表示する（⇒［操作編］41ページ）
番組表
字幕
番組説明
●視聴中の地上デジタル放送の番組を
表示する
（⇒［操作編］40ページ）
●見ている画面を静止させる
（⇒［操作編］37ページ）
画面静止
画面サイズ
●画面のサイズを変える
（⇒［操作編］33ページ）
●地上デジタル放送で字幕を表示する
（⇒［操作編］42ページ）
●音を一時的に消す
（⇒［操作編］32ページ）
iiZA
デジタルテレビ
6142-DTV16

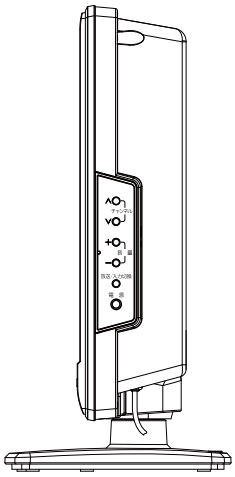
## 本体（前面・背面・側面・底面）

▼本体正面

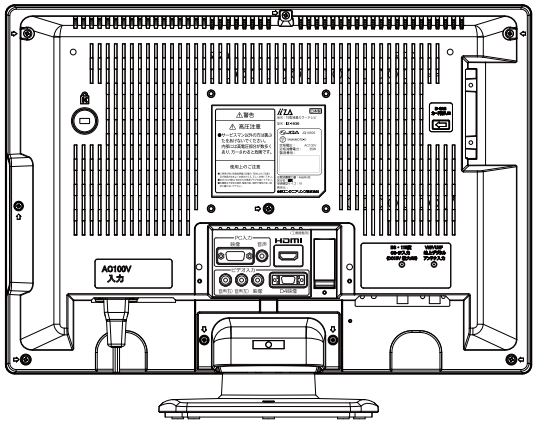


●前面
電源ランプ
リモコン受光部
（⇒［準備編］12ページ）
ヘッドホン／イヤホン端子
（⇒［準備編］18ページ、［操作編］53ページ）

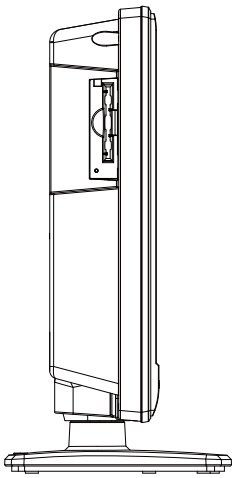




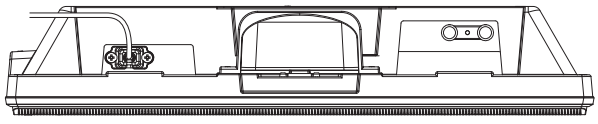
●右側面
電源を入切する(リモコン操作可能)
チャンネルを順送りで選局する
音量を調整する
放送／入力切換(ビデオなど)
（⇒［準備編］17ページ、［操作編］32ページ）




●背面
コンポジット入力端子
D4入力端子／音声入力（L（左）／R（右））
（⇒［準備編］17ページ、［操作編］53ページ）
アナログRGB
PC入力端子（音声／映像）
（⇒［準備編］18ページ）
HDMI入力端子（音声/映像）



●左側面
B-CASカード挿入口
（⇒［準備編］14ページ、［操作編］53ページ）



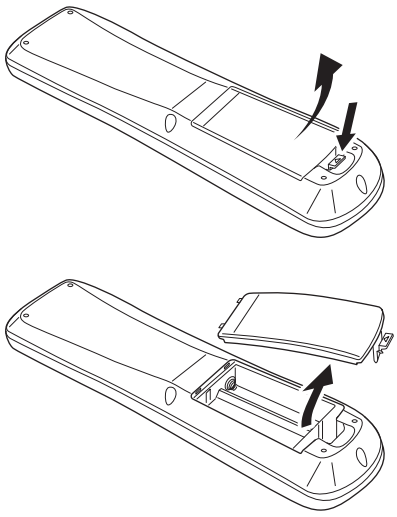
●底面
電源コード（AC入力100V）
VHF／UHF 地上デジタルアンテナ入力
BS、110度CS、IF入力端子

## リモコンの準備

### ●乾電池を入れる

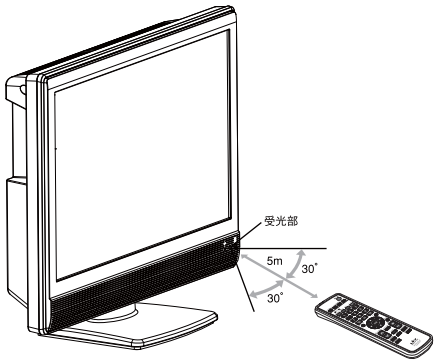
**1 ふたをあける**
「▽」の印があるつめを下に向かって押して、ふたを上にあげます。

**2 電池を入れ、ふたをしめる**
付属の単3形乾電池を ⊕ ⊖ の表示どおりに入れてください。



**お知らせ**
- 電池の ⊕ ⊖ は正しい向きに入れてください。
- 付属の乾電池は保存状態により短期間で消耗することがあります。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長い間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。

**■ 操作できる範囲について**
リモコンは、画面右下の受信部に向けて操作します。操作できる範囲は、受信部から約5m、上下左右に約30度以内です。




**お知らせ**
- リモコンと本機の間に障害物があったり、リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などがあたっている場合は、正しく動作しない場合があります。
- リモコンを使用できる距離が短くなったり、リモコンが動作しなくなってきたら、新しい電池に交換してください。

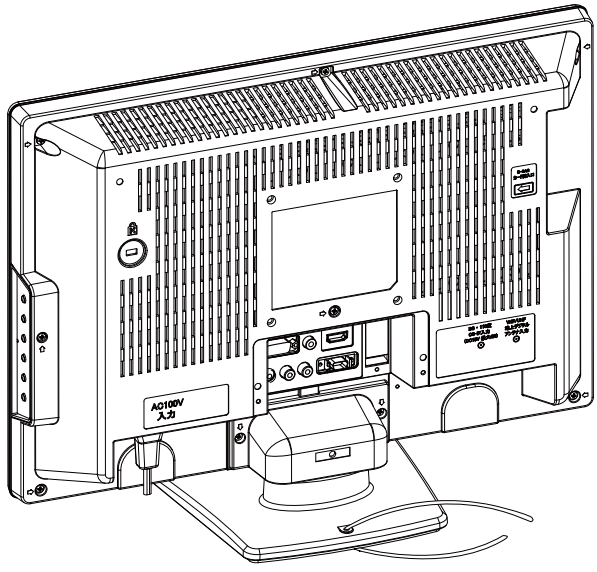
## 設置する

### ●設置の手順

**1 置く場所を決める**

**2 本機(テレビスタンド付き)を設置する**

**3 安全対策をする**
テレビを高所に設置するときスタンドの穴に紐を通し壁に括りつけるなど転落防止をしてください。




**お知らせ**
- 設置したあとでも、左右上下方向にそれぞれ角度を変えることができます。
  見えやすい角度にあわせてご使用ください。

**お願い**
- テレビスタンドの回転時に電源コードや接続コードが断線しないよう、余裕をもって配線してください。
- アンテナ線と電源コードは一緒に束ねないでください。

### B-CASカードを入れる

デジタル放送を視聴するときは、必ずB-CASカードをテレビ本体に挿入します。

**1** **テレビ本体の「電源」スイッチを押し、電源「切」にする**

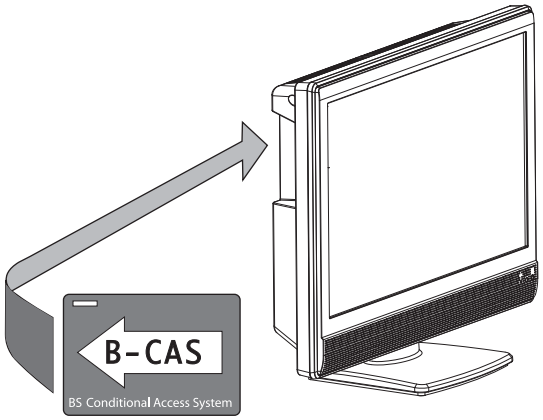
**2** **左側面のB-CAS挿入口にB-CASカードを挿入する**

カードの矢印表示面をテレビ背面に向けて、矢印方向に奥までゆっくりと押し込みます。

### B-CASカードを抜くには:

**1** **テレビ本体の「電源」スイッチを押し、電源「切」にする**

**2** **ゆっくりとB-CASカードを抜く**




**※B-CASカードについて**

・デジタル放送の視聴や録画のために必要なカードです。大切に保管してください。(本機では視聴のみ)
・B-CASカードに記載されている番号は、有料番組の契約内容などを管理する大切な番号です。

## ●B-CASカードについて

地上・BS・110度CSデジタル放送を視聴するためには、B-CAS(ビーキャス)カードを必ず本機に挿入しておく必要があります。
2004年4月から、番組の著作権保護のためにB-CAS(ビーキャス)カードを利用することになりました。B-CAS(ビーキャス)カードを挿入しないと、すべてのデジタル放送を受信できません。

**●限定受信システム(CAS:Conditional Access Systems)とは**

限定受信システム(CAS(キャス))とは、有料放送の契約をした視聴者だけにスクランブル(放送内容をわからなくする技術)を解除して視聴できるようにする技術システムのことです。デジタル放送ではスクランブルの解除以外に、データ放送の双方向サービスや放送局からのメッセージ送付にも利用されます。

**●(株)B-CAS(ビーキャス)とは**

デジタル放送の限定受信システム(CAS(キャス))を管理するため設立された(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。B-CAS(ビーキャス)カードの発行・管理をしています。

### B-CASカード取り扱いのご注意

・折り曲げたり、変形させないでください。
・重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
・IC(集積回路)部には手を触れないでください。
・分解、加工しないでください。

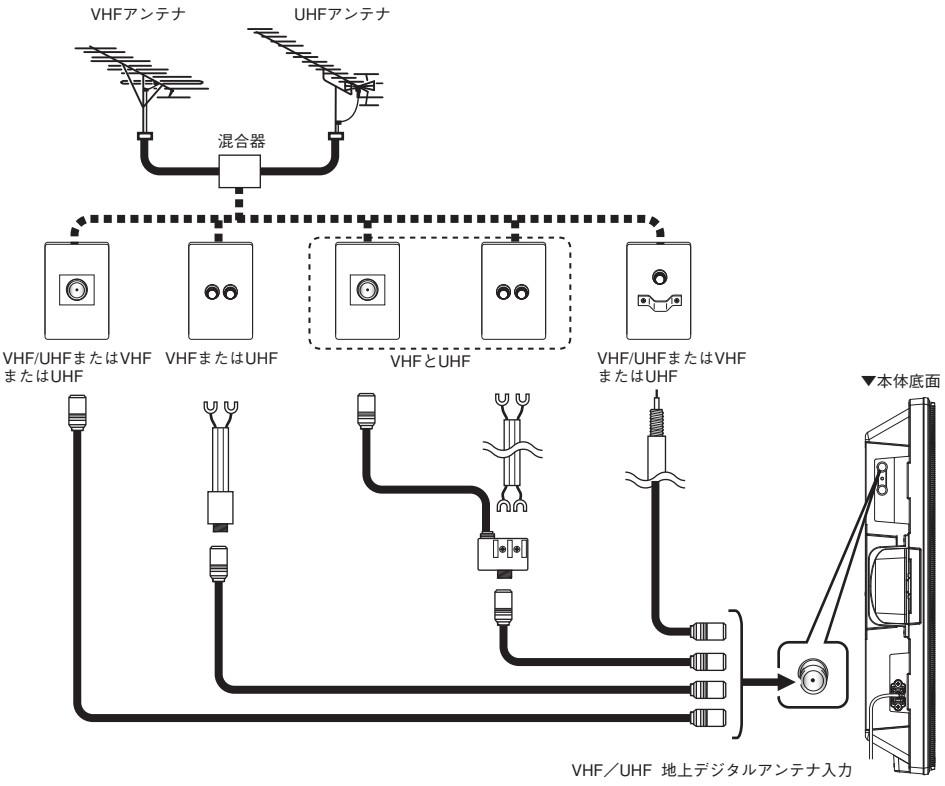
**お知らせ**

・B-CASカードについてのお問い合わせ(紛失、破損による再発行など)は:
(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンター
TEL　0570-000-250

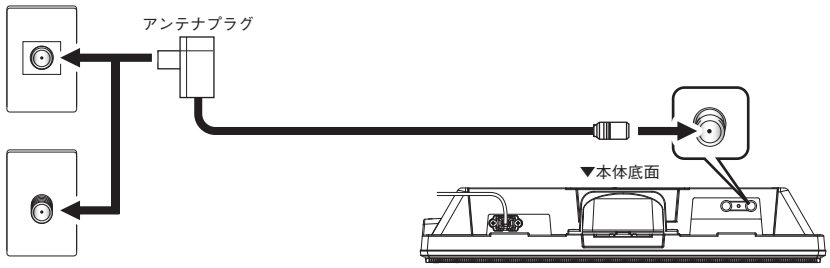
# 接続する

## ●地上アナログ/デジタルVHF/UHFアンテナの接続

市販のVHF／UHF用アンテナケーブルを使用し、部屋のアンテナ端子とテレビ底面の地上アナログ、地上デジタル共用アンテナ入力端子に接続します。




### マンションなどの共同受信設備の場合




**⚠接続のご注意**

- **地上アナログ放送用アンテナについて**
  VHF、UHFが別々の場合には、アンテナ混合器が必要です。
  (販売店にご相談ください)
- **地上デジタル放送用アンテナについて**
  UHF対応のアンテナを使用します。
  VHFアンテナでは受信できません。

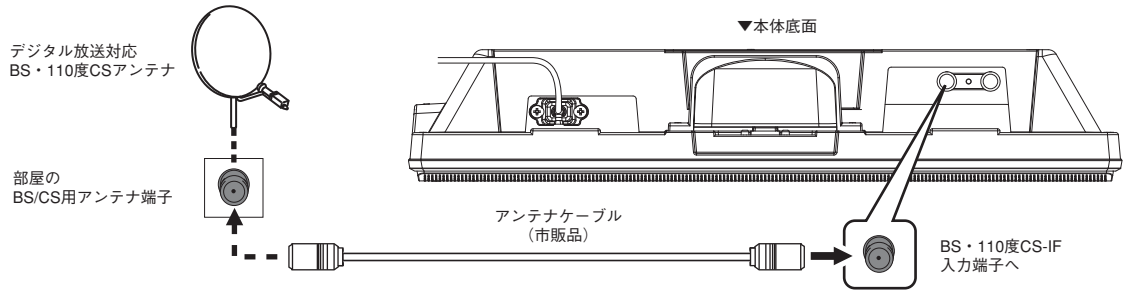
**⚠接続のご注意**

・現在VHFアンテナだけで受信している場合や、放送局によってUHFアンテナの向き（放送電波の中継基地）が異なる場合は、別途UHFアンテナ（地上デジタル放送対応）を設置してください。
・アンテナの設置状況が原因で地上デジタル放送の全部または一部が受信できない場合は、お買上げの販売店にご相談ください。

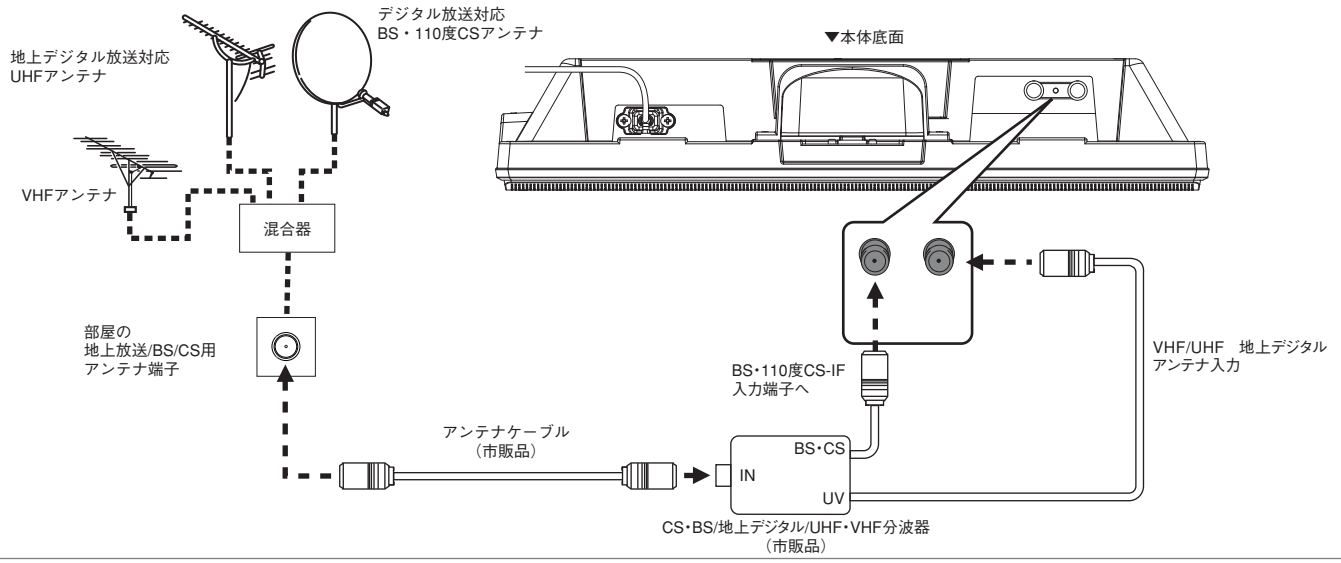
## ●BS･110度CSアンテナの接続

市販のデジタル放送対応のアンテナケーブルを使用し、部屋のBS/CS用アンテナ端子とテレビ底面のBS･110度CS-IF入力端子に接続します。

**⚠接続のご注意**
- BS･110度CSアンテナは、方向や角度がわずかでもずれると放送が映りません。調整のしかたは、アンテナの取扱説明書をごらんください。
- アンテナ電源設定をオンにしてください。(⇒[操作編]30ページ)




### VHF/UHF/BS･110度CSアンテナ混合のとき―マンションの共同受信など

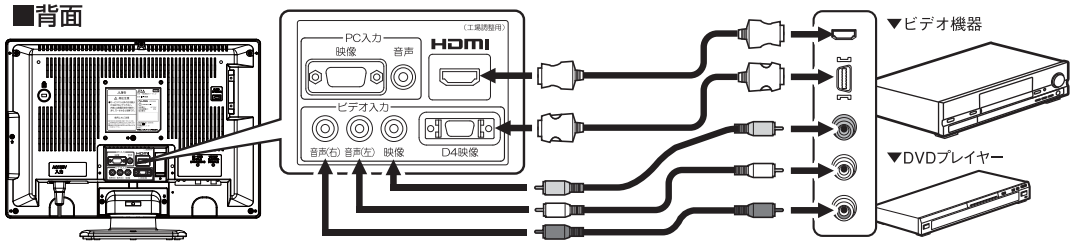


## ●ビデオやDVDプレーヤーなどの接続

ビデオ機器やDVDプレーヤーなどをビデオ入力端子に接続します。

### 接続例

■背面




**※D4映像入力端子について**
・本機のD4映像端子は、D4（1125i(1080i)、750p(720p)、525i(480i)、525p(480p)）の映像入力に対応しています。
・コンポジット入力端子よりも、色のにじみの少ない高画質の映像を楽しむことができます。

**⚠接続のご注意**

・接続するときは、本機や接続する機器の保護のため、電源を切ってください。
・接続ケーブルのプラグは接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。 不完全な接続は、画像や音声にノイズや雑音の原因となります。
・音声はそれぞれの音声端子（L（左）／R（右））に接続してください。
・接続をはずすときは、ケーブルや電源コードを無理にひっぱらず、プラグの先を持って抜いてください。
・複数の機器と接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源を切ってください。
・本機と接続している機器の距離が近すぎると、画像や音声が電波によって干渉を受けることがあります。
ノイズや雑音がでるときは、お互いを十分に離してください。

**お知らせ**

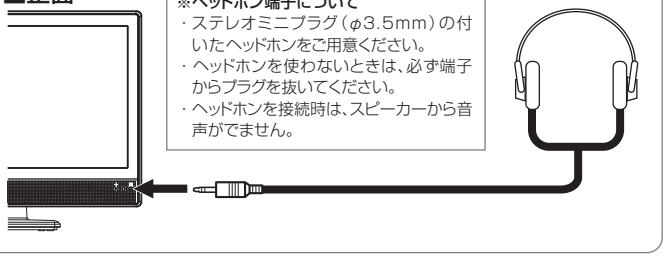
・本機とビデオ機器やDVDプレーヤーの再生のしかたについては、［操作編］55ページをご覧ください。
・ビデオ機器やDVDプレーヤーについて詳しくは、ビデオ機器やDVDプレーヤーの取扱説明書をあわせてお読みください。

## ●ヘッドホンなどの接続

ヘッドホンやイヤホンをヘッドホン端子に接続します。

### ヘッドホンやイヤホンを接続する

■正面




**お知らせ**
・接続する機器の取扱説明書をあわせてお読み下さい。

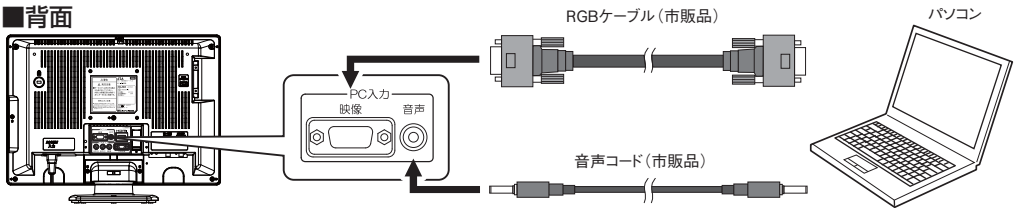
**⚠ 接続のご注意**
・接続するときは、本機や接続する機器の保護のため、電源を切ってください。
・ヘッドホン端子は／接続ケーブルのプラグは、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。不完全な接続はノイズや雑音の原因となります。
・音声はそれぞれの音声端子（L（左）／R（右））に接続してください。
・接続をはずすときは、ケーブルや電源コードを無理にひっぱらず、端子／プラグの先を持って抜いてください。
・複数の機器と接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源を切ってください。
・本機と接続している機器の距離が近すぎると、画像や音声が電波によって干渉を受けることがあります。ノイズや雑音がでるときは、お互いを十分に離してください。

## ●パソコンの接続

パソコンをPC入力端子に接続します。

### パソコンを接続する

■背面



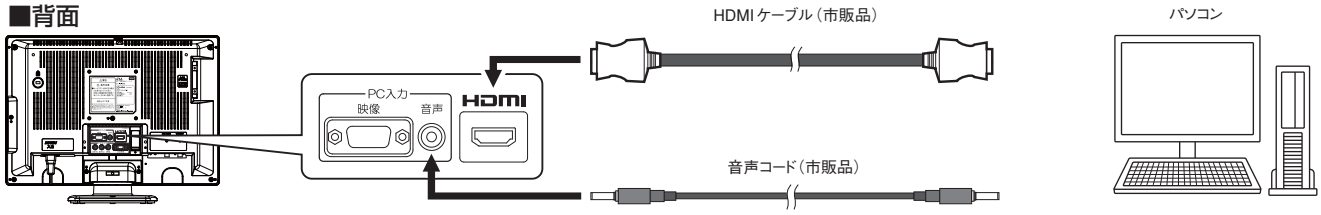

※PC入力端子について
本機のPC入力端子は、

| 解像度 | 垂直周波数 |
|---|---|
| 640×480 | 60Hz |
| 800×600 | 60Hz |
| 1024×768 | 60Hz |
| 1280×768 | 60Hz |

に対応しています。

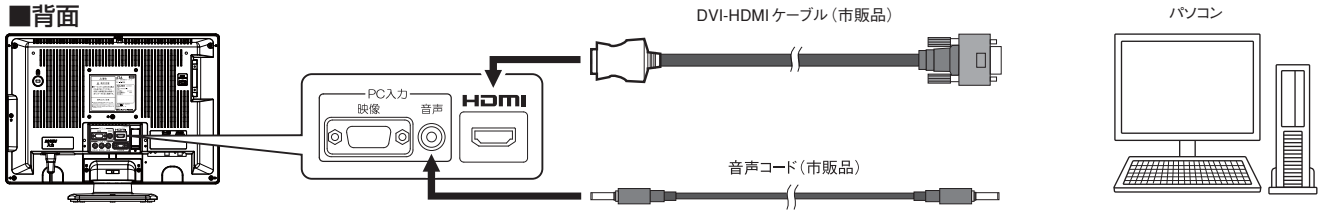
### パソコンを接続する（HDMI出力機器の場合）

■背面




### パソコンを接続する（DVI-HDMI出力機器の場合）

■背面




**⚠ 接続のご注意**
・接続するときは、本機や接続する機器の保護のため、電源を切ってください。
・外部モニターで表示できるようにパソコンを設定してください。詳しくはパソコンの取り扱い説明書をご覧ください。
・本機が対応している信号を入力しても、パソコンによっては本機が認識できないことがあります。
・パソコンによっては本機の画面表示位置がずれたり、映像がちらついたりすることがあります。
・パソコンのDVD再生ソフトなどで再生した映像は、本機の画面で正しく表示されなかったり、映像の動きが不自然になったりする場合があります。
不完全な接続は、画像や音声にノイズや雑音の原因となります。
・接続をはずすときは、無理にひっぱらず、プラグの先を持って抜いてください。

**お知らせ**
・本機とパソコンの接続操作については、〔操作編 P34、54をご覧ください。〕
・パソコンについて詳しくは、パソコンの取扱説明書をあわせてお読みください。

## ●ケーブルを束ねる

テレビ本体に接続した電源コード、その他の接続コードは付属のケーブルクランプを使って束ねてください。

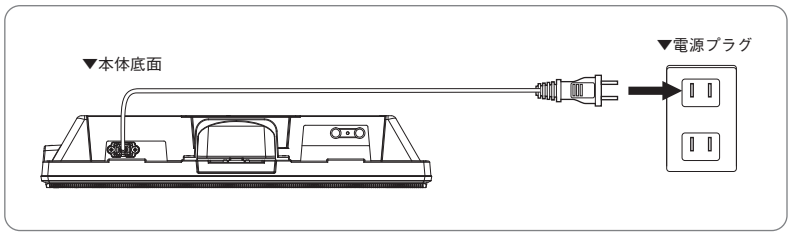
**お知らせ**
・画面にノイズがでる場合がありますので、アンテナ線と電源コードは一緒に束ねないでください。

## ●電源を入れる

本機の電源を入れます。
※ 電源を入れる前に必ず各種ケーブルの接続をしてください。

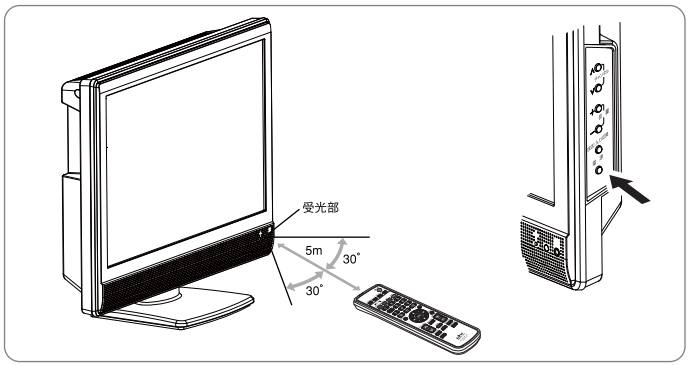
### 1 電源プラグをコンセントに差し込む

本機にアンテナや外部機器をすべて接続したあと、電源プラグをACコンセントに差し込みます。
電源待機状態（電源ランプ赤色点灯）または動作状態（電源ランプ緑色点灯）になります。
電源待機状態（電源ランプ赤色点灯）
⇒手順2に進みます。
動作状態（電源ランプ緑色点灯）
⇒選局などの操作ができます。




### 2 本体の右側面の「電源」またはリモコンの電源ボタンを押し、動作状態（電源ランプ緑色点灯）にする

**お知らせ**
・長い間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。



## メニュー項目の一覧

●リモコンの「メニュー」を押すと、メニュー項目が表示されます。
「▶」または「◀」で設定したい項目を選び、「決定」または「▼」「▲」を押してください。
●ここでは、本機で表示される全てのメニュー項目を記載していますが、実際に全ての項目が同時に表示されることはありません。本機の状態により必要な項目が表示されます。

▼メニュー画面

### 映像設定

映像をお好みの状態に
調整する項目です。

映像モード
映像調整/コントラスト
明るさ/カラー/色あい
画質　（34ページ）
色温度/ダイナミックコントラスト
NR/フィルムモード　（35ページ）

### その他の設定

使用環境に合わせた
機能の設定項目です。

放送/入力スキップ設定
外部入力機器名設定　（55ページ）
HDMI機器制御
OSD透過設定
OSDサイズ設定　（31ページ）
設定の初期化　（39ページ）

### 地上アナログ設定 *1
### デジタル放送設定 *2
### PC設定 *3

地上アナログ/デジタル放送/
PC入力の設定項目です。

地上アナログのとき
　自動チャンネル設定
　手動チャンネル設定
　チャンネルスキップ設定（22ページ）

デジタル放送のとき
　（21ページ参照）

PC入力のとき
　自動調整
　水平調整
　垂直調整
　フェーズ調整
　クロック調整　（57ページ）

### 音声設定

音声をお好みの状態に
調整する項目です。

低音/高音/バランス
サラウンド
HDMI音声切換
（36ページ）

### 消費電力設定

電力資源を有効に
使用するための
設定項目です。

バックライト設定
入力無信号オフ設定
無操作オフ設定
ダウンロード設定
（38ページ）

**お知らせ**

*1　地上アナログ視聴時のみ表示されます
*2　デジタル放送視聴時のみ表示されます
*3　PC入力選択時のみ表示されます
水色で表示されるメニュー項目は、選択できません

## ●デジタル放送設定メニュー一覧

「メニュー」を押し、「▶」で「デジタル放送設定」を選択して、「▲」／「▼」で「設定する」を選び、「決定」／「▶」を押す。TV メニュー画面が表示され、いろいろな機能や設定を呼び出すことができます。

### 信号切換

映像　（42ページ）
音声　（42ページ）

### 機器設定

試聴設定　（47ページ）
制限設定　（49ページ）
その他の設定　（47ページ）
ICカード情報　（52ページ）

### 初期設定

チャンネル設定　（29ページ）
設定初期化　（51ページ）

### お知らせ

放送局からのお知らせ
（45ページ）
CSボード　（45ページ）
本機に関するお知らせ
（45ページ）

# 設定する

## ●地上アナログ放送の設定をする

最初に本体横の放送／入力切換またはリモコンで地上アナログ受信状態にし、その後、メニューから「地上アナログ設定」を選びます。「自動チャンネル設定」「手動チャンネル設定」「チャンネルスキップ設定」の3つのメニューがあります。

※工場出荷時は、VHF1～12チャンネルがチャンネル番号（リモコン番号）とおりに設定されています。
※「地上アナログ設定」は地上アナログ番組を視聴中のみ表示されます。

### 自動チャンネル設定

地域コードを選択して各放送局（チャンネル番号）をリモコン番号「1」～「12」に自動的に割り当てます。

**1 「メニュー」を押し、「▶」で「地上アナログ設定」を選び、「▼」／「▲」で「自動チャンネル設定」を選択し、「決定」または「▶」を押す**

設定画面が表示されます。

**2 23ページの地域番号一覧表を参照して、「▼」／「▲」で番号を選び、「決定」または「▶」を押す**

チャンネル確認画面が表示されます。

**3 「▼」／「▲」で設定内容を確認し、「メニュー」を押して操作を終了する**

### 手動チャンネル設定

・お好みの放送局（チャンネル番号）をお好みのリモコン番号（ポジション）に割り当てる「チャンネル番号」
・テレビ画面に表示されるチャンネル番号を変更する「表示」
・各放送局の受信状態を調整する「微調整」の3つの設定をします。

**1 「メニュー」を押し、「▶」で「地上アナログ設定」を選び、「▼」／「▲」で「手動チャンネル設定」を選択し、「決定」または「▶」を押す**

設定画面が表示されます。

**2 「▼」／「▲」でリモコン番号（ポジション）を選び、「決定」または「◀」「▶」を押す**

選んだリモコン番号（ポジション）の詳細設定画面が表示されます。

**3 「▼」／「▲」で設定したい項目を選択する**

**4 「◀」／「▶」でお好みの内容に設定する**

**●チャンネル番号**

つぎのチャンネル番号をリモコン番号（ポジション）に割り当てることができます。

VHF／UHF　：「1」～「62」
CATV　：「C13」～「C38」

※リモコン番号（ポジション）「13」～「30」は、リモコンまたはテレビ本体の右側面操作部のチャンネルボタン「∧」／「∨」から順送りで選局します。（[操作編] 32ページ）

**●表示**

テレビ画面に表示されるチャンネル番号を変更することができます。

**●微調整**

お住まいの地域によっては、受信周波数を調整したほうが見やすくなる場合があります。そのような場合に調整します。

**5 手順3 4を繰り返し、各チャンネル番号をお好みの内容に変更する**

**6 設定が完了したら、「メニュー」を押して操作を終了する**

### チャンネルスキップ設定

リモコンまたはテレビ本体の右側面操作部のチャンネルボタン「∧」／「∨」からお好みのチャンネルを順送りで選局するときに、表示スキップするリモコン番号（ポジション）「1」～「30」を設定します。

**1 「メニュー」を押し、「▶」で「地上アナログ設定」を選び、「▼」／「▲」で「チャンネルスキップ設定」を選択し、「決定」または「▶」を押す**

設定画面が表示されます。

**2 「▼」／「▲」でリモコン番号（ポジション）を選択する**

**3 「◀」／「▶」／「決定」を押す**

「スキップ設定」が「受信」から「スキップ」に変更します。

**4 手順2 3を繰り返し、表示スキップするチャンネル番号を選ぶ**

**5 設定が完了したら、「メニュー」を押して操作を終了する**

設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。
（⇒[操作編] 39ページ）

## 地域番号一覧表

例:
11 ——リモコンボタンの番号
41(48) ——受信チャンネル
NHK 教育

・( ) 内は、受信チャンネルと異なった表示する場合の画面表示チャンネル番号を示します。
・工場出荷設定に戻すときは地域番号000を入力してください。

| 都道府県名 | 都市名 | 地域コード | リモコンボタン | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 北海道 | 札幌（江別） | 001 | 1 北海道放送 | | 3 NHK総合 | 17 テレビ北海道 | 5 札幌テレビ | | | 27 北海道文化放送 | | 35 北海道テレビ | | 12 NHK教育 |
| | 旭川 | 002 | | 2 NHK教育 | | 33 テレビ北海道 | 37 北海道文化放送 | 39 北海道テレビ | 7 札幌テレビ | | 9 NHK総合 | | 11 北海道放送 | |
| | 北見 | 003 | | 2 NHK教育 | | | | | 7 札幌テレビ | 53 北海道放送 | 9 NHK総合 | 59 北海道文化放送 | 61 北海道テレビ | |
| | 帯広 | 004 | | | | 4 NHK総合 | | 6 北海道放送 | 32 北海道文化放送 | | 34 北海道テレビ | 10 札幌テレビ | | 12 NHK教育 |
| | 釧路 | 005 | | 2 NHK教育 | 39 北海道テレビ | 41 北海道文化放送 | | | 7 札幌テレビ | | 9 NHK総合 | | 11 北海道放送 | |
| | 函館 | 006 | 21 テレビ北海道 | 27 北海道文化放送 | 35 北海道テレビ | 4 NHK総合 | | 6 北海道放送 | | | | 10 NHK教育 | | 12 札幌テレビ |
| | 苫小牧 | 007 | 47 テレビ北海道 | 49 NHK教育 | 51 NHK総合 | 53 北海道文化放送 | 55 北海道放送 | 57 札幌テレビ | 61 北海道テレビ | | | | | |
| | 小樽 | 008 | | 2 NHK教育 | | 4 北海道テレビ | | | 7 札幌テレビ | | 9 北海道放送 | 24 テレビ北海道 | 11 NHK総合 | 26 北海道文化放送 |
| | 室蘭 | 009 | | 2 NHK教育 | 29 テレビ北海道 | 37 北海道文化放送 | 39 北海道テレビ | | 7 札幌テレビ | | 9 NHK総合 | | 11 北海道文化放送 | |
| | 名寄 | 010 | 24 北海道テレビ | | 26 北海道文化放送 | 4 NHK総合 | | 6 札幌テレビ | | | | 10 北海道放送 | | 12 NHK教育 |
| | 稚内 | 011 | | | | 22 札幌テレビ | 24 北海道テレビ | 26 北海道文化放送 | 28 NHK総合 | 30 NHK教育 | | 10 北海道放送 | | |
| | 網走 | 012 | 1 北海道放送 | | 3 NHK総合 | | 5 札幌テレビ | | 27 北海道文化放送 | | 35 北海道テレビ | | | 12 NHK教育 |
| 青森 | 青森（弘前） | 013 | 1 青森放送 | | 3 NHK総合 | | 5 NHK教育 | | 34 青森朝日放送 | | 38 青森テレビ | | | |
| | 八戸 | 014 | | | | 31 青森朝日放送 | | 33 青森テレビ | 7 NHK教育 | | 9 NHK総合 | | 11 青森放送 | |
| | むつ | 015 | | | | 4 NHK総合 | | 56 青森朝日放送 | | 58 青森テレビ | | 10 青森放送 | | 12 NHK教育 |
| 岩手 | 盛岡 | 016 | | | | 4 NHK総合 | | 6 岩手放送 | | 8 NHK教育 | | 33 めんこいテレビ | 31 岩手朝日テレビ | 35 テレビ岩手 |
| | 釜石 | 017 | | 2 NHK総合 | | 58 テレビ岩手 | | 60 めんこいテレビ | | 62 岩手朝日テレビ | | 10 岩手放送 | | 12 NHK教育 |
| | 二戸 | 018 | | 2 岩手放送 | | | 5 NHK総合 | | 27 岩手朝日テレビ | 29 めんこいテレビ | 37 テレビ岩手 | | | 12 NHK教育 |
| 宮城 | 仙台 | 019 | 1 東北放送 | | 3 NHK総合 | | 5 NHK教育 | | 32 東日本放送 | | 34 宮城テレビ | | | 12 仙台放送 |
| | 石巻 | 020 | 59 東北放送 | | 51 NHK総合 | | 49 NHK教育 | | 61 東日本放送 | | 55 宮城テレビ | | | 57 仙台放送 |
| | 気仙沼 | 021 | | 2 NHK総合 | | 4 東北放送 | | 6 仙台放送 | 37 宮城テレビ | 43 東日本放送 | | 10 NHK教育 | | |
| 秋田 | 秋田 | 022 | | 2 NHK教育 | | | | | 31 秋田朝日放送 | 37 秋田テレビ | 9 NHK総合 | | 11 秋田放送 | |
| | 大館 | 023 | | | | 4 NHK総合 | 57 秋田テレビ | 6 秋田放送 | | 8 NHK教育 | | | | 59 秋田朝日放送 |
| | 大曲 | 024 | | 43 NHK教育 | | | | | 41 秋田朝日放送 | 51 秋田テレビ | 45 NHK総合 | | 47 秋田放送 | |

| 都道府県名 | 都市名 | 地域コード | リモコンボタン | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 山形 | 山形 | 025 | | | | 4<br>NHK<br>教育 | | 36<br>テレビ<br>ユー山形 | | 8<br>NHK<br>総合 | | 10<br>山形放送 | 30<br>さくらんぼ<br>テレビ | 38<br>山形<br>テレビ |
| | 鶴岡<br>（酒田） | 026 | 1<br>山形放送 | | 3<br>NHK<br>総合 | | | 6<br>NHK<br>教育 | | 22<br>テレビ<br>ユー山形 | | 39<br>山形<br>テレビ | | 24<br>さくらんぼ<br>テレビ |
| | 米沢 | 027 | | | | 50<br>NHK<br>教育 | | 56<br>テレビ<br>ユー山形 | | 52<br>NHK<br>総合 | | 54<br>山形放送 | 60<br>さくらんぼ<br>テレビ | 58<br>山形<br>テレビ |
| 福島 | 福島<br>（郡山） | 028 | | 2<br>NHK<br>教育 | | 31<br>テレビ<br>ユー福島 | | | 33<br>福島中央<br>テレビ | 35<br>福島放送 | 9<br>NHK<br>総合 | | 11<br>福島<br>テレビ | |
| | 会津若松 | 029 | 1<br>NHK<br>総合 | | 3<br>NHK<br>教育 | | | 6<br>福島<br>テレビ | | 37<br>福島中央<br>テレビ | 41<br>福島放送 | | | 47<br>テレビ<br>ユー福島 |
| | いわき | 030 | | 32<br>テレビ<br>ユー福島 | | 4<br>NHK<br>総合 | | 34<br>福島中央<br>テレビ | | 8<br>福島<br>テレビ | | 10<br>NHK<br>教育 | | 36<br>福島放送 |
| 茨城 | 水戸 | 031 | 44（1）<br>NHK<br>総合 | | 46（3）<br>NHK<br>教育 | 42（4）<br>日本<br>テレビ | | 40（6）<br>TBS<br>テレビ | | 38（8）<br>フジ<br>テレビ | | 36（10）<br>テレビ<br>朝日 | | 32（12）<br>テレビ<br>東京 |
| | 日立<br>（ひたちなか） | 032 | 52（1）<br>NHK<br>総合 | | 50（3）<br>NHK<br>教育 | 54（4）<br>日本<br>テレビ | | 56（6）<br>TBS<br>テレビ | | 58（8）<br>フジ<br>テレビ | | 60（10）<br>テレビ<br>朝日 | | 62（12）<br>テレビ<br>東京 |
| 栃木 | 宇都宮 | 033 | 51（1）<br>NHK<br>総合 | | 49（3）<br>NHK<br>教育 | 53（4）<br>日本<br>テレビ | 31<br>とちぎ<br>テレビ | 55（6）<br>TBS<br>テレビ | | 57（8）<br>フジ<br>テレビ | | 41（10）<br>テレビ<br>朝日 | | 44（12）<br>テレビ<br>東京 |
| | 矢板 | 034 | 40（1）<br>NHK<br>総合 | | 30（3）<br>NHK<br>教育 | 36（4）<br>日本<br>テレビ | 33（31）<br>とちぎ<br>テレビ | 42（6）<br>TBS<br>テレビ | | 45（8）<br>フジ<br>テレビ | | 59（10）<br>テレビ<br>朝日 | | 61（12）<br>テレビ<br>東京 |
| 群馬 | 前橋<br>（高崎） | 035 | 52（1）<br>NHK<br>総合 | | 50（3）<br>NHK<br>教育 | 54（4）<br>日本<br>テレビ | | 56（6）<br>TBS<br>テレビ | | 58（8）<br>フジ<br>テレビ | | 60（10）<br>テレビ<br>朝日 | 48<br>群馬<br>テレビ | 62（12）<br>テレビ<br>東京 |
| | 桐生 | 036 | 51（1）<br>NHK<br>総合 | | 57（3）<br>NHK<br>教育 | 53（4）<br>日本<br>テレビ | | 55（6）<br>TBS<br>テレビ | | 35（8）<br>フジ<br>テレビ | | 59（10）<br>テレビ<br>朝日 | 41（48）<br>群馬<br>テレビ | 61（12）<br>テレビ<br>東京 |
| 埼玉 | さいたま | 037 | 1<br>NHK<br>総合 | | 3<br>NHK<br>教育 | 4<br>日本<br>テレビ | | 6<br>TBS<br>テレビ | 38<br>テレビ<br>埼玉 | 8<br>フジ<br>テレビ | | 10<br>テレビ<br>朝日 | | 12<br>テレビ<br>東京 |
| | 熊谷<br>（児玉） | 038 | 51（1）<br>NHK<br>総合 | | 35（3）<br>NHK<br>教育 | 53（4）<br>日本<br>テレビ | | 55（6）<br>TBS<br>テレビ | 30（38）<br>テレビ<br>埼玉 | 57（8）<br>フジ<br>テレビ | | 59（10）<br>テレビ<br>朝日 | | 61（12）<br>テレビ<br>東京 |
| | 秩父 | 039 | 14（1）<br>NHK<br>総合 | | 49（3）<br>NHK<br>教育 | 16（4）<br>日本<br>テレビ | | 18（6）<br>TBS<br>テレビ | 47（38）<br>テレビ<br>埼玉 | 29（8）<br>フジ<br>テレビ | | 38（10）<br>テレビ<br>朝日 | | 44（12）<br>テレビ<br>東京 |
| 千葉 | 千葉 | 040 | 1<br>NHK<br>総合 | | 3<br>NHK<br>教育 | 4<br>日本<br>テレビ | 14<br>MX<br>テレビ | 6<br>TBS<br>テレビ | | 8<br>フジ<br>テレビ | 46<br>千葉<br>テレビ | 10<br>テレビ<br>朝日 | | 12<br>テレビ<br>東京 |
| | 銚子 | 041 | 51（1）<br>NHK<br>総合 | | 49（3）<br>NHK<br>教育 | 53（4）<br>日本<br>テレビ | | 55（6）<br>TBS<br>テレビ | | 57（8）<br>フジ<br>テレビ | 39（46）<br>千葉<br>テレビ | 59（10）<br>テレビ<br>朝日 | | 61（12）<br>テレビ<br>東京 |
| 東京 | 23区 | 042 | 1<br>NHK<br>総合 | | 3<br>NHK<br>教育 | 4<br>日本<br>テレビ | 14<br>MX<br>テレビ | 6<br>TBS<br>テレビ | 42<br>TVK<br>テレビ | 8<br>フジ<br>テレビ | 46<br>千葉<br>テレビ | 10<br>テレビ<br>朝日 | 38<br>テレビ<br>埼玉 | 12<br>テレビ<br>東京 |
| | 八王子 | 043 | 33（1）<br>NHK<br>総合 | | 29（3）<br>NHK<br>教育 | 35（4）<br>日本<br>テレビ | 40（14）<br>MX<br>テレビ | 37（6）<br>TBS<br>テレビ | | 31（8）<br>フジ<br>テレビ | | 45（10）<br>テレビ<br>朝日 | | 62（12）<br>テレビ<br>東京 |
| | 多摩 | 044 | 49（1）<br>NHK<br>総合 | | 47（3）<br>NHK<br>教育 | 51（4）<br>日本<br>テレビ | 61（14）<br>MX<br>テレビ | 53（6）<br>TBS<br>テレビ | | 55（8）<br>フジ<br>テレビ | | 57（10）<br>テレビ<br>朝日 | | 59（12）<br>テレビ<br>東京 |
| 神奈川 | 横浜1 | 045 | 52（1）<br>NHK<br>総合 | | 50（3）<br>NHK<br>教育 | 54（4）<br>日本<br>テレビ | | 56（6）<br>TBS<br>テレビ | 48（42）<br>TVK<br>テレビ | 58（8）<br>フジ<br>テレビ | | 60（10）<br>テレビ<br>朝日 | | 62（12）<br>テレビ<br>東京 |
| | 横浜2 | 046 | 1<br>NHK<br>総合 | | 3<br>NHK<br>教育 | 4<br>日本<br>テレビ | | 6<br>TBS<br>テレビ | 42<br>TVK<br>テレビ | 8<br>フジ<br>テレビ | | 10<br>テレビ<br>朝日 | | 12<br>テレビ<br>東京 |
| | 平塚<br>（茅ヶ崎） | 047 | 33（1）<br>NHK<br>総合 | | 29（3）<br>NHK<br>教育 | 35（4）<br>日本<br>テレビ | | 37（6）<br>TBS<br>テレビ | 31（42）<br>TVK<br>テレビ | 39（8）<br>フジ<br>テレビ | | 41（10）<br>テレビ<br>朝日 | | 43（12）<br>テレビ<br>東京 |
| | 小田原 | 048 | 52（1）<br>NHK<br>総合 | | 50（3）<br>NHK<br>教育 | 54（4）<br>日本<br>テレビ | | 56（6）<br>TBS<br>テレビ | 46（42）<br>TVK<br>テレビ | 58（8）<br>フジ<br>テレビ | | 60（10）<br>テレビ<br>朝日 | | 62（12）<br>テレビ<br>東京 |
| | 秦野 | 049 | 47（1）<br>NHK<br>総合 | | 49（3）<br>NHK<br>教育 | 51（4）<br>日本<br>テレビ | | 53（6）<br>TBS<br>テレビ | 61（42）<br>TVK<br>テレビ | 55（8）<br>フジ<br>テレビ | | 57（10）<br>テレビ<br>朝日 | | 59（12）<br>テレビ<br>東京 |

| 都道府県名 | 都市名 | 地域コード | リモコンボタン | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 新潟 | 新潟（長岡） | 050 | | | | 21 新潟テレビ21 | 5 新潟放送 | 29 テレビ新潟 | | 8 NHK総合 | | 35 新潟総合テレビ | | 12 NHK教育 |
| | 上越 | 051 | 1 NHK教育 | | 3 NHK総合 | | | 27 テレビ新潟 | | 33 新潟総合テレビ | | 10 新潟放送 | | 37 新潟テレビ21 |
| 富山 | 富山 | 052 | 1 北日本放送 | | 3 NHK総合 | | | | | 32 チューリップテレビ | | 10 NHK教育 | | 34 富山テレビ |
| | 高岡 | 053 | 50 北日本放送 | | 48 NHK総合 | | | | | 42 チューリップテレビ | | 46 NHK教育 | | 44 富山テレビ |
| 石川 | 金沢（小松） | 054 | | | | 4 NHK総合 | | 6 北陸放送 | 25 北陸朝日放送 | 8 NHK教育 | | 33 テレビ金沢 | | 37 石川テレビ |
| | 七尾 | 055 | | | | | 5 NHK教育 | | 59 北陸朝日放送 | | 9 NHK総合 | 57 テレビ金沢 | 11 北陸放送 | 55 石川テレビ |
| 福井 | 福井 | 056 | | | 3 NHK教育 | | | | | | 9 NHK総合 | | 11 福井放送 | 39 福井テレビ |
| | 敦賀 | 057 | | | | 38 福井テレビ | | 6 NHK総合 | | 8 福井放送 | | | | 12 NHK教育 |
| 山梨 | 甲府 | 058 | 1 NHK総合 | | 3 NHK教育 | | 5 山梨放送 | 37 テレビ山梨 | | | | | | |
| 長野 | 長野1 | 059 | | 44（2） NHK総合 | | | 50（20） 長野朝日放送 | | 40（30） テレビ信州 | 42（38） 長野放送 | 46（9） NHK教育 | | 48（11） 信越放送 | |
| | 長野2 | 060 | | 2 NHK総合 | | | 20 長野朝日放送 | | 30 テレビ信州 | 38 長野放送 | 9 NHK教育 | | 11 信越放送 | |
| | 飯田 | 061 | 40 長野放送 | | 3 NHK教育 | 4 NHK総合 | | 6 信越放送 | 42 テレビ信州 | | 44 長野朝日放送 | | | |
| | 松本 | 062 | | 44 NHK総合 | | | 50 長野朝日放送 | | 48 テレビ信州 | 42 長野放送 | 46 NHK教育 | | 40 信越放送 | |
| | 岡谷（諏訪） | 063 | | | | 4 NHK総合 | | 6 信越放送 | | 8 NHK教育 | | 47 長野放送 | 59 テレビ信州 | 61 長野朝日放送 |
| 岐阜 | 岐阜（大垣） | 064 | 1 東海テレビ | | 3 NHK総合 | | 5 中部日本放送 | | 35 中京テレビ | 25 テレビ愛知 | 9 NHK教育 | | 11 名古屋テレビ | 37 岐阜放送 |
| | 高山 | 065 | | 2 NHK教育 | | 4 NHK総合 | | 6 中部日本放送 | | 8 東海テレビ | | 26 中京テレビ | 38 岐阜放送 | 12 名古屋テレビ |
| | 各務原 | 066 ADD | 1 東海テレビ | 2 | 3 NHK総合 | 4 | 5 中部日本放送 | 6 | 7 | 8 | 9 NHK教育 | 37 岐阜放送 | 11 名古屋テレビ | 35 中京テレビ |
| | 中津川 | 067 | | 26 中京テレビ | | 4 NHK総合 | | 6 名古屋テレビ | | 8 中部日本放送 | | 10 東海テレビ | 28 岐阜放送 | 12 NHK教育 |
| 静岡 | 静岡（清水） | 068 | | 2 NHK教育 | | 31 静岡第一テレビ | 33 静岡朝日テレビ | 35 テレビ静岡 | | | 9 NHK総合 | | 11 静岡放送 | |
| | 浜松 | 069 | | | | 4 NHK総合 | | 6 静岡放送 | | 8 NHK教育 | 28 静岡朝日テレビ | 30 静岡第一テレビ | | 34 テレビ静岡 |
| | 富士（富士宮） | 070 | | 54 NHK教育 | | 27 静岡第一テレビ | | 29 静岡朝日テレビ | | | 52 NHK総合 | | 41 静岡放送 | 39 テレビ静岡 |
| | 沼津（三島） | 071 | | 51 NHK教育 | | 61 静岡第一テレビ | | 57 静岡朝日テレビ | | | 53 NHK総合 | | 55 静岡放送 | 59 テレビ静岡 |
| | 島田 | 072 | 56（1） NHK総合 | | 54（3） NHK教育 | | 62（5） 静岡放送 | | | 48 静岡第一テレビ | | 50 静岡朝日テレビ | | 58 テレビ静岡 |
| | 藤枝 | 073 | 42 NHK総合 | | 44 NHK教育 | | 40 静岡放送 | | | 24 静岡第一テレビ | | 26 静岡朝日テレビ | | 38 テレビ静岡 |

| 都道府県名 | 都市名 | 地域コード | リモコンボタン | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 愛知 | 名古屋 | 074 | 1<br>東海<br>テレビ | 2<br>skip | 3<br>NHK<br>総合 | 4<br>skip | 5<br>中部日本<br>放送 | 33<br>三重<br>テレビ | 25<br>テレビ<br>愛知 | 8<br>skip | 9<br>NHK<br>教育 | 37<br>岐阜放送 | 11<br>名古屋<br>テレビ | 35<br>中京<br>テレビ |
| | 豊橋<br>（豊川） | 075 | 56（1）<br>東海<br>テレビ | | 54（3）<br>NHK<br>総合 | | 62（5）<br>中部日本<br>放送 | | 52（25）<br>テレビ<br>愛知 | | 50（9）<br>NHK<br>教育 | | 60（11）<br>名古屋<br>テレビ | 58（35）<br>中京<br>テレビ |
| | 豊田 | 076 | 57（1）<br>東海<br>テレビ | | 53（3）<br>NHK<br>総合 | | 55（5）<br>中部日本<br>放送 | | 49（25）<br>テレビ<br>愛知 | | 51（9）<br>NHK<br>教育 | | 61（11）<br>名古屋<br>テレビ | 59（35）<br>中京<br>テレビ |
| | 蒲郡<br>（田原） | 077 | 38（1）<br>東海<br>テレビ | | 44（3）<br>NHK<br>総合 | | 36（5）<br>中部日本<br>放送 | | 32（25）<br>テレビ<br>愛知 | | 46（9）<br>NHK<br>教育 | | 42（11）<br>名古屋<br>テレビ | 40（35）<br>中京<br>テレビ |
| 三重 | 津 | 078 | 1<br>東海<br>テレビ | | 3<br>NHK<br>総合 | | 5<br>中部日本<br>放送 | | 25<br>テレビ<br>愛知 | | 9<br>NHK<br>教育 | 33<br>三重<br>テレビ | 11<br>名古屋<br>テレビ | 35<br>中京<br>テレビ |
| | 伊勢 | 079 | 57（1）<br>東海<br>テレビ | | 53（3）<br>NHK<br>総合 | | 55（5）<br>中部日本<br>放送 | | | | 49（9）<br>NHK<br>教育 | 59（33）<br>三重<br>テレビ | 61（11）<br>名古屋<br>テレビ | 47（35）<br>中京<br>テレビ |
| | 名張<br>（上野） | 080 | 52<br>NHK<br>総合 | 2<br>NHK<br>総合 | 54<br>中京<br>テレビ | 4<br>毎日放送 | 56<br>名古屋<br>テレビ | 6<br>朝日放送 | 58<br>三重<br>テレビ | 8<br>関西<br>テレビ | 60<br>中部日本<br>放送 | 10<br>読売<br>テレビ | 62<br>東海<br>テレビ | 12<br>NHK<br>教育 |
| 滋賀 | 大津 | 081 | | 28（2）<br>NHK<br>総合 | | 36（4）<br>毎日放送 | | 38（6）<br>朝日放送 | 34<br>京都<br>テレビ | 40（8）<br>関西<br>テレビ | | 42（10）<br>読売<br>テレビ | 30<br>びわ湖<br>放送 | 46（12）<br>NHK<br>教育 |
| | 彦根 | 082 | | 52（2）<br>NHK<br>総合 | | 54（4）<br>毎日放送 | | 58（6）<br>朝日放送 | 34<br>京都<br>テレビ | 60（8）<br>関西<br>テレビ | | 62（10）<br>読売<br>テレビ | 56（30）<br>びわ湖<br>放送 | 50（12）<br>NHK<br>教育 |
| 京都 | 京都 | 083 | | 2<br>NHK<br>総合 | | 4<br>毎日放送 | 19<br>テレビ<br>大阪 | 6<br>朝日放送 | 34<br>京都<br>テレビ | 8<br>関西<br>テレビ | | 10<br>読売<br>テレビ | | 12<br>NHK<br>教育 |
| | 舞鶴1 | 084 | | 42（2）<br>NHK<br>総合 | | 33（4）<br>毎日放送 | | 35（6）<br>朝日放送 | 37（34）<br>京都<br>テレビ | 39（8）<br>関西<br>テレビ | | 41（10）<br>読売<br>テレビ | | 45（12）<br>NHK<br>教育 |
| | 舞鶴2 | 085 | | 51（2）<br>NHK<br>総合 | | 53（4）<br>毎日放送 | | 55（6）<br>朝日放送 | 57（34）<br>京都<br>テレビ | 59（8）<br>関西<br>テレビ | | 61（10）<br>読売<br>テレビ | | 49（12）<br>NHK<br>教育 |
| | 福知山 | 086 | | 50（2）<br>NHK<br>総合 | | 54（4）<br>毎日放送 | | 58（6）<br>朝日放送 | 56（34）<br>京都<br>テレビ | 60（8）<br>関西<br>テレビ | | 62（10）<br>読売<br>テレビ | | 52（12）<br>NHK<br>教育 |
| | 宮津 | 087 | | 43（2）<br>NHK<br>総合 | | 33（4）<br>毎日放送 | | 35（6）<br>朝日放送 | | 37（8）<br>関西<br>テレビ | 39（34）<br>京都<br>テレビ | 41（10）<br>読売<br>テレビ | | 45（12）<br>NHK<br>教育 |
| 大阪 | 大阪 | 088 | 1 | 2<br>NHK<br>総合 | 19<br>テレビ<br>大阪 | 4<br>毎日放送 | 36<br>サン<br>テレビ | 6<br>朝日放送 | 34<br>京都<br>テレビ | 8<br>関西<br>テレビ | 9 | 10<br>読売<br>テレビ | 11 | 12<br>NHK<br>教育 |
| 兵庫 | 神戸 | 089 | | 2<br>NHK<br>総合 | 36<br>サン<br>テレビ | 4<br>毎日放送 | 19<br>テレビ<br>大阪 | 6<br>朝日放送 | | 8<br>関西<br>テレビ | | 10<br>読売<br>テレビ | | 12<br>NHK<br>教育 |
| | 神戸北 | 090 | | 28（2）<br>NHK<br>総合 | 36<br>サン<br>テレビ | 31（4）<br>毎日放送 | 19<br>テレビ<br>大阪 | 41（6）<br>朝日放送 | | 43（8）<br>関西<br>テレビ | | 47（10）<br>読売<br>テレビ | | 45（12）<br>NHK<br>教育 |
| | 川西1 | 091 | | 29（2）<br>NHK<br>総合 | 33（36）<br>サン<br>テレビ | 35（4）<br>毎日放送 | 21（19）<br>テレビ<br>大阪 | 37（6）<br>朝日放送 | | 39（8）<br>関西<br>テレビ | | 41（10）<br>読売<br>テレビ | | 31（12）<br>NHK<br>教育 |
| | 川西2 | 092 | | 49（2）<br>NHK<br>総合 | 53（36）<br>サン<br>テレビ | 55（4）<br>毎日放送 | 47（19）<br>テレビ<br>大阪 | 57（6）<br>朝日放送 | | 59（8）<br>関西<br>テレビ | | 61（10）<br>読売<br>テレビ | | 51（12）<br>NHK<br>教育 |
| | 姫路 | 093 | | 50（2）<br>NHK<br>総合 | 56（36）<br>サン<br>テレビ | 54（4）<br>毎日放送 | | 58（6）<br>朝日放送 | | 60（8）<br>関西<br>テレビ | | 62（10）<br>読売<br>テレビ | | 52（12）<br>NHK<br>教育 |
| | 明石<br>（加古川） | 094 | | 51（2）<br>NHK<br>総合 | 55（36）<br>サン<br>テレビ | 53（4）<br>毎日放送 | 19<br>テレビ<br>大阪 | 57（6）<br>朝日放送 | | 59（8）<br>関西<br>テレビ | | 61（10）<br>読売<br>テレビ | | 49（12）<br>NHK<br>教育 |
| | 三木 | 095 | | 44（2）<br>NHK<br>総合 | 36<br>サン<br>テレビ | 34（4）<br>毎日放送 | | 38（6）<br>朝日放送 | | 40（8）<br>関西<br>テレビ | | 42（10）<br>読売<br>テレビ | | 46（12）<br>NHK<br>教育 |
| 奈良 | 奈良<br>（橿原） | 096 | | 2<br>NHK<br>総合 | | 4<br>毎日放送 | 19<br>テレビ<br>大阪 | 6<br>朝日放送 | | 8<br>関西<br>テレビ | 55<br>奈良<br>テレビ | 10<br>読売<br>テレビ | 34<br>京都<br>テレビ | 12<br>NHK<br>教育 |
| | 五条 | 097 | | 43（2）<br>NHK<br>総合 | | 33（4）<br>毎日放送 | | 35（6）<br>朝日放送 | | 37（8）<br>関西<br>テレビ | 41（55）<br>奈良<br>テレビ | 39（10）<br>読売<br>テレビ | | 45（12）<br>NHK<br>教育 |

| 都道府県名 | 都市名 | 地域コード | リモコンボタン | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 和歌山 | 和歌山 | 098 | | 32(2)<br>NHK<br>総合 | | 42(4)<br>毎日放送 | 30<br>テレビ<br>和歌山 | 44(6)<br>朝日放送 | | 46(8)<br>関西<br>テレビ | | 48(10)<br>読売<br>テレビ | | 25(12)<br>NHK<br>教育 |
| | 田辺<br>(白浜) | 099 | | 50(2)<br>NHK<br>総合 | | 54(4)<br>毎日放送 | 56(30)<br>テレビ<br>和歌山 | 58(6)<br>朝日放送 | | 60(8)<br>関西<br>テレビ | | 62(10)<br>読売<br>テレビ | | 52(12)<br>NHK<br>教育 |
| | 田辺<br>(槇山) | 100 | | 16(2)<br>NHK<br>総合 | | 22(4)<br>毎日放送 | 20(30)<br>テレビ<br>和歌山 | 25(6)<br>朝日放送 | | 27(8)<br>関西<br>テレビ | | 29(10)<br>読売<br>テレビ | | 18(12)<br>NHK<br>教育 |
| | 御坊 | 101 | | 49(2)<br>NHK<br>総合 | | 53(4)<br>毎日放送 | 55(30)<br>テレビ<br>和歌山 | 57(6)<br>朝日放送 | | 59(8)<br>関西<br>テレビ | | 61(10)<br>読売<br>テレビ | | 51(12)<br>NHK<br>教育 |
| 鳥取 | 鳥取 | 102 | 1<br>日本海<br>テレビ | | 3<br>NHK<br>総合 | 4<br>NHK<br>教育 | | | | | | 22<br>山陰放送 | | 24<br>山陰中央<br>テレビ |
| 島根 | 松江 | 103 | 30<br>日本海<br>テレビ | | | | | 6<br>NHK<br>総合 | | 34<br>山陰中央<br>テレビ | | 10<br>山陰放送 | | 12<br>NHK<br>教育 |
| | 浜田 | 104 | | 2<br>NHK<br>総合 | 54<br>日本海<br>テレビ | | 5<br>山陰放送 | | | 58<br>山陰中央<br>テレビ | 9<br>NHK<br>教育 | | | |
| 岡山 | 岡山<br>(倉敷) | 105 | 23<br>テレビ<br>せとうち | 25<br>瀬戸内海<br>放送 | 3<br>NHK<br>教育 | | 5<br>NHK<br>総合 | | 35<br>岡山放送 | | 9<br>西日本<br>放送 | | 11<br>山陽放送 | |
| | 津山 | 106 | | 2<br>NHK<br>総合 | | | | | 7<br>山陽放送 | 56<br>テレビ<br>せとうち | 58<br>西日本<br>放送 | 60<br>岡山放送 | 62<br>瀬戸内海<br>放送 | 12<br>NHK<br>教育 |
| | 笠岡 | 107 | | 2<br>NHK<br>総合 | | 4<br>NHK<br>教育 | | 6<br>山陽放送 | | 34<br>西日本<br>放送 | | 22<br>テレビ<br>せとうち | 55<br>瀬戸内海<br>放送 | 60<br>岡山放送 |
| 広島 | 広島 | 108 | 31<br>テレビ<br>新広島 | | 3<br>NHK<br>総合 | 4<br>中国放送 | | | 7<br>NHK<br>教育 | | | 35<br>広島ホーム<br>テレビ | | 12<br>広島<br>テレビ |
| | 福山 | 109 | | | 3<br>NHK<br>教育 | | 5<br>NHK<br>総合 | 54<br>テレビ<br>新広島 | 7<br>中国放送 | | 57<br>広島ホーム<br>テレビ | | 11<br>広島<br>テレビ | |
| | 尾道 | 110 | 1<br>NHK<br>総合 | | 24<br>広島ホーム<br>テレビ | | 26<br>テレビ<br>新広島 | | 7<br>NHK<br>教育 | | | 10<br>中国放送 | | 12<br>広島<br>テレビ |
| | 呉 | 111 | 1<br>NHK<br>教育 | | 24<br>広島ホーム<br>テレビ | | 5<br>広島<br>テレビ | | 26<br>テレビ<br>新広島 | | 9<br>中国放送 | | 11<br>NHK<br>総合 | |
| 山口 | 山口 | 112 | 1<br>NHK<br>教育 | | | 28<br>山口朝日<br>放送 | | | 38<br>テレビ<br>山口 | | 9<br>NHK<br>総合 | | 11<br>山口放送 | |
| | 下関 | 113 | 1 | 2<br>九州朝日<br>放送 | 33<br>テレビ<br>山口 | 4<br>山口放送 | 35<br>福岡放送 | | 39<br>NHK<br>総合 | 8<br>RKB<br>毎日放送 | 23<br>テレビQ | 10<br>テレビ<br>西日本 | 21<br>山口朝日<br>放送 | 12<br>NHK<br>教育 |
| | 宇部 | 114 | 55<br>NHK<br>教育 | | | | 24<br>山口朝日<br>放送 | | 44<br>テレビ<br>山口 | | 58<br>NHK<br>総合 | | 61<br>山口放送 | |
| | 岩国 | 115 | | | 3<br>NHK<br>総合 | 4<br>中国放送 | 31<br>テレビ<br>新広島 | 35<br>広島ホーム<br>テレビ | 7<br>NHK<br>教育 | | 28<br>山口朝日<br>放送 | 62<br>テレビ<br>山口 | 11<br>山口放送 | 12<br>広島<br>テレビ |
| 徳島 | 徳島 | 116 | 1<br>四国放送 | | 3<br>NHK<br>総合 | 4<br>毎日放送 | | 6<br>朝日放送 | | 8<br>関西<br>テレビ | | 10<br>読売<br>テレビ | | 12<br>NHK<br>教育 |
| 香川 | 高松 | 117 | 19<br>テレビ<br>せとうち | 33<br>瀬戸内海<br>放送 | 39<br>NHK<br>教育 | | 37<br>NHK<br>総合 | | 31<br>岡山放送 | | 41<br>西日本<br>放送 | | 29<br>山陽放送 | |
| | 丸亀 | 118 | 46<br>テレビ<br>せとうち | 42<br>瀬戸内海<br>放送 | 40<br>NHK<br>教育 | | 44<br>NHK<br>総合 | | 52<br>岡山放送 | | 50<br>西日本<br>放送 | | 48<br>山陽放送 | |
| 愛媛 | 松山 | 119 | | 2<br>NHK<br>教育 | | 25<br>愛媛朝日<br>テレビ | 29<br>あい<br>テレビ | 6<br>NHK<br>総合 | 31<br>テレビ<br>新広島 | 37<br>愛媛放送 | 35<br>広島ホーム<br>テレビ | 10<br>南海放送 | | |
| | 新居浜 | 120 | | 2<br>NHK<br>総合 | | 4<br>NHK<br>教育 | 14<br>愛媛朝日<br>テレビ | 6<br>南海放送 | | 36<br>愛媛放送 | | 16<br>あい<br>テレビ | | |
| | 今治 | 121 | | 55<br>NHK<br>教育 | | 14<br>愛媛朝日<br>テレビ | 16<br>あい<br>テレビ | 58<br>NHK<br>総合 | | 36<br>愛媛放送 | | 34<br>南海放送 | | |
| | 宇和島 | 122 | 1<br>NHK<br>教育 | | | 16<br>愛媛朝日<br>テレビ | | 6<br>NHK<br>総合 | 27<br>愛媛放送 | | 25<br>あい<br>テレビ | 10<br>南海放送 | | |
| 高知 | 高知 | 123 | | | | 4<br>NHK<br>総合 | | 6<br>NHK<br>教育 | | 8<br>高知<br>テレビ | | 38<br>テレビ<br>高知 | | 40<br>さんさん<br>テレビ |

| 都道府県名 | 都市名 | 地域コード | リモコンボタン | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 福岡 | 福岡 | 124 | 1<br>九州朝日放送 | | 3<br>NHK総合 | 4<br>RKB毎日放送 | | 6<br>NHK教育 | | | 9<br>テレビ西日本 | | 19<br>テレビQ | 37<br>福岡放送 |
| | 北九州 | 125 | | 2<br>九州朝日放送 | 23<br>テレビQ | 35<br>福岡放送 | | 6<br>NHK総合 | | 8<br>RKB毎日放送 | | 10<br>テレビ西日本 | | 12<br>NHK教育 |
| | 久留米 | 126 | 14<br>テレビQ | 46<br>NHK総合 | 48<br>RKB毎日放送 | 52<br>福岡放送 | 54<br>NHK教育 | 57<br>九州朝日放送 | 60<br>テレビ西日本 | | | | | |
| | 大牟田 | 127 | 19<br>テレビQ | 43<br>福岡放送 | 50<br>NHK教育 | 53<br>NHK総合 | 55<br>テレビ西日本 | 58<br>九州朝日放送 | 61<br>RKB毎日放送 | | | | | |
| | 行橋 | 128 | 19<br>テレビQ | 43<br>福岡放送 | 46<br>NHK教育 | 49<br>NHK総合 | 54<br>テレビ西日本 | 57<br>九州朝日放送 | 60<br>RKB毎日放送 | | | | | |
| 佐賀 | 佐賀 | 129 | 14<br>テレビQ | 36<br>サガテレビ | 38<br>NHK総合 | 40<br>NHK教育 | 48<br>RKB毎日放送 | 52<br>福岡放送 | 57<br>九州朝日放送 | 60<br>テレビ西日本 | | | 11<br>熊本放送 | |
| 長崎 | 長崎 | 130 | 1<br>NHK教育 | | 3<br>NHK総合 | | 5<br>長崎放送 | | 37<br>テレビ長崎 | | 25<br>長崎国際テレビ | | 27<br>長崎文化放送 | |
| | 諫早 | 131 | 51<br>NHK教育 | | 59<br>NHK総合 | | 62<br>長崎放送 | | 39<br>テレビ長崎 | | 32<br>長崎国際テレビ | | 56<br>長崎文化放送 | |
| | 佐世保 | 132 | | 2<br>NHK教育 | | 17<br>長崎国際テレビ | | 31<br>長崎文化放送 | | 8<br>NHK総合 | | 10<br>長崎放送 | | 35<br>テレビ長崎 |
| 熊本 | 熊本（八代） | 133 | | 2<br>NHK教育 | 16<br>熊本朝日放送 | | | | 22<br>熊本県民テレビ | 34<br>テレビ熊本 | 9<br>NHK総合 | | 11<br>熊本放送 | |
| 大分 | 大分（別府） | 134 | | | 3<br>NHK総合 | | 5<br>大分放送 | | 36<br>テレビ大分 | | 24<br>大分朝日放送 | | | 12<br>NHK教育 |
| | 中津 | 135 | | | 48<br>NHK総合 | | 51<br>大分放送 | | 37<br>テレビ大分 | | 17<br>大分朝日放送 | | | 45<br>NHK教育 |
| 宮崎 | 宮崎（都城） | 136 | 35<br>テレビ宮崎 | | | | | | | 8<br>NHK総合 | | 10<br>宮崎放送 | | 12<br>NHK教育 |
| | 延岡 | 137 | 39<br>テレビ宮崎 | 2<br>NHK教育 | | 4<br>NHK総合 | | 6<br>宮崎放送 | | | | | | |
| 鹿児島 | 鹿児島 | 138 | 1<br>南日本放送 | | 3<br>NHK総合 | | 5<br>NHK教育 | | 30<br>鹿児島読売テレビ | | 32<br>鹿児島放送 | | 38<br>鹿児島テレビ | |
| | 阿久根 | 139 | | 17<br>鹿児島読売テレビ | | 23<br>鹿児島放送 | | 35<br>鹿児島テレビ | | 8<br>NHK総合 | | 10<br>南日本放送 | | 12<br>NHK教育 |
| | 鹿屋 | 140 | | 2<br>NHK教育 | | 4<br>NHK総合 | | 6<br>南日本放送 | | 25<br>鹿児島読売テレビ | | 31<br>鹿児島放送 | | 33<br>鹿児島テレビ |
| 沖縄 | 那覇（沖縄） | 141 | | 2<br>NHK総合 | | | | | | 8<br>沖縄テレビ | 28<br>琉球朝日放送 | 10<br>琉球放送 | | 12<br>NHK教育 |

## ●地上デジタル放送の設定をする

最初に本体横の放送／入力切換またはリモコンで地上デジタル受信状態設定し、その後、メニューから「デジタル放送設定」を選びます。

### 「初期設定」画面を表示する

**1** **「メニュー」を押し、「▶」で「デジタル放送設定」を選び、「設定する」を選び「決定」ボタンを押す。**

**2** **「▲」、「▼」ボタンを押して「初期設定」を選び、「決定」ボタンを押す。**

**3** **「▲」、「▼」ボタンを押して「チャンネル設定」を選び、「決定ボタン」を押す。**

### 地上デジタルチャンネルの設定を行う

**1** **「▲」、「▼」ボタンを押して「地デジ」を選び、「決定ボタン」を押す。**

**2** **「▲」、「▼」ボタンを押して「チャンネルスキャン」を選び、「決定ボタン」を押す。**

**3** **「▲」、「▼」ボタンを押して「初期スキャン」を選び、「決定ボタン」を押す。**

**4** **「◀」、「▶」ボタンを押して「お住まいの都道府県」を選び、「決定」ボタンを押す。**
**チャンネルのスキャンが始まり、設置された場所で受信できる地上デジタル放送のチャンネルが自動的に1～2分で設定されます。**
**スキャン終了後、リモコンに設定された放送一覧が表示されます。「戻る」ボタンを押して「地デジチャンネルスキャン」画面に戻る。**

### チャンネルの設定を終了する

**1** **地デジメニュー画面に戻る。**
**地上デジタル放送のリモコンの「1」ボタンに割り当てられた番組が映ります。**

**2** **「戻る」ボタンを押してメニュー画面を消す、または、「メニュー」を押して操作を終了する。**

これで、テレビを見るための準備は終了です。

**お知らせ**

- 設定した受信地域外で受信可能なチャンネルがある場合も設定されます。
- 同一チャンネル番号で複数の放送局が受信可能な場合（枝番号がある場合）は、次の優先順位でリモコンに割り当てられます。
- 受信地域内の放送局。
- 受信レベルの数値が最も高い放送局。

## BS･110度CSアンテナの電源設定を確認する（アンテナ電源設定）

本機からBS･110度CSアンテナに電源供給を行うかどうかの設定を確認します。

**1** **「電源」を押して、電源を入れる。**

**2** **「BS」または「CS」を押す。**

画面に「選局可能なチャンネル確認中です」というメッセージが表示されます。
- BS･110度CSアンテナを接続している場合は、しばらくするとBSまたはCSデジタル放送が映ります。
- BS･110度CSアンテナを接続していない場合や、不具合がある場合は、「選局可能なチャンネルがありませんでした」というメッセージが表示されます。

**3** **「メニュー」を押し、「▶」で「デジタル放送設定」を選び、「▲」／「▼」で「設定する」を選択し、「決定」または「▶」を押す。**

「デジタル放送設定」画面が表示されます。

**4** **「▲」／「▼」で「機器設定」を選び、「▲」／「▼」で「その他の設定」を選択し、「決定」を押す。**

**5** **「▲」／「▼」で「電源供給」を選び、「◀」／「▶」で入／切を設定します。**

「入」：本機からBS･110度アンテナへ電源を供給します。（出荷初期状態）
- 本機とBS･110度CSアンテナを直接つないだとき。

「切」：本機からBS･110度アンテナへ電源を供給しません。

ショートが起こったときや他の機器からアンテナへの電源供給をしていると判断すると自動的に「オフ」に切り換わります。「オン」状態で使用しても機器には支障ありません。「オン」で使用しているときでも、以下の場合は消費電力は増えません。
- 他の機器からBS・110度CSアンテナへ電源を供給しているとき
- マンションなどで共同受信しているとき
- ケーブルテレビ（CATV）で受信しているとき
- BS・CS110度アンテナを接続していないとき

※BS･110度CSアンテナのアンテナ線がショートすると、自動的にアンテナ電源が「オフ」して、画面が出なくなることがあります。「オフ」から「オン」にするには、テレビを再起動する必要があります。
アンテナやアンテナ線などの修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。

**6** **「メニュー」を押して、操作を終了する。**

**お知らせ**
- 「アンテナ電源設定」が「オン」になっているときは、本機の電源コードを常に電源コンセントに差し込んで（通電状態にして）おいてください。
- 1台のBS･110度CSアンテナを複数の機器で共用しているときは、アンテナ（ケーブル）を最初に接続している機器からBSアンテナ電源を供給してください。

## 本機で受信できるデジタル放送

本機では、地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CS放送が受信できます。

### デジタル放送には、次の3種類があります

- テレビ放送
  従来からのテレビ放送です。
- データ放送
  本機では受信できません。
- ラジオ放送
  本機では受信できません。

**お知らせ**
・本機では、ワンセグ放送（携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送）の受信はできません。

### デジタル放送には、次のような特徴があります

- 番組表……番組表のデータを表示させて、選局ができます。
- HD/SD放送 ……ハイビジョン画質のHD放送と標準画質のSD放送があります。
- マルチ番組……番組によっては複数の番組（マルチビュー）、映像、音声などを含んでおり、選んで視聴することができます。
- 字幕放送……映画などの番組では、字幕が放送されます。

### リモコンの数字ボタン（1～12）に割り当てられているチャンネルについて（ワンタッチボタン）

● BSデジタル放送

| ボタン | チャンネル | 放送局名 |
|---|---|---|
| 1 | 101 | NHK BS1 |
| 2 | 102 | NHK BS2 |
| 3 | 103 | NHKハイビジョン |
| 4 | 141 | BS日テレ |
| 5 | 151 | BS朝日 |
| 6 | 161 | BS-TBS |
| 7 | 171 | BSジャパン |
| 8 | 181 | BSフジ・181 |
| 9 | 191 | WOWOW |
| 10 | 200 | スター・チャンネル |
| 11 | 211 | BS11 デジタル |
| 12 | 222 | TwellV |

視聴するために契約が必要な放送局については、契約していない場合は選局しても映りません。ワンタッチボタンの設定は、変更することができます。

**お知らせ**
・携帯電話や無線機などをご使用になるときは、本機や接続機器に近づけないでください。音声に雑音が入ったり、映像にノイズが入る場合があります。

## ●その他の設定をする

### HDMI機器制御の設定

HDMI連動機能を利用した機器の制御をオン／オフにすることができます。

**1** **「メニュー」を押し、「▶」で「その他の設定」を選び「▼」／「▲」で「HDMI機器制御」を選択し、「決定」または「◀」／「▶」を押す。**

「オフ」：HDMI 連動機能を利用した機器の制御をおこなわない。（工場出荷時の設定）
「オン」：HDMI 連動機能を利用した機器の制御をおこなう。

**2** **「メニュー」を押して、操作を終了する。**

### OSD透過設定

OSDを半透明に切換えます。

**1** **「メニュー」を押し、「▶」で「その他の設定」を選び「▼」／「▲」で「OSD透過設定」を選択し、「決定」または「◀」／「▶」を押す。**

「透過しない」：OSDの下の映像が見えない状態。（工場出荷時の設定）
「透過する」：OSDの下の映像が見える状態。

**2** **「メニュー」を押して、操作を終了する。**

### OSDサイズ設定

OSDのサイズを切換えます。

**1** **「メニュー」を押し、「▶」で「その他の設定」を選び「▼」／「▲」で「OSDサイズ設定」を選択し、「決定」または「◀」／「▶」を押す。**

「小」：OSDのサイズが小さい状態。（工場出荷時の設定）
「大」：OSDのサイズが大きい状態。

**2** **「メニュー」を押して、操作を終了する。**

# テレビを見る

## ●ふだんの使いかた

### 1 電源を入れる
電源ランプが緑色に点灯します。

### 2 放送を選ぶ
「地上アナログ」または「地上デジタル」、「BS」、「CS1/2」を押します。

**入力を切換える:**

「入力切換」を押して入力モードを選択します。
「テレビ」→「ビデオ」→「HDMI」→「PC入力」で切換わります。
※テレビ本体の右側面操作部の「放送／入力切換」を押した場合は、「地上アナログ」→「地上デジタル」→「BS」→「CS1」→「CS2」→「ビデオ」→「HDMI」→「PC入力」の順で切換わります。

### 3 チャンネルを選ぶ
・ボタンで選局します。(リモコン番号「1」～「12」)
・順送りで選局します。(チャンネル「∧」／「∨」)
「∧」:∧順にチャンネルが切換わります。
「∨」:∨順にチャンネルが切換わります。
※地上アナログで放映されているケーブル番組も順送りで選局します。(C13～C38)
・3桁チャンネル番号を入力して選局します。
※デジタル放送での操作となります。
(⇒[操作編]　39ページ)

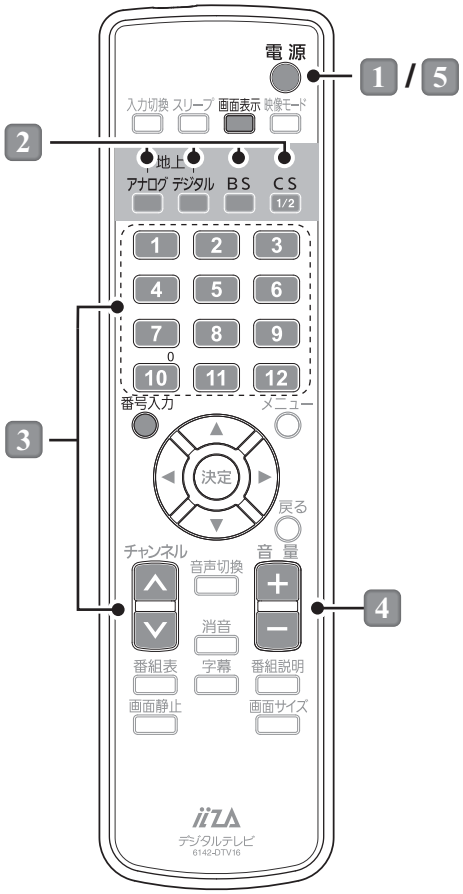
**チャンネルの表示をする:**

「画面表示」を押します。選択中のチャンネル番号または外部入力モードが画面右上に表示されます。

### 4 音量を調整する
音量バーが表示され、「+」／「−」ボタンで音量を調整します。
「+」:音量が大きくなります。
「−」:音量が小さくなります。

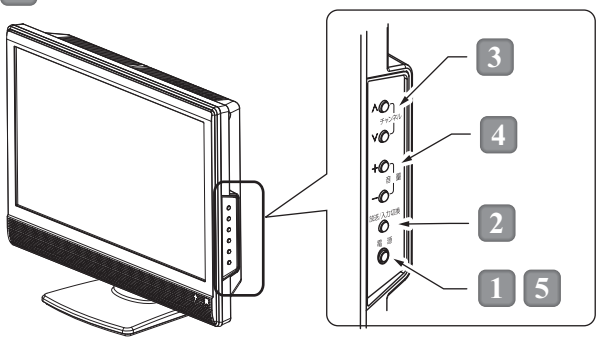
音を一時的に消す:
「消音」を押すか、音量ボタンで調整します。

### 5 電源を切る
電源ランプが赤色に点灯します。




**操作部(テレビ本体操作部)からも、基本的な操作ができます。**

1 / 5
2
3 (順送りのみ)
4




**お知らせ**
・電源を切ってもチャンネルや音量などは記憶されます。
・工場出荷時は、地上アナログのVHF　1チャンネル受信されるように設定されています。

## ●画面サイズを切換える

リモコンから、画面サイズを切換えます。

### 1 「画面サイズ」を押す

### 2 「画面サイズ」または「▼」／「▲」でお好みの画面サイズを選ぶ

#### ■ 映像信号の種類について

選択できる画面サイズは、映像信号の種類によって異なります。

| 映像の種類 | 選択できる画面サイズ |
|---|---|
| 地上アナログ放送、コンポジット入力<br>D端子/HDMI:525i（480i）、525p（480p）<br>（ケーブルテレビチューナー、ビデオ映像など） | 「4:3」→「16:9」→「ズーム」→「パノラマ」 |
| デジタル放送<br>D端子/HDMI:1125i（1080i）、750p（720p）<br>（ハイビジョン放送など） | 「16:9」→「ワイド」→「ズーム」 |

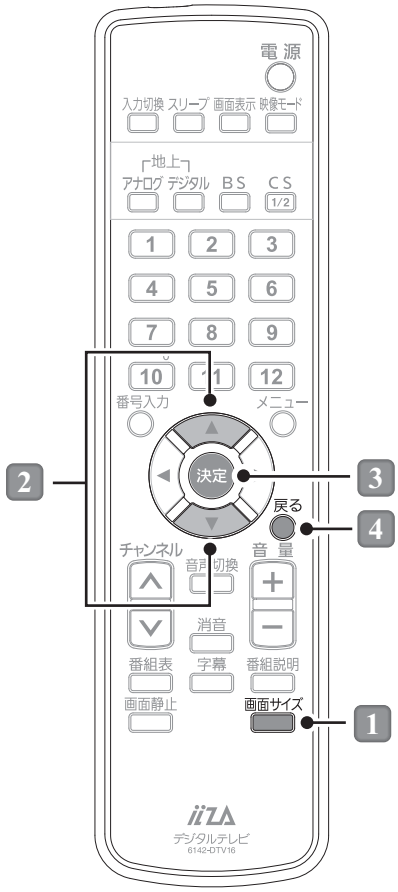
・数字は映像信号の総走査線数（有効走査線数）
・英文字は走査線方式の略称
　i ：インターレス（飛び越し走査）
　p ：プログレッシブ（順次走査）
・ビデオ信号 （D端子） 入力時には、画面サイズが自動で切換わります。
※「ワイド」/「ズーム」選択時にデジタル放送メニュー及び「番組表」「番組説明」を表示させた場合
　表示を見やすくする為に「16：9」の状態に移行します。

| アナログRGB PC入力・HDMI（DVI入力）の映像の種類 | 選択できる画面サイズ |
|---|---|
| 640×480、800×600、1024×768 | 「4:3」↔「16:9」 |
| 1280×768 | 「15:9」↔「16:9」 |

### 3 「戻る」を押して、操作を終了する

#### ■ 画面サイズについて

「4:3」:　通常のテレビ画面（4:3サイズ）をそのまま表示
「16:9」: 画面いっぱいに映像を拡大
「パノラマ」: 違和感のない映像に拡大
「ズーム」: 映画（シネスコまたは16:9サイズ）を画面いっぱいに拡大
「ワイド」: ハイビジョン映像の画面中央部分（4:3サイズ）を違和感のない映像に拡大
「15:9」: PC入力1280×768の信号を拡大しないで表示




**お知らせ**

・入力信号により、選べる画面サイズが異なります。
・本機の画面サイズ切換え機能を使う場合、テレビ番組やビデオソフトなどのオリジナル映像の比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
・テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画面サイズ切換え機能を利用して、画像の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
・ワイド映像でない通常（4:3）の映像を、画面サイズ切換え機能を利用して画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺映像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、画面サイズを「4:3」にしてください。

## ●お好みの映像・音声に調整する

リモコンから、映像・音声を調整します。

### 〈映像を調整する〉

**映像モード**

部屋の明るさや再生ソフトの内容にあわせて、映像モードを切換えます。

**1 「映像モード」または「メニュー」を押す**

「メニュー」を押した場合は、「▲」／「▼」で「映像設定」の「映像モード」を選択し、「決定」または「◀」／「▶」を押します。

**2 「映像モード」で「決定」を押し、お好みの映像モードを選ぶ**

「ダイナミック」:　スポーツ番組などを迫力にあふれた、くっきりと色鮮やかな映像に（工場出荷時の設定）
「スタンダード」:　標準値の画質の映像に
「シネマ」:　映画などの暗い画面を見やすく、コントラスト感を抑えた映像に
「ユーザー」:　お好みの調整内容を記憶

※「ダイナミック」→「スタンダード」→「シネマ」→「ユーザー」

で切換わります。

**3 「戻る」または「メニュー」を押して、操作を終了する**

**映像調整**

映像の濃淡や明るさ、色合いなどをお好みの状態に調整します。
映像モードが「ユーザー」になっていると「映像調整」「色温度」「ダイナミックコントラスト」を設定することができます。

**1 「メニュー」を押し、「映像設定」の「映像調整」を選び、「決定」または「▶」を押す**

**2 「▼」／「▲」で調整したい項目を選び、「決定」または「▶」を押す**

**3 「◀」／「▶」でお好みの状態に調整し、「決定」または「戻る」を押す**

調整バーが表示されます。
「▶」:下記のとおりに調整
「◀」:下記のとおりに調整

| 項目 | 設定値 | 内　容／調　整　バー |
|---|---|---|
| コントラスト | 0 | 映像のコントラストを調整　－　＋　暗くしっとりとした映像に　⇔　明るくメリハリのある映像に |
| 明るさ | 0 | 映像の明るさを調整　－　＋　暗い映像に　⇔　明るい映像に |
| カラー | 0 | 映像の色の濃さを調整　－　＋　色が薄い映像に　⇔　色が濃い映像に |
| 色あい | 0 | 映像の色合いを調整　R　G　紫がかった肌色に　⇔　緑がかった肌色に |
| 画質 | 0 | 映像の鮮鋭度を調整　－　＋　輪郭がやわらかな映像に　⇔　輪郭がはっきりとした映像に |

**工場出荷時の設定に戻すには:**

**「映像調整」で「リセット」を選択し、「決定」または「▶」を押す。**

**4 「メニュー」を押して、操作を終了する**

### 色温度設定

映像の色温度をお好みの状態に調整します。

**1 「メニュー」を押し、「▼」／「▲」で「映像設定」の「色温度」を選び、「決定」または「◀」／「▶」を押す**

「高」:青みがかった白に
「中」: 標準値の白に（工場出荷時の設定）
「低」: 赤みがかった白に

**2 「メニュー」を押して、操作を終了する**

### ダイナミックコントラスト

映像シーンごとに、奥行き感（コントラスト）を自動的に変化させます。

**1 「メニュー」を押し、「▼」／「▲」で「映像設定」の「ダイナミックコントラスト」を選び、「決定」または「◀」／「▶」を押す**

「オフ」:この機能を使わない（工場出荷時の設定）
「オン」:この機能を使う

**2 「メニュー」を押して、操作を終了する**

お知らせ
・映像モードが「ダイナミック」、「スタンダード」または「シネマ」になっているときには操作できません。

次の機能はすべての映像モードで調整できます。

### 映像をすっきり見る　〈NR〉

映像のノイズを軽減し、すっきりさせます。

**1 「メニュー」を押し、「▼」／「▲」で「映像設定」の「NR」を選び、「決定」または「◀」／「▶」を押す**

「オン」:効果あり
「オフ」:効果なし（工場出荷時の設定）

**2 「メニュー」を押して、操作を終了する**

### フィルム映像を忠実に再現する　〈フィルムモード〉

映画など毎秒24コマのフィルム撮影された映像が2-3、2-2プルダウン処理（テレシネ変換）されていることを検出し、適切な処理をすることによってオリジナル映像を忠実に再生します。

**1 「メニュー」を押し、「▼」／「▲」で「映像設定」の「フィルムモード」を選び、「決定」または「◀」／「▶」を押す**

「オフ」: テレシネ変換されている映像に適切な処理をしない
「オン」: テレシネ変換されている映像に適切な処理をする（工場出荷時の設定）

**2 「メニュー」を押して、操作を終了する**

## 〈音声を調整する〉

### 音声を切換える　〈二重音声放送〉

二重音声放送のとき、音声モードを切換えます。

**1 「音声切換」を押す**

ボタンを押すたびに、つぎのように切換わります。

「主音声」: ニュースや洋画などの二カ国語放送で、吹き替えの日本語のみの音声（工場出荷時の設定）
↓
「副音声」: ニュースや洋画などの二カ国語放送で、英語など外国語のみの音声
↓
「主+副」: 吹き替えの日本語と英語などの外国語の2種類の音声
↓（「主音声」に戻る）

### 音声を切換える　〈強制モノラル設定〉

ステレオまたはモノラル音声放送のとき、音声モードを切換えます。

**1 「音声切換」を押す**

ボタンを押すたびに、つぎのように切換わります。

「ステレオ／モノラル」: ステレオ放送時に、ステレオ音声に自動的に切換え（工場出荷時の設定）
「強制モノラル」: 雑音を減らし、聞きやすくするために、ステレオ放送の音声をモノラルに切換えた音声

**お知らせ**
- 「強制モノラル」に設定されている場合、ステレオ音声放送時であっても画面右上に「モノラル」とバナー表示されます。
- 地上デジタル番組を視聴中は操作できません。

### お好みの音声に調整する　〈「低音」「高音」「バランス」〉

音声を切換えます。

**1 「メニュー」を押し、「▶」で「音声設定」を選び、「▼」／「▲」で調整したい項目を選択し、「決定」または「◀」／「▶」を押す**

「低音」: 低音を重視した音声に
「高音」: 高音を重視した音声に
「バランス」: スピーカーやヘッドホンの左右の音量をバランスよく調整

**お知らせ**
- ヘッドホン使用中は「低音」、「高音」は無効になります。

**2 手順1で選んだ項目を、「◀」／「▶」でお好みの状態に調整する**

調整バーが表示されます。（工場出荷時の設定は「0」）
「▶」:「R」（右）方向に調整
「◀」:「L」（左）方向に調整

**3 「決定」を押す**

**工場出荷時の設定に戻すには:**

**「音声設定」で「リセット」を選択し、「決定」または「▶」を押す**

**4 「メニュー」を押して、操作を終了する**

### お好みの音声に調整する　〈サラウンド〉

ステレオ放送時に広がりのある音声に切換えます。

**1 「メニュー」を押し、「▶」で「音声設定」を選び、「▼」／「▲」で「サラウンド」を選択し、「決定」または「◀」／「▶」を押す**

「オフ」: サラウンド機能を使わない（工場出荷時の設定）
「オン」: サラウンド機能を使う

**2 「メニュー」を押して、操作を終了する**

**お知らせ**
- ヘッドホン使用中は無効になります。

### HDMIの音声を切り換える　〈HDMI音声切換〉

HDMI入力のとき、HDMI端子の音声（デジタル）とステレオミニジャックの音声（アナログ）を切換えます。

**1 「メニュー」を押し、「▶」で「音声設定」を選び、「▼」／「▲」で「HDMI音声切換」を選択し、「決定」または「◀」／「▶」を押す**

「デジタル」:HDMI端子からの音声が出ます。（工場出荷時の設定）
「アナログ」:ステレオミニピンジャックからの音声が出ます。

**2 「メニュー」を押して、操作を終了する**

## ●指定した時間に電源を切る　〈スリープタイマー設定〉

リモコンから、指定した時間後に本機の電源が切れるよう設定します。

### 1 「スリープ」を押す

スリープタイマーがすでに設定されている場合は、スリープタイマーの残り時間が表示されます。
設定されていないときは、「スリープタイマー設定:オフ」と表示されます。

### 2 スリープタイマー表示が出ている間に再び「スリープ」を押し、電源が切れるまでの時間を選ぶ

「オフ」→「あと10分」→「あと20分」→「あと30分」→
「あと60分」→「あと90分」→「あと120分」

で切換わります。

※工場出荷時の設定は「オフ」です。

### スリープタイマーの残りの時間を見るには:

**「スリープ」を押す**
残り時間が表示されます。

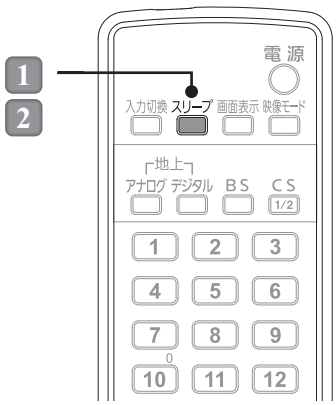
### スリープタイマーを再設定するには:

### 1 「スリープ」を押す

残り時間が表示されます。

### 2 残り時間の表示が出ている間に再び「スリープ」を押し、電源が切れるまでの時間を選ぶ

残り時間に一番近い時間から順に表示されます。




**お知らせ**
- スリープタイマーの動作中に本機の電源を待機状態またはオフにすると、スリープタイマーの残り時間はクリアされます。
- 残り時間の約1分前から、「スリープタイマー　あと1分未満」とメッセージが表示されます。

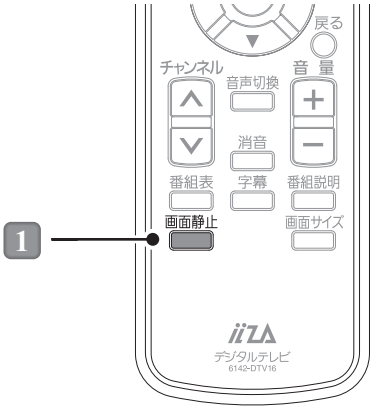
## ●見ている画面を静止させる

いま見ている放送や映像を静止できます。
料理番組のメモをとったりするときに便利です。

### 1 「画面静止」を押す

- 視聴中の映像が静止画になります。
- 元に戻すには、「戻る」またはもう一度「画面静止」を押します。

**お知らせ**
次の場合は、静止画が解除されます。
- 選局や入力切換の操作をしたとき
- 「メニュー」「映像モード」「画面サイズ」を押したとき
- デジタル放送時に「番組説明」「番組表」「画面表示」「音声切換」「字幕」「チャンネル番号入力」を押したとき
- 映像を静止してから30分経過したとき



## ●省エネ機能を使う

本機の省エネ機能を設定します。

### 〈オフタイマーを設定する〉

本機ではつぎの2つのオフタイマー機能を備えています。

「入力無信号オフ設定」:　放送が終了したり、ビデオの再生が終了するなど、無信号状態になると約15分後に電源が待機状態に移行する

「無操作オフ設定」:　操作しない状態が3時間以上経過すると、電源が待機状態に移行する

**お知らせ**
・受信状況によっては、電源が切れない場合があります。
・デジタル放送では、「入力無信号オフ設定」は働きません。

#### 入力無信号オフ設定

**1 「メニュー」を押し、「▶」で「消費電力設定」を選び、「▼」／「▲」で「入力無信号オフ設定」を選択し、「決定」または「◀」／「▶」を押す**

「オン」:設定を実行する
「オフ」:設定を実行しない（工場出荷時の設定）

**2 「メニュー」を押して、操作を終了する**

#### 無操作オフ設定

**1 「メニュー」を押し、「▶」で「消費電力設定」を選び、「▼」／「▲」で「無操作オフ設定」を選択し、「決定」または「◀」／「▶」を押す**

「オン」:設定を実行する
「オフ」:設定を実行しない（工場出荷時の設定）

**2 「メニュー」を押して、操作を終了する**

**お知らせ**
・残り時間の約1分前から、「オフタイマー　あと1分未満」とメッセージが表示されます。

### 〈バックライトを調整する〉

#### バックライト設定

**1 「メニュー」を押し、「▶」で「消費電力設定」を選び、「▼」／「▲」で「バックライト設定」を選択し、「決定」または「◀」／「▶」を押す**

「標準」（工場出荷時の設定）、「節約モード1」、「節約モード2」から選びます。

**2 「メニュー」を押して、操作を終了する**

### 〈ダウンロード機能を設定する〉

#### ダウンロード設定

本メニューを設定する事により、スタンバイ時の消費電力（年間消費電力）に違いが現れます。

「節約」:電源オフ後、1日に約1回ダウンロードを実施する事によりスタンバイ中の消費電力は減少します。

「標準」:電源オフ後、放送局からの情報等を基準にダウンロードを開始しますので、1日に数回ダウンロードを実施します。スタンバイ中の消費電力は増えますが、本機の関連情報や番組表情報を確実にダウンロードする事が出来ます。

**1 「メニュー」を押し、「▶」で「消費電力設定」を選び、「▼」／「▲」で「ダウンロード設定」を選択し、「決定」または「◀」／「▶」を押す**

「節約」（工場出荷時の設定）、「標準」から選びます

**2 「メニュー」を押して、作業を終了する**

**お知らせ**
・デジタル放送のメニューにも「自動ダウンロード」の項目がありますが、こちらの設定ではダウンロードをするか、しないか、の設定となります。

## ●設定を初期化する

リモコンの「メニュー」から設定する「映像設定」「音声設定」「その他の設定」「消費電力設定」「地上アナログ設定」の設定内容をすべて工場出荷時の状態に戻します。

※デジタル放送の機能の設定・初期化は、「デジタル設定」で行います。（⇒[操作編]51ページ）
※「地上アナログ設定」については、[準備編]22ページをご覧ください。

**1 「メニュー」を押し、「▶」で「その他の設定」を選び、「▼」／「▲」で「設定の初期化」を選択し、「決定」または「▶」を押す**

**2 「▼」／「▲」で「初期化する」を選び、「決定」または「▶」を押す**

「映像設定」「音声設定」「その他の設定」「消費電力設定」「地上アナログ設定」の設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。

**お知らせ**
・手順2で「初期化しない」を選択すると、初期化を実行せずに「設定の初期化」を終了します。

# デジタル放送の機能と設定

## ●放送・番組の選択手順

**1 放送を選ぶ**

リモコンの、「地上デジタル」、「BS」、「CS 1/2」のいずれかのボタンを押します。
※放送切換えは、テレビ本体の右側面操作部の「放送／入力切換」でも行うことができます。（⇒[操作編]32ページ）

**2 チャンネルを選ぶ**

チャンネルの選局方法は、つぎの5種類があります。

### ボタン（リモコン番号「1」～「12」）で選ぶ

リモコンのボタンには、各放送局のチャンネルが割り当てられています。
ワンタッチでお好みの番組を選局します。（⇒[操作編]48ページ）
1～12

### 順送りで選ぶ

リモコンのチャンネル「∧」／「∨」を押すたびに、お好みのチャンネルを順送りに選局します。
※テレビ本体の右側面操作部のチャンネル「∧」／「∨」でも選局できます。（⇒[操作編]32ページ）

∧ 順にチャンネルが切換わります。
∨ 順にチャンネルが切換わります。

### 3桁入力で選ぶ

リモコンのボタンを使って、視聴したい番組の3桁チャンネル番号を入力して選局します。

**1 「番号入力」を押す**

画面右上にチャンネル番号が表示されます。

**2 チャンネル番号を入力し、選局する**

リモコン番号「1」から「10／0」を使って番号を入力します。3桁の100の位から番号が入力されます。
1～10

### 番組表から選ぶ

番組表から選択したチャンネルを選局します。

**1 「番組表」でお好みの番組を、「◀」／「▶」でチャンネルを切換えて選ぶ**

**2 「決定」を押すとチャンネルを切換えて今放送している番組を試聴できます**

**お知らせ**
つぎの状態で入力されたチャンネルは受信できません。
・黒画面でメッセージが表示されているとき
・入力したチャンネルが無信号のとき
・地上デジタル放送の「受信チャンネル設定」が行われていないとき（⇒[準備編]29ページ）
・B-CASカードが挿入されていないとき（⇒[準備編]14ページ）

## ●番組の詳しい情報を見る（番組説明）

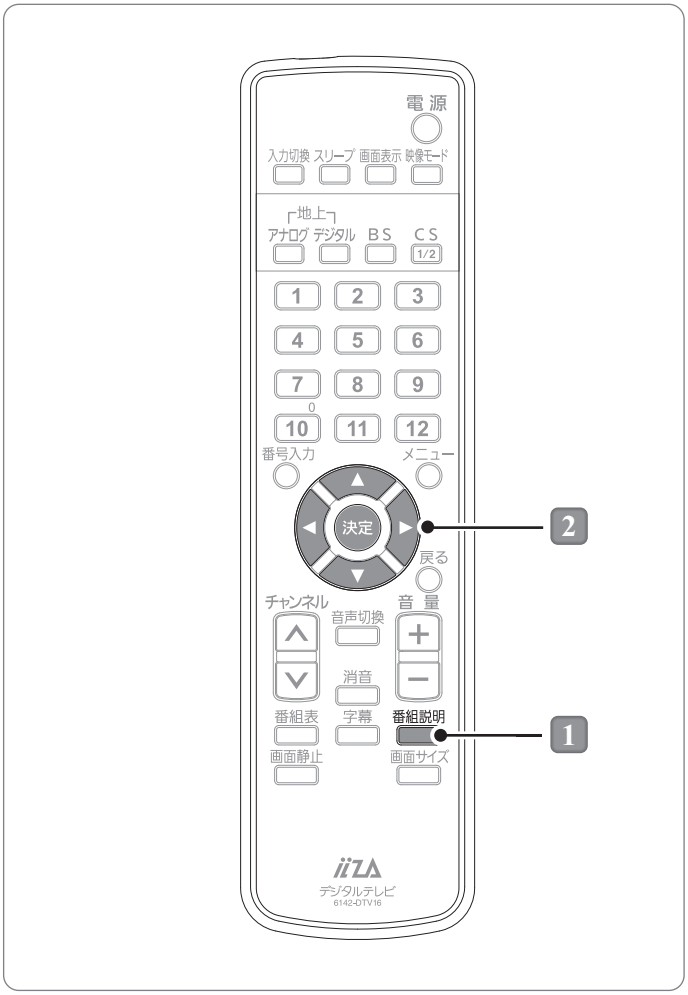
次のような場合に、選んでいる番組の詳しい情報を確認することができます。
・デジタル放送視聴中。
・番組表、ジャンル検索結果画面を表示中。

## ●説明を表示する／説明を見る

**1　デジタル放送を視聴中または番組表を表示中に、「番組説明」ボタンを押して、「番組説明」画面を表示する**

**2　番組の内容を確認する**
説明が2ページ以上ある場合は、「▲」／「▼」ボタンを押すと説明が上下にスクロールします。

**3　「番組説明」画面を消すときは、「番組説明」ボタンまたは「戻る」ボタンを押す**
通常画面または番組表などの画面に戻ります。



## ●番組表を表示する

番組表を表示して、新聞などのテレビ欄のような感覚で見たい番組を確認することができます。
番組表は放送種別（地上、BS、CS1、CS2）ごとに表示され、それぞれ最大8日分まで表示できます。

**1** **デジタル放送を視聴中に、「番組表」を押す**

現在視聴中の放送の番組表が表示されます。

**他の放送の番組表を見るときは：**

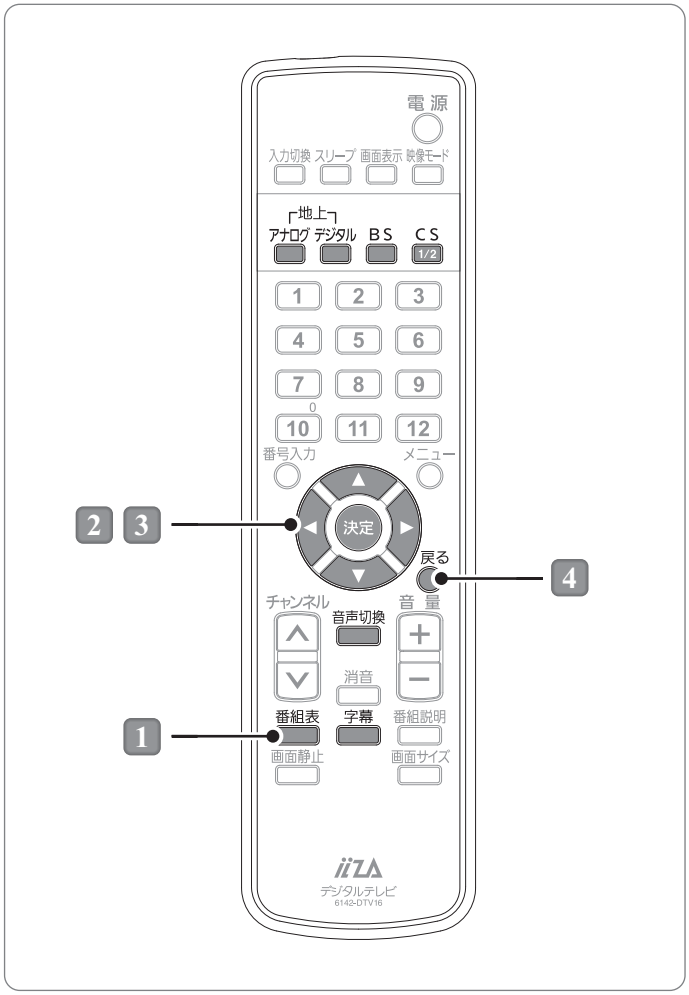
「地上」／「BS」／「CS1/2」のいずれかを押します。
他の放送に切換えてから「番組表」を押す。

**別の日の番組表を見るときは：**

「字幕／翌日」（次の日を見るとき）または「音声切換／前日」（前の日を見るとき）を押します。

**2** **「番組表」画面表示中に、「◀」／「▶」／「▲」／「▼」を押して見たい番組を選び、「番組説明」を押すとその番組の説明を見る事ができます。「戻る」または「番組説明」を押すと番組表に戻ります。**

**3** **「戻る」を押して、操作を終了する**



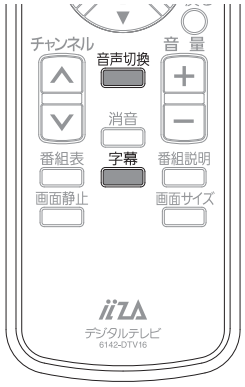
## ●字幕を表示する

字幕がある番組の場合は、リモコンから字幕の表示／非表示や表示する言語を切換えることができます。

**1** **「字幕」を押す**

**2** **お好みの設定になるまで「字幕」を繰り返し押す**

ボタンを押すたびに、第1言語（例:日本語）→
第2言語（例:英語）→ 字幕切の順で切り換わります。
字幕がない場合は、「字幕なし」と表示されます。




## ●映像／音声を切換える

マルチビュー放送の場合は、見たい映像に切換えることができます。
また、番組によって複数の音声がある場合、お好みの音声に切換えることができます。

**1** **デジタル放送のメニューを表示する**

**2** **「信号切換」を選び、「決定」を押す**

**3** **「映像」を選んだ状態で、「◀」／「▶」を押してお好みの映像を選ぶ**

**4** **「▲」／「▼」を押して「音声」を選び、「◀」／「▶」を押してお好みの音声を選ぶ**

**5** **「戻る」を押す**

## ●音声を切換える

二重音声（二カ国語）放送や複数の音声がある番組の場合は、聞きたい音声に切り換えることができます。

**1** **「音声切換」を押す**

**2** **お好みの設定になるまで「音声切換」を繰り返し押す**

ボタンを押すたびに、音声1（例:日本語）→音声2（例:英語）→ … の順で切り換わります。
音声が1種類の場合は、「日本語」や「モノラル」など現在出力されている音声が表示されます。
二重音声放送の場合は、主音声（例:日本語）→副音声（例:英語）→主/副音声（例:日本語/英語）と切り換わってから、次の音声に切り換わります。

**お知らせ**
- 放送番組によって音声の種類と数が異なります。
- 切り換えた音声が有料の場合もあります。

## ●デジタル放送の受信状況を確認する（アンテナレベル表示）

デジタル放送視聴中に画質が低下したときなどは、受信状況を確認することができます。
受信レベルの数値がアンテナの向きを決める目安となります。

**1** **デジタル放送のメニューを表示する**

**2** **「▲」／「▼」を押して「初期設定」を選び、「決定」を押す**

**3** **「チャンネル設定」を選び、「決定」を押す**

**4** **「▲」／「▼」を押して受信状況を確認する放送を選び、「決定」を押す**
（地デジ／BS／CS1／CS2）

**5** **「▲」／「▼」を押して「アンテナレベル」を押す**

**6** **現在視聴中のチャンネルの受信状況を確認する**
現在:現在の入力レベル値
最大:受信状況表示中の入力レベルの最大値
受信状況の数値は、
地上デジタル放送の場合は「60」以上
BS・110 度CS デジタル放送の場合は「70」以上が目安です。

**7** **「戻る」を押す**

**お知らせ**
・受信状況の数値は、アンテナ設置方向の最適値や受信状況を確認するための目安で、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質（信号と雑音の比率）を表しています。
数値は、天候などの影響を受けて増減することがあります。また、地上デジタル放送では放送局や環境によって大きく変わることがあります。

## ●デジタル放送の番組を探す

番組表のデータをジャンル別に検索して、番組を探すことができます。

**1** **「番組表」を押し、「番組表」を表示する**

**2** **「画面表示」を押し、番組検索画面を表示する**

**3** **ジャンルを選び、「◀」／「▶」でジャンルの条件を選ぶ**

**下記選択肢があります**

（ニュース／報道、スポーツ、情報／ワイドショー、ドラマ、音楽、バラエティ、映画、アニメ／特撮、ドキュメンタリー／教養、劇場／公演、趣味／教育、福祉、その他）

**4** **「▲」／「▼」でサブジャンルの条件を選ぶ**

（指定したジャンルにそれぞれサブジャンルがあります。）

**5** **「▲」／「▼」で日数の条件を選ぶ**

（1日分～8日分）

**6** **「▲」／「▼」で放送種別の条件を選ぶ**

（すべて、地デジ、BS、CS）

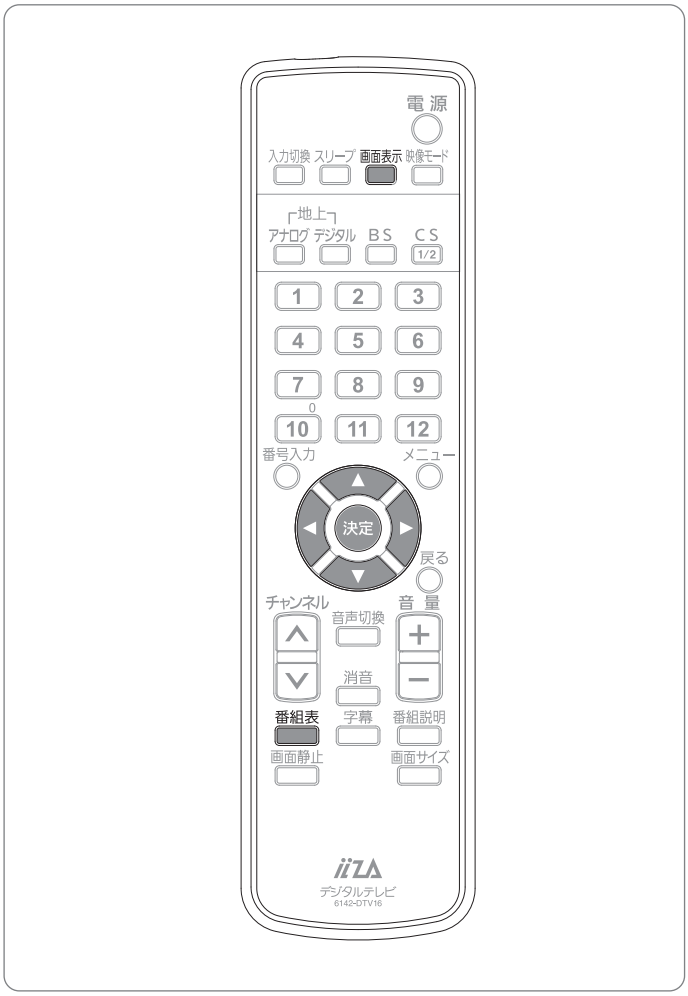
**7** **上記検索条件を確認して「決定」を押す**

検索条件に合う番組が表示されます。

**8** **「▲」／「▼」を押して番組を選び、「決定」或いは「番組説明」を押すと、その番組の「番組説明」画面に切り換わります**

検索結果が6件以上ある場合は、「▲」／「▼」を押すと上下にスクロールします。

**9** **「戻る」で番組表に戻る**



# デジタル放送のお知らせや情報を見る

## ●放送局からのメールや本機に関するメールを読む

放送局からのメール（デジタル放送の放送局から送られてくるお知らせや、本機の機能向上のためのダウンロードによるソフトウェア更新のお知らせなど）や本機からの内部メールを確認することができます。

### メールを確認する

**1** **「メニュー」を押し、「▶」で「デジタル放送設定」を選び、「▲」／「▼」で「設定する」を選択し、「決定」または「▶」を押し、デジタル放送メニュー画面を表示する**

**2** **「▲」／「▼」を押して「お知らせ」を選び、「▲」／「▼」を押して「放送局からのお知らせ」を選択し、「決定」を押す**
**または、「本機に関するお知らせ」を選択し、「決定」を押す**

**3** **「▲」／「▼」を押し、読みたいメールを選び、「決定」を押す**
一覧が2ページ以上ある場合は、「▲」／「▼」を押していくと上下にスクロールします。
未読メールは「✉」で、既読メールは「✉」で表示されます。

**4** **詳細画面で内容を確認する**
内容が2ページ以上ある場合は、「▲」／「▼」を押していくと上下にスクロールします。

**5** **「戻る」を押し、操作を終了する**

### メールを消去する

**1** **左の手順 3 で消去したいメールを選んで「音声切換」を押す**

**2** **「戻る」を押し、作業を終了する。**

お知らせ ・すべてのメールを一度に消去することはできません。

## ●110度CSデジタル放送から送られてくるお知らせを読む（CS ボード）

**1** **デジタル放送を視聴中に、「メニュー」を押し、「▶」で「デジタル放送設定」をび、「▲」／「▼」で「設定する」を選択し、「決定」または「▶」を押し、デジタル放送メニュー画面を表示する**

**2** **「▲」／「▼」を押して「お知らせ」を選び、「▲」／「▼」を押して「CS ボード」を選択し、「決定」を押す**

**3** **「▲」／「▼」を押して読みたいボードを選び、「決定」を押す**
一覧が2ページ以上ある場合は、「▲」／「▼」を押していくと上下にスクロールします。

**4** **詳細画面で内容を確認する**
内容が2ページ以上ある場合は、「▲」／「▼」を押していくと上下にスクロールします。

**5** **「戻る」を押して、操作を終了する**

# 本機の詳細設定をする

## ●地上デジタル放送のチャンネル設定をやり直したり、チャンネルを追加・変更する（受信チャンネルのスキャン）

### 地上デジタル放送のチャンネル設定をやり直すとき（初期スキャン）

転居などで地上デジタル放送のチャンネルの設定が変わったときは、初期スキャンを行ってチャンネル設定をやり直します。

**1** **デジタル放送を試聴中に「メニュー」を押し、「▶」で「デジタル放送設定」を選び、「▲」／「▼」で「設定する」を選択し、「決定」／「▶」を押し、デジタル放送メニュー画面を表示する**

**2** **「▲」／「▼」を押して「初期設定」を選び、「決定」を押す**

**3** **「チャンネル設定」を選び、「決定」を押す**

**4** **「地デジ」を選び、「決定」を押す**

**5** **「チャンネルスキャン」を選び、「決定」を押す**

**6** **「初期スキャン」を選び、「決定」を押す**

**7** **「◀」／「▶」を押して、お住まいの都道府県を選択して、「決定」を押す**

チャンネルのスキャンが始まり、設置された場所で受信できる地上デジタル放送のチャンネルが自動的に設定されます。

**8** **チャンネルスキャンが終了したら、「決定」を押して操作を終了する**

お知らせ
- 設定した受信地域外で受信可能なチャンネルがある場合も設定されます。
- 同一チャンネル番号で複数の放送局が受信可能な場合（枝番号がある場合）は、次の優先順位でリモコンに割り当てられます。
  - 受信地域内の放送局。
  - 受信レベルの数値が最も高い放送局。

### 地上デジタル放送のチャンネルを追加・変更するとき（再スキャン）

地上デジタル放送のチャンネルが追加・変更されたときは、再スキャンを行ってチャンネル設定を変更します。
変更がないチャンネルはそのままで、追加・変更されたチャンネルの設定だけが変更されます。
尚、お住まいの地域でチャンネルが追加・変更された場合、本機はスタンバイ中に自動で再スキャンを行ってチャンネル設定が変更される場合があります。（本機が放送局から周波数リパッキング情報を受信した場合に再スキャンが行われます。）

**1** **デジタル放送を試聴中に「メニュー」を押し、「▶」で「デジタル放送設定」を選び、「▲」／「▼」で「設定する」を選択し、「決定」／「▶」を押し、デジタル放送メニュー画面を表示する**

**2** **「▲」／「▼」を押して「初期設定」を選び、「決定」を押す**

**3** **「チャンネル設定」を選び、「決定」を押す**

**4** **「地デジ」を選び、「決定」を押す**

**5** **「チャンネルスキャン」を選び、「決定」を押す**

**6** **「再スキャン」を選び、「決定」を押す**

**7** **「◀」／「▶」を押して、お住まいの都道府県を選択して、「決定」を押す**

チャンネルのスキャンが始まり、設置された場所で受信できる地上デジタル放送のチャンネルが自動的に設定されます。

**8** **チャンネルスキャンが終了したら、「決定」を押して操作を終了する**

## ●文字スーパーを設定する

デジタル放送視聴中に表示される文字スーパーの表示/ 非表示や表示言語を設定を変更できます。

**1** **デジタル放送を試聴中に「メニュー」を押し、「▶」で「デジタル放送設定」を選び、「▲」／「▼」で「設定する」を選択し、「決定」または「▶」を押し、デジタル放送メニュー画面を表示する**

**2** **「▲」／「▼」で「機器設定」を選び、「決定」を押す**

**3** **「視聴設定」を選び、「決定」を押す**

**4** **「▲」／「▼」で「文字スーパー」を選び、「◀」／「▶」で「切」、「日本語」、「英語」のいずれかを選び、「決定」を押す**

「切」にすると表示されません。

**5** **「戻る」または「メニュー」を押して、操作を終了する**

**お知らせ**
・放送に文字スーパーの情報が含まれていないときや、強制的に文字スーパーが表示される番組などでは、上記の設定どおりに表示されないことがあります。

## ●ダウンロード設定する

自動ダウンロードを行うと、デジタル放送電波を使って本機の追加機能や機能向上などの情報がダウンロードされ、自動的に本機の制御プログラムが最新のものに書き換えられます。
工場出荷時は自動ダウンロードするように設定されていますので、設定の変更は不要です。

**お知らせ**
・自動ダウンロードは本機の電源がスタンバイ（通電状態）のときに行われます。
本機を使用しないときは電源をスタンバイにしておくことをおすすめします。

**1** **デジタル放送を試聴中に「メニュー」を押し、「▶」で「デジタル放送設定」を選び、「▲」／「▼」で「設定する」を選択し、「決定」または「▶」を押し、デジタル放送メニュー画面を表示する**

**2** **「▲」／「▼」で「機器設定」を選び、「決定」を押す**

**3** **「その他の設定」を選び、「決定」を押す。**

**4** **「自動ダウンロード」を選び、「◀」／「▶」で「する」、「しない」のいずれかを選び、「決定」を押す**

**5** **「戻る」または「メニュー」を押して、操作を終了する**

**お知らせ**
・ダウンロードによって本機のソフトウェアが更新されたときは、本書と本機で画面や文言が一致しなくなることがあります。
・次のような場合には、自動ダウンロードを行う設定になっていても、実行されません。
・電源コードが抜かれているとき。
・悪天候などのために受信状態が悪いとき。
・本機の電源が入のとき。

## ●デジタル放送のリモコンの設定をする

リモコンの数字（1～12）に割り当てられているチャンネル設定を変更することが出来ます。

1. **デジタル放送を試聴中に「メニュー」を押し、「▶」で「デジタル放送設定」を選び、「▲」／「▼」で「設定する」を選択し、「決定」または「▶」を押し、デジタル放送メニュー画面を表示する**
2. **「▲」／「▼」で「初期設定」を選び、「決定」を押す**
3. **「チャンネル設定」を選び、「決定」を押す**
4. **「▲」／「▼」で変更したい放送種別を選び、「決定」を押す**
5. **「▲」／「▼」で「リモコン設定」を選び、「決定」を押す**
6. **「▲」／「▼」／「◀」／「▶」で割り当てるチャンネルを選び、「決定」を押すと変更が確定され前の画面に戻る**
7. **「戻る」または「メニュー」を押して、操作を終了する**

## ●デジタル放送のチャンネルスキップ設定をする

リモコンまたはテレビ本体の右側面操作部のチャンネルボタン「∧」／「∨」からお好みのチャンネルを順送りで選局するときに、表示スキップするリモコン番号（ポジション）「1」～「12」を設定します。

1. **デジタル放送を試聴中に「メニュー」を押し、「▶」で「デジタル放送設定」を選び、「▲」／「▼」で「設定する」を選択し、「決定」または「▶」を押し、デジタル放送メニュー画面を表示する**
2. **「▲」／「▼」で「初期設定」を選び、「決定」を押す**
3. **「チャンネル設定」を選び、「決定」を押す**
4. **「▲」／「▼」で変更したい放送種別を選び、「決定」を押す**
5. **「▲」／「▼」で「チャンネルスキップ」を選び、「決定」を押す**
6. **「▲」／「▼」でチャンネルを選び、「◀」／「▶」でスキップ「する」、「しない」を選び、「決定」を押すと変更が確定され前の画面に戻る**
7. **「戻る」または「メニュー」を押して、操作を終了する**

## ●個人利用と制限を設定する

一定の年齢以上でないと見ることができない番組に対して、暗証番号を設定して視聴を制限することができます。

**〈初めて個人利用と制限を利用する(暗証番号が未設定のとき)〉**

**1** **デジタル放送を試聴中に「メニュー」を押し、「▶」で「デジタル放送設定」を選び、「▲」／「▼」で「設定する」を選択し、「決定」／「▶」を押し、デジタル放送メニュー画面を表示する**

**2** **「▲」／「▼」で「機器設定」を選び、「決定」を押す**

**3** **「▲」／「▼」で「制限設定」を選び、「決定」を押す**

**4** **「暗証番号設定」を選び、「決定」を押す**

**5** **数字ボタン(1～10(0))で入力する(4桁)**

**6** **再度同じ数字を入力する**
入力した数字は「*」で表示されます。
入力を間違ったときは、「12」で消去し、入力し直してください。暗証番号が正しく設定された場合は、「暗証番号の設定が完了しました。」とメッセージ欄に表示されます。

**7** **「戻る」または「メニュー」を押して、操作を終了する**

| 重 要 | ・暗証番号は忘れないよう、メモしておくことをおすすめします。<br>ここで設定された暗証番号を忘れてしまうと、「視聴制限の解除／変更」や「デジタルの初期化」が出来なくなります。 |
|---|---|

〈暗証番号を変更するとき〉

1 デジタル放送のメニューを表示する

2 「▲」／「▼」で「機器設定」を選び、「決定」ボタンを押す

3 「▲」／「▼」で「制限設定」を選び、「決定」ボタンを押す

4 「暗証番号設定」を選び「決定」を押す

5 現在の暗証番号を数字ボタン（1～10(0)）で入力する（4桁）
入力した数字は「*」で表示されます。
入力を間違ったときは、「12」で戻り、入力し直してください。

6 新しい暗証番号を数字ボタン（1～10(0)）で入力、再入力する（4桁）
入力した数字は「*」で表示されます。
入力を間違ったときは、「12」で戻り、入力し直してください。

7 「決定」を押す

8 「戻る」または「メニュー」を押して、操作を終了する

〈暗証番号を削除するとき〉

1 デジタル放送のメニューを表示する

2 「▲」／「▼」で「機器設定」を選び、「決定」ボタンを押す

3 「▲」／「▼」で「制限設定」を選び、「決定」ボタンを押す

4 「暗証番号削除」を選び「決定」を押す

5 現在の暗証番号を数字ボタン（1～10(0)）で入力する（4桁）
入力した数字は「*」で表示されます。
入力を間違ったときは、「12」で戻り、入力し直してください。
注意:暗証番号を忘れてしまった場合は、暗証番号を削除することができません。

6 「はい」を選んで「決定」を押す

7 「戻る」または「メニュー」を押して、操作を終了する

〈視聴制限を設定（変更）するとき〉

1 「制限設定」画面を表示する

2 「▲」／「▼」で「視聴許可年齢」を選び、「決定」を押す

3 現在の暗証番号を数字ボタン（1～10(0)）で入力する（4桁）
入力した数字は「*」で表示されます。
入力を間違ったときは、「12」で戻り、入力し直してください。

4 「◀」／「▶」で視聴許可年齢の上限を選ぶ
4才～20才（1才単位）が選べます。
「20才」に設定した場合は無制限に設定されます。

5 「戻る」または「メニュー」を押して、操作を終了する

〈視聴制限で設定した年齢以上の制限がかかった番組をみるとき〉

1 暗証番号入力画面が表示されるので、数字ボタン（1～10(0)）で暗証番号を入力する（4桁）
入力した数字は「*」で表示されます。
入力を間違ったときは、「12」で戻り、入力し直してください。

## ●デジタルの初期化

個人情報を消去したり、設定を工場出荷状態に戻すことができます。

### 設定を工場出荷状態に戻すとき（設定情報の初期化）

**1** **デジタル設定メニューを表示する**

**2** **「▲」／「▼」で「初期設定」を選び、「決定」を押す**

**3** **「▲」／「▼」で「設定初期化」を選び、「決定」を押す**

**4** **視聴制限設定で暗証番号を設定している時は、そこで設定した暗証番号を数字ボタン（1～10(0)）で入力する（4桁）**

入力した数字は「*」で表示されます。
入力を間違ったときは、「12」で戻り、入力し直してください。

**5** **「◀」／「▶」で確認画面の「はい」を選び、「決定」を押す**

「初期化が完了しました」と表示されます。

**6** **電源プラグを抜き、数秒後再度コンセントに差し込む**

テレビはリセットされBSデジタル放送で起動します。地上デジタル放送を受信するには、再度「初期設定」の「チャンネル設定」を行ってください。

## ●ICカード情報を確認する

B-CAS カードのカード識別、カードID、グループID を確認することができます。

1 **デジタル放送のメニューを表示する**

2 **「▲」／「▼」で「機器設定」を選ぶ**

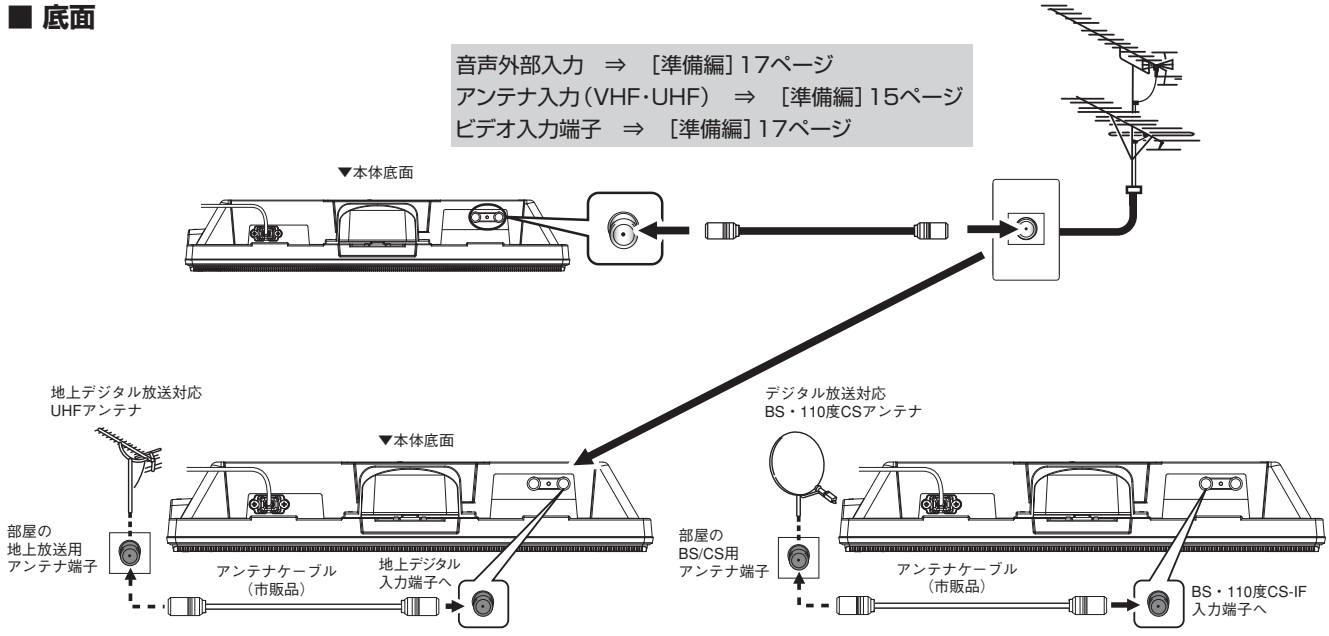
3 **「▲」／「▼」で「ICカード情報」を選び、「決定」を押す**

4 **「戻る」または「メニュー」を押して、操作を終了する**

## 他の機器をつないで使う

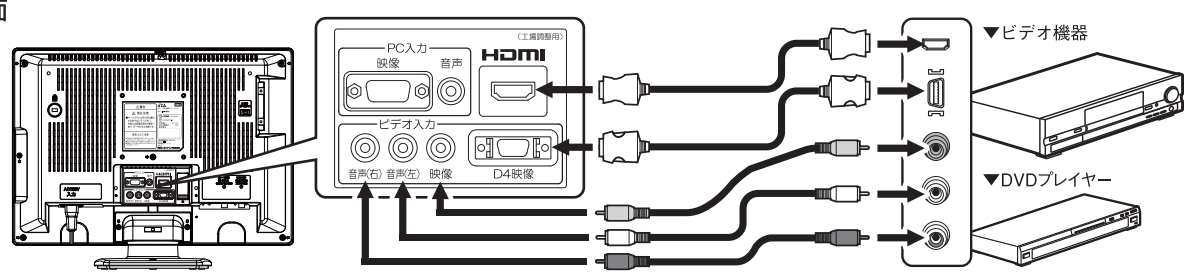
**■ 底面**

音声外部入力 ⇒ ［準備編］17ページ
アンテナ入力（VHF・UHF） ⇒ ［準備編］15ページ
ビデオ入力端子 ⇒ ［準備編］17ページ

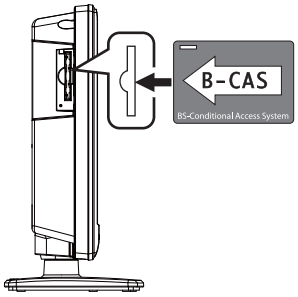


## ●端子のなまえとはたらき

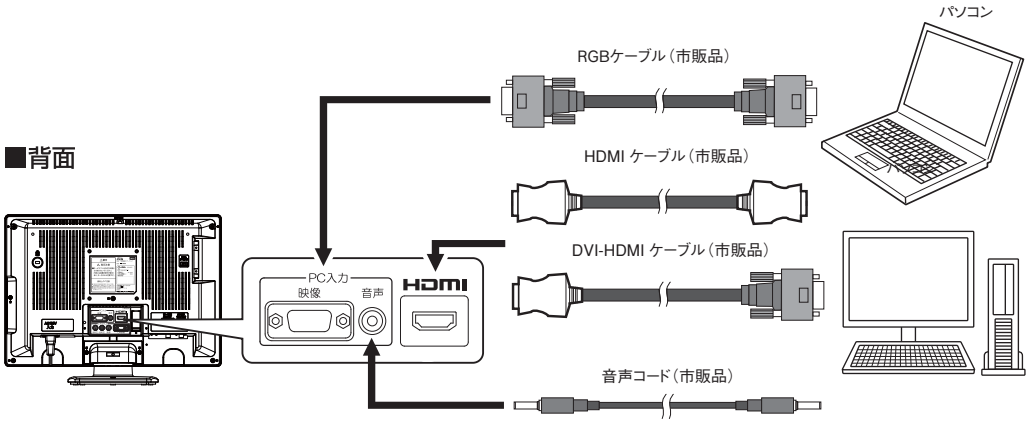
■背面



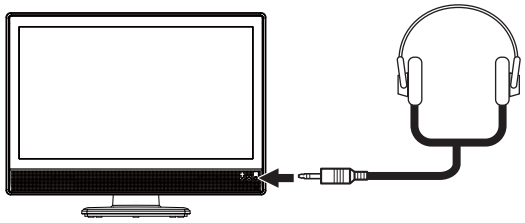

■ 左側面




■背面




▼ヘッドホン・イヤホン



B-CASカードスロット ⇒ [準備編] 14ページ
ヘッドホン端子 ⇒ [準備編] 18ページ

**⚠接続のご注意**

- 接続するときは、本機や接続する機器の保護のため、電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。
  不完全な接続は、画像や音声にノイズや雑音の原因となります。
- 接続をはずすときは、ケーブルや電源コードを無理にひっぱらず、プラグの先を持って抜いてください。
- 複数の機器と接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源を切ってください。
- 本機と接続している機器の距離が近すぎると、画像や音声が電波によって干渉を受けることがあります。
  ノイズや雑音がでるときは、お互いを十分に離してください。

**端子について**

本機に接続する外部機器よって、接続先の端子が異なります。

**■ビデオ入力端子**

ビデオ機器やDVDプレーヤーなどの映像と音声の出力端子に接続します。

**●コンポジット入力端子**

・コンポジットビデオケーブルで外部機器を接続します。
・コンポジット入力端子は映像用の端子です。音声は音声入力端子（L（左）／R（右））に接続します。

**●D4映像入力端子**

・D端子ケーブルで外部機器を接続します。
・ビデオ機器などの「Y/PB/PR」「Y/CB/CR」などの出力端子とは、D端子ピンケーブル（市販品）で接続できます。
・D4映像入力端子は映像用の端子です。音声は音声入力端子（L（左）／R（右））に接続します。
・本機のD4映像端子は、D4（1125i（1080i）、750p（720p）、525i（480i）、525p（480p））の映像入力に対応しています。

※コンポジット入力端子と同時に使用できません。

**■HDMI入力端子**

・HDMI認証ケーブルで外部機器を接続します。
・映像と音声の信号を1本のケーブルでつなぐことができる新しい規格の専用端子です。
＊規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえないなど、正常な動作ができません。

対応している映像信号
1080p、720p、1080i、480p、480i

対応している音声信号
・種類：リニアPCM
・サンプリング周波数：48KHz／44.1KHz／32KHz

**■PC入力アナログRGB端子／HDMI（DVI）端子**

本機のアナログRGB入力端子／HDMI（DVI）端子は、

| 解像度 | 垂直周波数 |
|---|---|
| 640×480 | 60Hz |
| 800×600 | 60Hz |
| 1024×768 | 60Hz |
| 1280×768 | 60Hz |
| ※480p（720×480） | 60Hz |
| ※1080i（1920×1080） | 60Hz |
| ※720p（1280×720） | 60Hz |

対応以上の解像度の入力に対しては画面に“OUT OF RANGE”と表示されます。

※の入力信号は、HDMI接続のみ可能です。

## ●入力を切換える

**1 「入力切換」を押す**

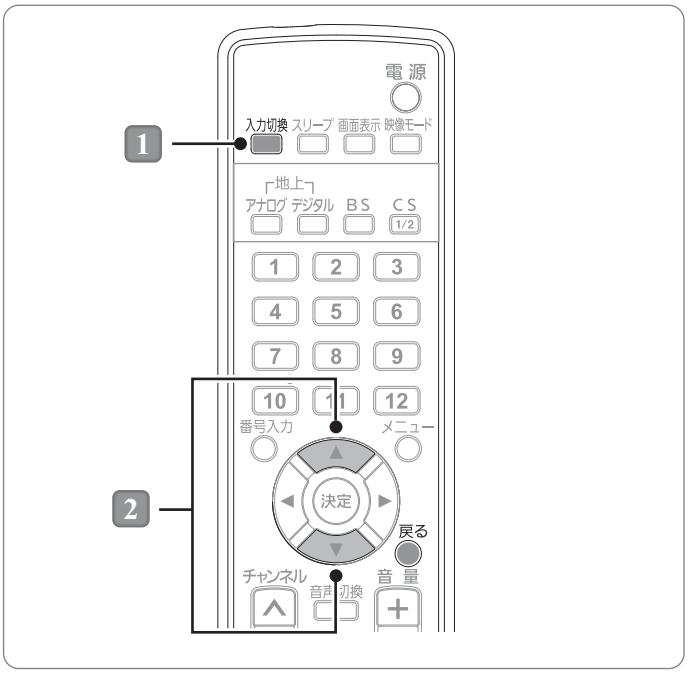
視聴している入力モードがハイライト表示になります。

**2 「入力切換」または「▼」／「▲」で切換えたい入力を選ぶ**

「テレビ」、「ビデオ」、「HDMI」、「PC入力」から選びます。選択すると、入力が切換わります。

**お知らせ**

・入力切換は、テレビ本体の右側面操作部の「放送／入力切換」でも行うことができます。
・「ビデオ」「HDMI」「PC入力」を選択時に、リモコンのリモコン番号「1」～「12」または「∧」／「∨」を押すと、入力切換え前に視聴していた放送番組（地上アナログ放送または地上デジタル放送）に切換わります。



## ●入力機器になまえをつける

ビデオ機器やHDMI機器など、本機と接続している外部機器に特定のなまえを設定します。

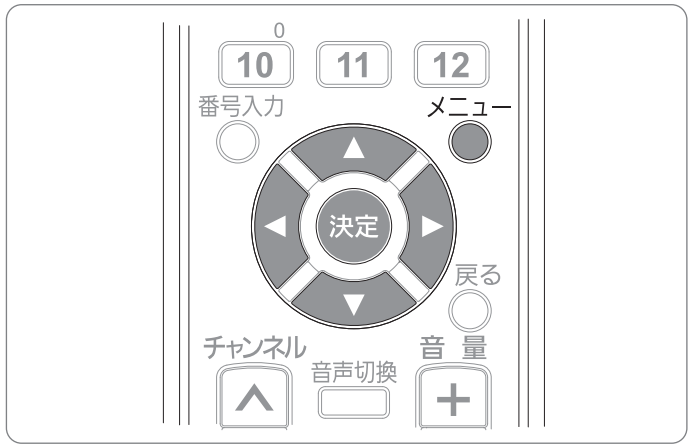
**1 「メニュー」を押し、「▶」で「その他の設定」を選び、「▼」／「▲」で「外部入力機器名 設定」を選択し、「決定」／「▶」を押す**

**2 「▼」／「▲」で設定したい入力を選び、「決定」または「◀」／「▶」を押す**

「DVD」、「ブルーレイ」、「HDD」、「VTR」、「BS／CS」、「CATV」、「ゲーム」、「表示しない」から選びます。
※工場出荷時の設定は「表示しない」です

**3 「メニュー」を押して、操作を終了する**

バナー表示に選択したなまえがでます。




例:「ビデオ」に「VTR」を選んだ場合、つぎのように表示されます。

| 画面表示 |
|---|
| **ビデオ　VTR** |

## ●スキップする放送／入力を設定する

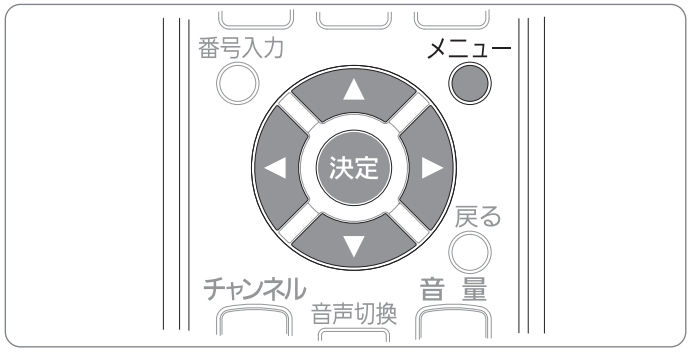
スキップする放送、入力を設定します。

**1 「メニュー」を押し、「▶」で「その他の設定」を選び、「▼」／「▲」で「放送／入力スキップ設定」を選択し、「決定」／「▶」を押す**

**2 「▼」／「▲」でスキップしたい放送または入力を選び、「決定」または「◀」／「▶」を押す**

「地上デジタル放送」、「地上アナログ放送」、「BS放送」、「CS放送」、「ビデオ」、「HDMI」、「PC入力」から選びます。

**3 「メニュー」を押して、操作を終了する**




**お知らせ**
・6つまでの放送／入力をスキップすることができます。

## ●ビデオ／DVDを再生する

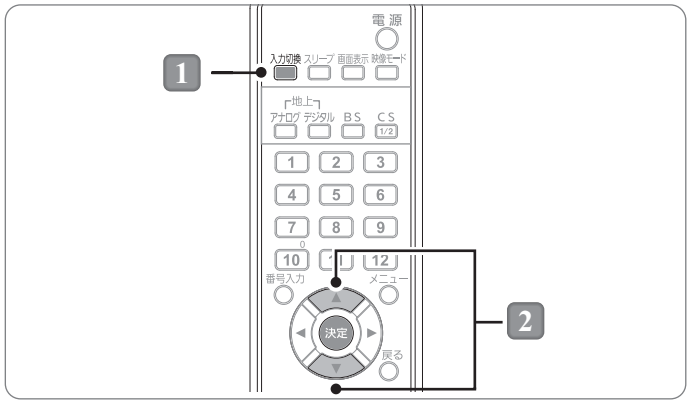
**1 「入力切換」を押す**

視聴している入力モードがハイライト表示になります。

**2 「入力切換」または「▼」／「▲」で「ビデオ」を選ぶ**

「テレビ」、「ビデオ」、「HDMI」、「PC入力」から選びます。
選択すると、入力が切換わります。

**3 ビデオ機器またはDVDプレーヤーを再生状態にする**




**お知らせ**
・本機とビデオ機器やDVDプレーヤーの接続については、[準備編] 17ページをご覧ください。
・ビデオ機器やDVDプレーヤーについて詳しくは、ビデオ機器やDVDプレーヤーの取扱説明書をあわせてお読みください。
・あなたが録画したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
・入力の切換えは、テレビ本体の右側面操作部の「放送切換／入力切換」ボタンでも行うことができます。

## ●HDMI機器を再生する

**1 「入力切換」を押す**
**視聴している入力モードがハイライト表示になります。**

**2 「入力切換」または「▼」／「▲」で「HDMI」を選ぶ**
「テレビ」、「ビデオ」、「HDMI」、「PC入力」から選びます。
選択すると、入力が切換わります。

**3 HDMI機器を再生状態にする**

**お知らせ**

本機は、HDMI連動機能を持った機器と、HDMIケーブルで接続することにより、下記のような動作に対応することが出来ます。
1 接続機器が、再生等のHDMI出力状態に遷移する時に、TVの電源をオンし入力をHDMI入力へ自動的に切換える。

2 TVがスタンバイ（画面がオフ）になる時に、接続機器に〈スタンバイ〉を送信し、接続機器が連動して電源オフにする。
しかし、受信した機器が電源オフするかは受信した機器の判断によります。
HDMI入力では、HDMIケーブルによっては、映像にノイズが発生する場合があります。HDMI認証ケーブルを使用してください。
パソコンのモニターとして接続する場合は、→17ページをご覧ください。
HDMI、HDMIロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

## ●スピーカー/ヘッドホンの音量を調整する

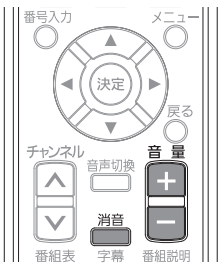
**音量を調整するには:**

**音量ボタン「＋」／「－」を押す**
音量バーが表示され、「＋」／「－」ボタンで音量を調整します。
「＋」:音量が大きくなります。
「－」:音量が小さくなります。

**お知らせ**
・音量は、テレビ本体の右側面操作部の音量ボタン「＋」／「－」でも調整できます。

**音を一時的に消すには:**

**「消音」を押すか、音量ボタン「＋」／「－」で調整する**
音量ボタンの場合は、「－」で「音量0」にします。




## ●パソコンの画面を表示する

**1 「入力切換」を押す**
**視聴している入力モードがハイライト表示になります。**

**2 「入力切換」または「▼」／「▲」で「PC入力」を選ぶ**
「テレビ」、「ビデオ」、「HDMI」、「PC入力」から選びます。
選択すると、入力が切換わります。

**3 パソコンの電源を入れます**

## ●パソコンの画面を調整する

### 自動で画面を調整する〈自動調整〉

画面の調整が必要なときは、まず自動調整を行ってください。
画面の位置、フェーズ、クロックなどが調整され、最良に近い画面になります。

**1** **「メニュー」を押し、「▶」で「PC設定」を選ぶ**

**2** **「▼」／「▲」で「自動調整」を選び、「決定」／「▶」を押す**

**3** **一旦画面が消えて、自動調整終了後に画面が表示されます。**

**4** **「メニュー」を押して、操作を終了する**

**お知らせ**
・動きのある映像や色のメリハリの少ない映像などの映像信号やパソコンによっては、最適な画面にならないことがあります。その場合は手動で調整してください。

### 手動で画面を調整する〈手動調整〉

以下の項目が調整できます。

#### 水平位置調整

画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。
調整範囲は入力、信号、画面サイズによって変わります。

#### 垂直位置調整

画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。
調整範囲は入力、信号、画面サイズによって変わります。

#### フェーズ調整

文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たりコントラストがつかないときに調整します。

#### クロック調整

縦じま状のチラツキがあるときに調整します。

● 例）画面の垂直位置を調整する

**1** **「メニュー」を押し、「▶」で「PC設定」を選ぶ**

**2** **「▼」／「▲」で調整したい項目を選び、「決定」または「◀」／「▶」を押す**

**3** **「◀」／「▶」で、適切な状態に調整し、「決定」を押す**

| 項　目 | 設定値 | 内 容／調 整 バー |
|---|---|---|
| 水平位置調整 | 0 | 水平の位置を調整　－ ［左に ⇔ 右に］ ＋ |
| 垂直位置調整 | 0 | 垂直の位置を調整　－ ［下に ⇔ 上に］ ＋ |
| フェーズ調整 | 0 | チラツキが出たりコントラストがつかないときに調整　－ ［⇔］ ＋ |
| クロック調整 | 0 | 縦じま状のチラツキがあるときに調整　－ ［⇔］ ＋ |

**4** **「メニュー」を押して、操作を終了する**

**工場出荷時の設定に戻すには：**

**「▲」／「▼」で「リセット」を選択して「決定」／「▶」を押す。**

## ●デジタル放送について

本機は、地上・BS・110度CS デジタルチューナーを搭載しています。
UHF アンテナ（地上デジタル対応）や衛星アンテナ（110度CS 対応）を本機に接続すると、無料チャンネルと契約済みの各デジタル放送を受信することができます。
● デジタル放送全般については、社団法人 デジタル放送推進協会(Dpa) www.dpa.or.jp をごらんください。

### 地上デジタル放送

- 受信可能エリアなど、地上デジタルテレビ放送の受信に関するご相談・お問合せは、総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター 0570-07-0101 へ。
  受付時間 月～金 9：00 ～ 21：00　　土・日・祝日 9：00 ～ 18：00
- 地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。
- 地上デジタル放送を受信するには、UHFアンテナが必要です。現在お使いのUHFアンテナでも地上デジタル放送を受信できます。くわしくは、お買い上げ店にお問合せください。
- 地上デジタル放送は、ケーブルテレビ（CATV）でも受信できます。お住まいの地域のケーブルテレビで地上デジタル放送が開始されているかは、ケーブルテレビ放送会社にお問合せください。ケーブルテレビ放送会社によっては、放送方式が異なります。
  本機はすべての周波数（VHF 帯、MID 帯、SHB 帯、UHF 帯）に対応する【CATV パススルー対応】の受信機です。
- 携帯端末向けのワンセグ放送は、本機では受信できません。

### BS デジタル放送

- 放送衛星(Broadcasting Satellite) を使って放送されるハイビジョン放送やデータ放送が特長です。
  BS 日テレ、BS 朝日、BS-i、BS ジャパン、BS フジなどは無料放送をおこなっています。
  有料放送は、加入申し込みと契約が必要です。
  ・「WOWOW」カスタマーセンター
  TEL：フリーダイヤル 0120-580807
  受付時間 9：00 ～ 20：00（年中無休）
  www.wowow.co.jp
  ・「スターチャンネル」カスタマーセンター
  TEL：03-5563-6777
  受付時間 10：00 ～ 18：00
  www.star-ch.co.jp

### 110 度CS デジタル放送

- BSデジタル放送と同じ東経110度の方角にある通信衛星（Communication Satellite）を使って放送されるニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあるのが特長です。
  ほとんどの放送が有料です。
- 110 度CS デジタル放送を視聴するには、「e2 by スカパー!」への加入申し込みと契約が必要です。110度CSデジタル放送には、CS1とCS2の2つの放送サービスがあり、その中に多くの放送局があります。
  ・「e2 by スカパー!」カスタマーセンター
  TEL：0570-08-1212
  045-276-7777（PHS、IP 電話）
  受付時間 10：00 ～ 20：00（年中無休）
  www.e2sptv.jp

# 必要なとき

## ●故障かな？と思ったら

| こんなときは | | ここを確かめてください | ページ |
|---|---|---|---|
| 全般 | 急に映像がでない<br>リモコンが操作できなくなった | ・本機には高度なソフトウェアが組み込まれています。何かおかしいときには電源プラグをコンセントから抜いて、約10秒たってから再びコンセントに差し込んでください。そのうえで問題がないか再度ご確認ください。 | 19 |
| | 映像も音声もでない | ・電源プラグがコンセントから抜けていませんか?<br>・リモコンの場合は、本機の電源が「入」になっていますか?<br>・入力モードが「ビデオ」または「PC入力」になっていませんか? | –<br>19<br>54 |
| | 電源が入らない | ・電源プラグがコンセントから抜けていませんか? | – |
| | リモコンが動作しない | ・電池の極性⊕⊖は正しい向きに入っていますか?<br>・リモコンの乾電池が消耗していませんか?<br>・リモコンは本機のリモコン受光部に向けてご使用ください。 | 13 |
| | 映像はでるが音声がでない | ・音量調整が最小になっていませんか?<br>・「消音」状態になっていませんか?<br>・ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか？<br>・コンポジット・D4入力端子は映像用です。これらを使うときは、音声端子も接続してください。 | 32<br>32<br>18<br>17 |
| | 接続した機器の映像がでない | ・各端子にプラグはしっかり差し込まれていますか?端子の奥までしっかり差し込んでください。 | 17 |
| | 色がうすい／色あいが悪い | ・カラー、色あいは正しく調整されていますか? | 34 |
| | 特定のチャンネルが映らない | ・受信チャンネルは正しく設定されていますか? | 29 |
| | テレビの天面や<br>液晶パネル面の温度が高い | ・本体天面や液晶パネル面の温度は高くなりますが、性能・品質には問題ありません。（本体の通風孔はふさがないようにご使用ください。なお、ほこりはこまめに取り除いてください。） | 62 |
| アンテナ | 映像がでず雑音がでる | ・アンテナ線がはずれたり、ショートしたりしていませんか?<br>・アンテナ線は正しく接続されていますか? | –<br>15 |
| | 画像にはん点がでる | ・自動車、電車、ネオン、高圧線、建物などからの雑音電波を受けていませんか?アンテナをできるだけ道路やネオン、建物などから離れた場所に立ててください。 | 15<br>– |
| | 映像が二重になる | ・近くに山や大きな建物・樹木がある場合、それらの反射電波の影響があることがあります。アンテナの向きや高さを変えてみてください。 | –<br>– |
| | 色じま模様がでる | ・近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか?アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害はある程度は少なくすることができます。 | – |
| | 雪が降っているような画面になる | ・アンテナ線は正しく接続されていますか?<br>・屋外アンテナが切れたりはずれたりしていませんか?<br>・アンテナの向きが変わっていたり、こわれたりしていませんか? | –<br>–<br>– |
| HDMI機器 | 映像が出ない | ・入力選択をHDMIにする。規格認証しているHDMIケーブルを使っていますか? | 56 |
| | 音声が出ない | ・HDMI音声切換を適切に設定していますか？ | 56 |
| | 機器制御が出きない | ・HDMI機器制御をオンにしていますか？<br>・接続機器によっては、HDMI機器制御が動作しなかったり正常に動作しないことがあります。 | 31<br>31 |
| デジタル放送関係（共通） | デジタル放送が映らない | ・B-CASカードが正しく挿入されていますか。<br>・B-CASカードの抜き挿しは、必ず電源を切っておこなってください。 | 14<br>14 |
| | 字幕や文字スーパーが出ない | ・文字スーパーの設定がオフになっていないか、確認してください。 | – |
| | | ・字幕や文字スーパーのある番組では、選局後に［字幕］ボタンを押します。字幕がない場合は、［字幕なし］と表示されます。 | 42 |
| | データ放送が受信できない | ・本機は、データ放送・双方向サービスには対応していません。 | – |

| | こんなときは | ここを確かめてください | ページ |
|---|---|---|---|
| 地上デジタル放送関係 | 地上デジタル放送が映らない<br>映像が乱れる | ・地上デジタル放送は、地上アナログ放送との混信を避けるために、当初は非常に小さい出力電波で開始されているため、受信エリアが限られます。また受信障害のある環境では、放送エリア内でも受信出来ない場合もあります。 | －<br>－ |
| | | ・UHFアンテナは、地上デジタル放送の送信局に向けられていますか。<br>・地上アナログ放送の送信局と方向が違う地域があります。 | 15<br>－ |
| | | ・地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナを使用していますか。<br>・従来のアナログ放送用のUHFアンテナは、視聴地域の特定チャンネルに対応している場合があり、地上デジタル放送用のUHFアンテナやデジタル対応のブースター、混合器などが必要な場合があります。 | －<br>15 |
| | 映像や音が出ない、またはときどき出なくなる<br>映像が静止する、またはときどき静止する | ・UHFアンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか。または、アンテナ線の劣化などありませんか。 | － |
| | | ・「受信設定」でアンテナの受信状況を確認することができます。地上デジタル放送の場合は、数値が「60」以上になっているか、確認してください。 | 43 |
| | 字幕や文字スーパーが出ない | ・字幕の設定や文字スーパーの設定が「切」になっていませんか? | 47 |
| | | ・字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか? | 42 |
| | 地上デジタル放送局のロゴマークが表示されない | ・地上デジタル放送の各放送局の各放送局を一定時間、選局していると、放送局のロゴマークが表示されるしくみになっています。<br>・放送時間と受信のタイミングで日数がかかることもあります。 | － |
| BS・CS110度CSデジタル放送関係 | BS・110度CSデジタル放送が映らない<br>映像が乱れる | ・本機とBS・110度CSアンテナを直接つないでいる場合は、アンテナ電源設定をオンに設定しているか、確認してください。 | 30 |
| | | ・BS・110度CSアンテナとの接続状態を確認してください。 | 16 |
| | | ・BS・110度CSアンテナ線を分配器で増設されているときは、「電流通過型」のご利用をおすすめします。 | 16 |
| | | ・分配器を使用している場合は、BS・110度CSデジタル対応のものを正しく使用してください。 | 16 |
| | | ・アンテナ接続コネクタがプラスチックのものをお使いの場合、正しく加工されているか、確認してください。 | － |
| | | ・「チャンネル設定」でアンテナの受信状況を確認することができます。BS・110度CSデジタル放送の場合は、数値が「70」以上になっているか、確認してください。 | － |
| | BS・110度CSデジタル放送の映りが悪い | ・アンテナの方向が強風や衝撃で正しい方向からはずれていませんか。 | － |
| | | ・アンテナへの積雪や雨、雷雲などによる電波の減衰が原因となることがあります。「チャンネル設定」で入力レベルの数値が「70」以上になっているか、確認してください。 | 43 |
| | 特定のチャンネルの映像や音声が出なくなったり、または時々でなくなる | ・BS・110度CSデジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などでアンテナを接続している場合、PHSデジタルコードレス電話機など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器の影響を受け、映像や音声が出なくなる場合があります。アンテナを接続する場合は、シールド性のよいBS・110度CSデジタル放送対応のアンテナケーブルや機器をご使用ください。 | － |
| | BSデジタル放送は映るのに、110度CSデジタル放送が映らない | ・110度CSデジタル対応のアンテナを使用してください。 | － |
| | | ・ブースターや分配器を使用している場合は、110度CSデジタル対応の2.1GHz以上まで対応しているものを使用してください。<br>・110度CSデジタル放送は、周波数が高いので従来のBS用配線設備では見られないことがあります。 | －<br>－ |
| | | ・契約が必要なチャンネルは、契約しないと見られません。 | － |
| | 急に画像や音質が少し悪くなった | ・雨の影響により衛星からの電波が弱くなっている場合は、本機では電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換える場合があります。降雨対応放送では画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。 | － |
| | NHK　BSデジタル放送において、ダイアログメッセージが表示される | ・メッセージに表示されている連絡先にお問合せください。<br>詳しくは、下記URLをご参照ください。<br>http://pid.nhk.or.jp/bcas/ | － |

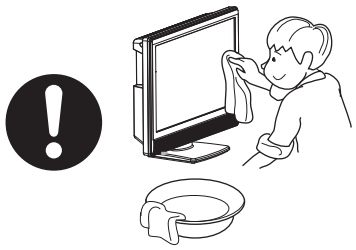
## ●メッセージ表示一覧

| メッセージ | 内　　容 |
|---|---|
| 電源オン　しばらくお待ち下さい | 電源ONから映像が出るまでの間に表示されます。映像が出るまでしばらくお待ちください。 |
| このモードでは操作できません | 地上デジタル視聴時のみ有効な操作が選択されています。地上デジタルに切換えて、ご使用ください。(⇒[操作編]39ページ) |
| この映像信号には対応しておりません | 外部入力(D端子)にイレギュラーな信号(1080pなど)が入力されています。DVDプレーヤーなどの外部機器の信号をご確認ください。(⇒[操作編]71ページ) |
| オフタイマー　あと1分未満 | オフタイマー設定時に、電源が待機状態になる1分前から表示されます。(⇒[操作編]38ページ) |
| スリープタイマー　あと1分未満 | スリープタイマー設定時に、電源が待機状態になる1分前から表示されます。(⇒[操作編]37ページ) |
| 臨時放送が休止のためご覧の放送局の別のサービスに切換えます。 | 臨時放送が休止されているため、別のサービスに切り換わりました。 |
| 電波の受信状態が良くないため、低階層放送に切り換えました。 | 雨の影響によって衛星からの電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換わりました。 |
| B-CAS カードを正しく装着してください。 | B-CAS カードが挿入されていません。<br>B-CAS カードを正しく挿入してください。<br>B-CAS カードの抜き挿しは必ず電源を切っておこなってください。 |
| このカードは使用できません。正しいIC カードを装着してください。 | 使用できないカードが挿入されています。<br>B-CAS カードの抜き挿しは必ず電源を切っておこなってください。 |
| このB-CASカードは使用不能です。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。 | 使用できないカードが挿入されています。<br>本機に付属のB-CAS カードを挿入してください。<br>B-CAS カードの抜き挿しは必ず電源を切って行なってください。 |
| アンテナ線をご確認ください。 | 受信レベルが低くて受信できません。アンテナの向きや接続を確認してください。 |
| | 放送されていないチャンネルを選局しているため、受信できません。他のチャンネルを選んでください。 |
| | 地上デジタル放送を受信するための放送局(送信所)が変更されている可能性があります。<br>受信チャンネルの設定をやり直したり変更する場合は、受信チャンネルのスキャンをおこなってください。 |
| 現在放送されていません。番組表で放送時間をご確認ください。 | 現在放送されていないチャンネルを選んでいます。他のチャンネルを選んでください。 |
| 指定したチャンネルはありません。 | チャンネル3 桁入力選局で、放送されていないチャンネルが入力されています。「戻る」のまま「決定」ボタンを押してください。そのあと、他のチャンネルを選んでください。 |
| BS/110°CS アンテナ線がショートしています。アンテナとの接続を確認して電源を入れ直してください。 | BS/110°CS アンテナ線がショートしています。アンテナとの接続を確認してください。<br>また、「アンテナ電源設定」の設定が自動的に「オフ」に切り換わることがありますので、設定を確認してください。 |
| OUT OF RANGE | 対応されていない解像度が選択されています。対応されている解像度を選択してください。(⇒[準備編]18ページ) |
| このチャンネルは未契約です。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 | このチャンネルは有料放送です。ご覧になるには、別途放送局との契約が必要です。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。(58ページ) |

## ●お手入れについて

**液晶パネルの表面のよごれは**
**やわらかい布で軽くふきとってください。**

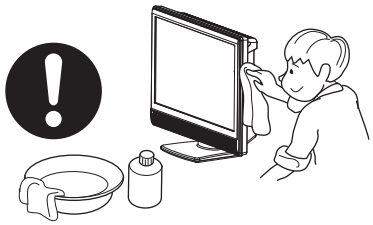
ひどいよごれは、柔らかい布を軽く水で湿らせ、そっと拭いてください。



※強くこすると、液晶パネル表面に傷が付いたりしますので、ご注意ください

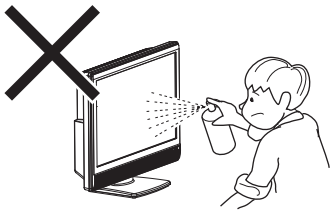
**キャビネットのよごれはやわらかい布で**
**軽くふきとってください。**

ひどいよごれは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をかたくしぼってふき取り、かわいた布でもう一度ふいてください。



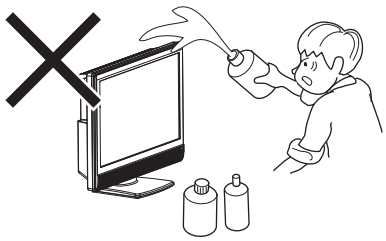
**スプレー洗剤を直接かけないでください。**

水滴が内部にはいると、故障の原因になります。



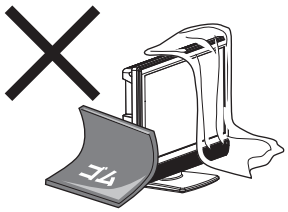
**殺虫剤、ベンジン、シンナーなどの**
**揮発性のものをかけないでください。**

変質したり塗装がはがれることがあります。



**ゴムやビニール製品などを**
**長い間接触させないでください。**

変質の原因になります。




## ●保証とアフターサービス

### 修理について

■ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われる場合があります。。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。
本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。
修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または中野エンジニアリング　カスタマーサービス修理窓口までお知らせください。

●お名前
●お電話番号
●ご住所
●製品名　　IZ-1930E / IZ-1930 / IZ-1630
●できるだけ詳しい故障状況

■ 修理窓口について

中野エンジニアリング　カスタマーサービス
・0776-88-0812　受付時間:9:00～18:00（平日）

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または中野エンジニアリングカスタマーサービスへご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、または中野エンジニアリング　カスタマーサービス修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

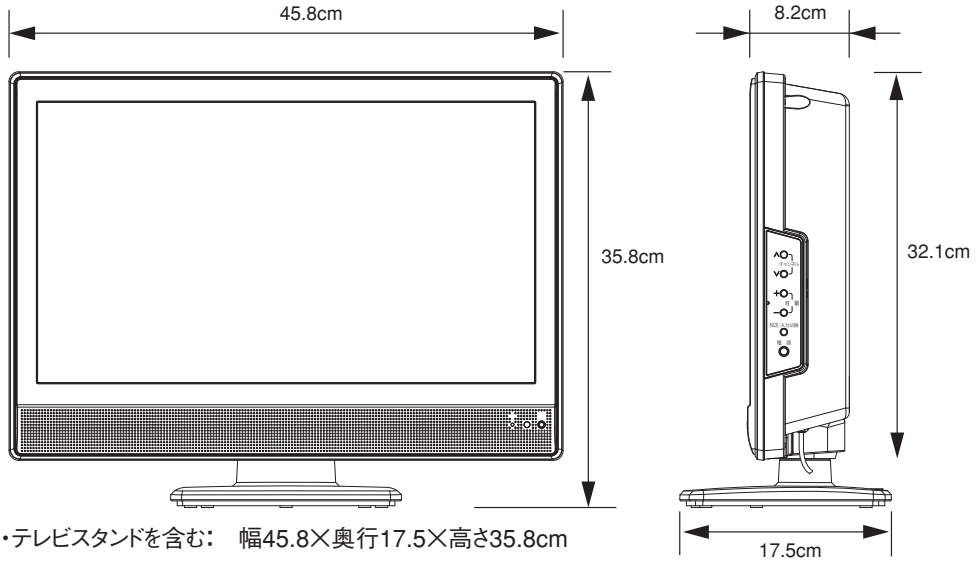
本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、または中野エンジニアリング　カスタマーサービスへご相談ください。

## ●おもな仕様（仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。）

| テレビ本体 | | |
|---|---|---|
| 品番 | IZ-1630 | IZ-1930E / IZ-1930 |
| 種類 | 地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ | |
| 使用電源 | AC 100V 50/60 Hz | |
| 消費電力 | 32 W | 35 W |
| 待機電力 | 0.27 W | |
| 受信可能放送 | VHF ch1～12／UHF ch13～62／CATV c13～c38／地上デジタルch000～999／BSデジタル／110度CSデジタル | |
| 音声実用最大出力 | 2W + 2W | |
| スピーカー | 8.0 × 3.0 cm 楕円型2個 | |
| 液晶ディスプレイ | 15.6型（アスペクト比 16:9） | 18.5型（アスペクト比 16:9） |
| 画素数 | 水平 1366 × 垂直 768 | |
| 画面寸法 | 幅34.4 cm／高さ19.4 cm／対角39.5 cm | 幅40.1 cm／高さ23.0 cm／対角47.0 cm |
| 使用温度 | 0 ℃ ～ 40 ℃ | |
| 接続端子 | RF入力端子（VHF・UHF） | |
| | BS・110度CS RF入力端子 | |
| | コンポジット映像入力端子1系統1端子 | |
| | HDMI入力1系統1端子（v.1.3） | |
| | D4映像入力1系統1端子（EIAJ RC-5237 D端子コネクタ）<br>※入力D4（1125i（1080i）、750p（720p）、525i（480i）、525p（480p）） | |
| | パソコン映像入力端子1系統1端子（mini D-sub 15ピン端子） | |
| | パソコン音声入力端子1系統1端子（φ3.5mmステレオミニジャック） | |
| | 音声入力端子1系統RCAピンジャック 左L（白）、右R（赤）1端子 | |
| | ヘッドホン接続 端子（φ3.5mmステレオミニジャック）、B-CASカードスロット（スマートカードスロット） | |
| 本体 | 幅39.1cm × 奥行8.2 cm × 高さ28.3 cm | 幅45.8cm × 奥行8.2 cm × 高さ32.1cm |
| テレビスタンド含む | 幅39.1cm × 奥行17.5 cm × 高さ32.0 cm | 幅45.8cm × 奥行17 .5cm × 高さ35.8cm |
| 質量 | 約4.3 kg | 約5.3 kg |
| 角度調整範囲 | 約10°（上向き）、約10°（下向き）、約20°（左向き）、約20°（右向き） | |

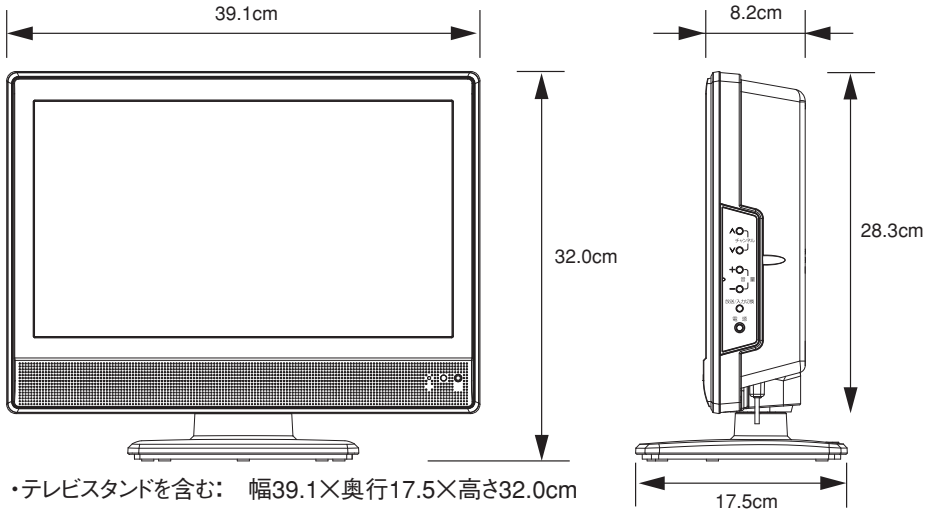
● このテレビを使用できるのは、日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので、使用できません。
● 高周波ガイドライン適合品

## ●寸法図　IZ-1930E/IZ-1930




・テレビスタンドを含む：　幅45.8×奥行17.5×高さ35.8cm

## ●寸法図　IZ-1630




・テレビスタンドを含む：　幅39.1×奥行17.5×高さ32.0cm

# ●用語の解説

■ アスペクト比
映画・テレビなどにおける画面サイズの横縦の比率（縦横比）です。

■ 4:3
「ノーマル」と通称される、従来型のテレビ（SDTV）の画面横縦の比率（縦横比）です。
ワイドテレビで4:3映像を視聴するときは、画面の左右にサイドバーが付きます。

■ 16:9
「ワイド」と通称される、デジタルハイビジョン放送（HDTV）の画面横縦の比率（縦横比）です。従来の4:3映像に比べ、視界の広い臨場感あふれる映像を提供します。

■ 525i（480i）、525p（480p）、750p（720p）、1125i（1080i）、1125p（1080p）
映像信号の総走査線数（有効走査線数）と走査方式の略称です。
テレビ放送では、1フレーム（コマ）の画像が走査線と呼ばれる細い横線に分解され伝送されます。受信側のテレビで元の映像に復元して画像を表示します。
有効走査線数は、実際に画面を構成する走査線数のことをいいます。インターレス（飛び越し走査）は1コマを奇数段目と偶数段目の2回にわけて走査して1回の画面表示を行います。
プログレッシブ（順次走査）は、1回の走査で1回の画面表示を行ないます。

| 名　称 | 走査線数 | 有効走査線数 | 走査方式 |
|---|---|---|---|
| 525i（480i） | 525本 | 480本 | インターレス |
| 525p（480p） | 525本 | 480本 | プログレッシブ |
| 750p（720p） | 750本 | 720本 | プログレッシブ |
| 1125i（1080i） | 1125本 | 1080本 | インターレス |
| 1125p（1080p） | 1125本 | 1080本 | プログレッシブ |

■ B-CASカード（ビーキャスカード）
デジタル放送視聴用ICカードのことで、BS-Conditional Access Systems Cardの略称です。デジタル放送を受信する機器（テレビやチューナー）などに添付されている、暗号を解除するための鍵データが記録されています。
使用するカードは、サービス内容によって種類が異なりますが、本機では、地上デジタル、BSデジタル、および110度CSデジタル用（通称赤カード）を使用します。

■ RF（アンテナ入力端子）
地上アナログ／デジタル放送のVHF・UHF番組を受信するためのテレビアンテナを接続します。

■ コンポジット接続（コンポジット映像入力端子）
通常の映像端子（大半の映像・音響機器が備えているピン型の入出力端子）を使って映像信号を伝送する接続方式です。黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。映像・音声端子は、黄・白・赤の3色に分かれたAVケーブルを使って接続するのが一般的です。

■ D端子（D4映像入力端子）
ビデオ機器のアナログ映像信号を接続する、D型の形状をした高画質映像信号用コネクタの通称です。コンポーネント映像信号（HD信号用端子:「Y/PB/PR」、SD信号用端子:「Y/CB/CR」）を3本のケーブルで接続（コンポーネント接続）していたのを1本のケーブルで接続します。また、走査線数・走査方式・アスペクト比を切換えるための識別信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1～D5までの規格があり（本機はD4に対応）、数字が大きいほどより高画質な映像に対応します。

■ NTSC
アメリカの国家テレビシステム委員会（National Television System Committee）によって策定された、地上波アナログテレビ放送規格です。アジア、北米、中南米などで広く採用されています。
日本では、2011年7月24日までに、NTSC規格から、独自に開発された放送規格"Integrated Services Broadcasting（ISDB）"を利用したデジタル放送に完全移行する予定です。

■ ケーブルテレビ（CATV）
ケーブル（有線）テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって放送を受信できます。地域ごとに特色のある番組を提供しています。最近では多チャンネル放送を展開する都市型のケーブルテレビ局も増えてきています。

■ 地上デジタル放送「地デジ」
2003年12月1日から、関東・近畿・中京の3大広域圏で、地上波のUHF帯を使用して開始され、その他の地域では2007年1月から開始されました。従来のアナログ地上波放送にはないハイビジョン映像、さらにCD並みの音声放送を提供します。デジタル化により、ゴースト（テレビ画像が二重映りになる現象）のない高品質映像、デジタルハイビジョン放送、データ放送や双方向サービス、多チャンネルといった特長があります。また、携帯情報端末などで、簡易動画やデータ放送、音声放送を受信・視聴するサービスも開始されています。
※本機は、データ放送・双方向サービスには対応していません。

■ ハイビジョン放送（HDTV）
デジタルハイビジョンの高品質放送です。HDTVはHigh-Definition Televisionの略称です。有効走査線が720本、1080本となり、緻密で高画質な映像を提供、画面のアスペクト比は16:9へとワイドになり、臨場感も増します。

■ テレシネ
「テレビジョン」と「シネマ（映画）」の合成語のことで、フィルム映像をアナログやデジタルのテレビ映像信号に変換します。これにより、光学的に記録されているフィルム映像が、電気信号であるビデオフォーマットに書き換えられます。

■ 字幕
字幕放送番組の画面上に表示される文字や記号の通称です。おもに聴覚に障害のある視聴者を対象に、テレビの音声（アナウンスやナレーション、ドラマのせりふなど）、BGMやドラマの効果音が文字や記号で表示されます。

■ 文字スーパー
緊急警報情報など、視聴者に知らせしたい情報を、文字スーパーに対応した放送番組の画面上に文字で表示します。

■ ファームウェア
ハードウェアの基本的な制御を行うために機器に組み込まれるソフトウェアです。機器に固定的に搭載され、あまり変更が加えられないことから、ハードウェアとソフトウェアの中間的な存在としてファームウェアと呼ばれています。

■ 放送メール
番組配信元より広域にわたるお知らせなどがある場合、デジタル放送を利用して全視聴者へ向けて発信されるお知らせです。

■ 同一周波数パススルー方式
ケーブルテレビによる地上デジタル放送の再送信を行う伝送方式で、地上デジタル放送のエリア外でも、UHFアンテナをたてずに自宅のアンテナ端子から地上デジタル放送をケーブルテレビで視聴することができます。受信した地上デジタル放送波をそのまま同じ周波数でケーブルテレビ網に再送信します。

■ 周波数変換パススルー方式
ケーブルテレビによる地上デジタル放送の再送信を行う伝送方式で、地上デジタル放送のエリア外でも、UHFアンテナをたてずに自宅のアンテナ端子から地上デジタル放送をケーブルテレビで視聴することができます。受信した地上デジタル放送波の周波数を、中継局（ケーブルテレビ会社の施設）側の周波数変換器を使用してケーブルテレビ伝送周波数に変換し、ケーブルテレビ網に再送信します。地上波放送（デジタル／アナログ）の場合は、市販の周波数変換パススルー方式に対応した機器で視聴することができます。

■ トランスモジュレーション方式
地上デジタル放送のエリア外でも、自宅のアンテナ端子からデジタル放送をケーブルテレビで再送信するための方式です。

■ HDMI（High Definition Multimedia Interface）
ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を1本のケーブルで接続できるAVインターフェイスです。
高詳細な映像入力に対応しています。

■ PCM（Pulse Code Modulation）
アナログの音声信号をデジタル信号に変換する方式の1つ。
音楽CDは、この方式を利用しています。

■ 多チャンネル放送
デジタル放送では、デジタル圧縮技術の向上により、アナログ放送に比べてより多くのチャンネルで放送が可能です。
CSデジタル放送では200チャンネルを超える多チャンネル放送が行われています。

■ デジタルハイビジョン
地上デジタル放送とBSデジタル放送には、デジタルハイビジョン放送があり、従来のアナログハイビジョンと同等の画質で放送されます。ハイビジョンの走査線数は現行テレビ放送の525本の倍以上の1125本もあるため、細部までできれいに表現され臨場感豊かな映像になります。
また、現行のテレビ放送とほぼ同等の画質のデジタル標準テレビ放送もあります。

■ 電子番組ガイド（EPG:Electronic Program Guide）
デジタル放送では、8日分の番組情報が送られてきます。テレビ画面に番組表を表示させて、番組表から番組を選んだり、番組の詳細情報を見ることができます。

■ マルチビュー放送
マルチビュー放送では、1チャンネルで主番組、副番組の複数映像を放送します。例えば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組でそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われる予定です。

■ 周波数リパッキング（周波数の再編成）
地上デジタル放送周波数の有効利用のため、現在、放送している地上デジタルの周波数を変えて、電波を送ることです。既に一部地域では、リパッキングが実施されています。また、アナログ放送終了後にもデジタル放送のリパッキングが予定されています。

## ●さくいん

■ 英数字
3桁チャンネル番号を入力する……39
B-CASカードを入れる……14
B-CAS番号の確認……52
CATV（ケーブルテレビ）……9, 22, 32
D4映像入力端子（D端子）……12, 17, 53
DVDプレーヤーなどの接続……17, 53
DVDを再生する……55
HDMI機器の設定……31
OSD透過設定……31
OSDサイズ設定……31
UHF……12, 15
VHF……12, 15

■ あ　行
暗証番号……49
安全上のご注意……4
アンテナの接続……15,16
アンテナ入力（VHF・UHF）端子……12, 15, 16, 53
イヤホン端子……12, 18, 53
イヤホンを接続する……18, 53
映像を調整する……34
お客様ご相談窓口……62
音を一時的に消す……32
オフタイマーを設定する……38
音声出力端子……18, 53
音声を切換える……36, 42
音声を調整する……32, 36
音量を調整する……32, 56

■ か　行
各部のなまえ……11, 12
画面サイズを切換える……33
ケーブルを束ねる……19
故障かな?と思ったときには……59, 60
コンポジット入力端子……12, 17, 53

■ さ　行
字幕を表示する……42
省エネ機能を使う……38
使用上のご注意……9
スピーカー……56
スリープタイマー設定……37
寸法図……64
設定を初期化する〈地上デジタル設定〉……49, 50, 51
設定を初期化する〈地上デジタル設定以外〉……39

■ た　行
地上アナログ放送……20, 22
地上アナログ放送の設定をする……20, 22
地上デジタル放送……21, 29
地上デジタル放送の設定をする……21, 29, 39
地上デジタル放送メニュー……21
チャンネル自動設定……29, 46
チャンネル追加設定……46
チャンネルスキップ設定……48
チャンネルを選ぶ……32, 39
チャンネルを表示する……32, 39
デジタル放送の機能と設定……39
デジタル放送を見る……39
テレビ本体の各部のなまえ……12
電源ランプ……12, 19
電源を入れる……19
電源を切る……19
電子番組表（EPG）を見る……41

■ な　行
入力機器に名前をつける……55
入力を切換える……32, 54
入力を表示スキップする……55

■ は　行
バックライトを調整する……38
パソコンの接続……18
パソコンの画面を表示する……56
パソコンの画面を調整する……57
ビデオ機器などの接続……17, 53
ビデオ入力端子……17, 53
ビデオを再生する……55
付属品……10
ふだんの使いかた……32
ヘッドホン端子……18, 53
ヘッドホンなどの接続……18, 53
放送を選ぶ……32, 39
放送メールを確認する……45
放送を表示スキップする……55
他の機器をつないで使う……52
保証とアフターサービス……62
本製品の仕様……63
本製品の特長……10
本製品を設置する……13
本製品を手入れする……62

■ ま　行
見ている画面を静止させる……37
メッセージ一覧……61
メニュー項目の一覧……20
文字スーパーを表示する……42, 47

■ ら　行
リモコン……11
リモコンを準備する……13

## ●フリーソフトウェアに関するライセンス情報

本製品にて使用しているソフトウェアプログラムには、Linux Os が使用されております。
Linuxは、GNU General Public License の条件下にて、利用が認められたソフトウェアが、含まれております。
当該ソースコードを入手するには、サポートセンター（裏表紙に記載）に問い合わせください。

### GPL／LGPLについて

本製品の一部には、
GPL（GNU General Public License）
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
LGPL（GNU Lesser General Public License）
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html
の適用を受けるソフトウェア
Linux Kernel（GPL） glibc（LGPL）
が組み込まれています。
GPL／LGPLでは、GPL／LGPLを適用したソフトウェアは、
すべての人にソースコードの入手、改変、再配布の権利があります。

### MPLについて

本製品の一部には、
MPL（Mozilla Public License）
http://www.mozilla.org/MPL/
の適用を受けるソフトウェア
microwindows
http://www.microwindows.org/
が組み込まれています。
microwindows プログラムは、Mozilla Public License Version 1.1（「本ライセンス」）の適用を受けます。本ライセンスに従わない限り本ファイルを使用することはできません。本ライセンスのコピーは
http://www.mozilla.org/MPL/
から入手できます。

本ライセンスに基づき配布されるソフトウェアは、「現状のまま」で配布されるものであり、明示的か黙示的かを問わず、いかなる種類の保証も行われません。本ライセンス上の権利および制限を定める具体的な文言は、本ライセンスを参照してください。

**廃棄時にご注意願います。**
家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

**愛情点検**

**長年ご使用のテレビの点検を！**
長期にわたりテレビセットをご使用されますと、ホコリの影響や使用状況などにより故障し、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

**こんな症状はありませんか？**
- 電源スイッチを入れても映像・音が出ない。
- 映像が途切れたり、チラつく。
- 変な音が聞こえる。
- 変なにおいがしたり、煙が出る。
- 電源スイッチを切っても、映像・音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

**ご使用中止**
故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、コンセントから電源コードを抜いて、必ず販売店へご相談ください。

■お問い合わせ先（カスタマーサービス）
TEL 0776-88-0812
受付時間 9:00～18:00（平日）

販売元：
**中野エンジニアリング株式会社**
製造元：　NAKANO-E　CORPORATION

*ME6T08R0000482A*